

令和 6 年度

# 業 務 年 報

令和 7 年 3 月

鳥 取 県 病 害 虫 防 除 所

# 目 次

## I 病害虫防除所の概要

1 組織・業務体制の変遷	1
2 業務内容	2
3 組織・人員	
(1) 職員	3
(2) 病害虫発生状況調査員	3
(3) 病害虫防除所及び関係機関の体制	4

## II 病害虫発生予察事業

1 事業の目的	5
2 事業実施方針	5
3 対象病害虫の種類	5
4 発生予察情報の種類と用語の使用法	7
5 令和6年度に発表した情報	
(1) 発表状況	9
(2) 内 容	
ア 警 報	10
イ 注意報	13
ウ 特殊報	25
エ 発生予報	28
オ 指導情報	30
カ ホームページのアクセス件数、更新回数	32
(3) 情報の発送先とその伝達手段	32
(4) 情報発信の流れ図	33
6 普通作物病害虫の発生予察調査結果	
(1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積	34
(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	36
(3) 調査の概要と結果	
ア イ ネ	40
イ ムギ類 (二条オオムギ)	60
ウ ダイズ	62

7	果樹病害虫の発生予察調査結果	
(1)	主な果樹病害虫の発生程度別面積	67
(2)	主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	68
(3)	調査の概要と結果	
	ア ナシ	72
	イ ブドウ	86
	ウ カキ	88
8	野菜病害虫の発生予察調査結果	
(1)	主な野菜病害虫の発生程度別面積	91
(2)	主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	93
(3)	調査の概要と結果	
	ア スイカ	98
	イ キャベツ	100
	ウ ブロッコリー	103
	エ ネギ	106
	オ イチゴ	110
	カ ナガイモ	111
	キ ラッキョウ	111
	ク サトイモ	112
	ケ トマト	113
Ⅲ	ミバエ類等侵入警戒調査事業	114
付表	令和6年半旬別気象表	
1	鳥取市（鳥取地方気象台）	115
2	北栄町（園芸試験場）	117
	本業務年報中の表における注意事項	119

# I 病虫害防除所の概要

## 1 組織・業務体制の変遷

- ・昭和 16 年： 昭和 15 年の北日本のいもち病、西日本のウンカ類による被害を発端として、普通作物病虫害発生予察事業を全国で開始
- ・昭和 25 年： 植物防疫法制定
- ・昭和 26 年： 植物防疫法の一部改正
  - ・指定病虫害、指定外病虫害を規定
- ・昭和 27 年： 植物防疫法に基づき、病虫害発生予察事業開始  
県内 8 か所（鳥取、岩美、気高、八頭、東伯、西伯、米子、日野）に病虫害防除所設置
- ・昭和 40 年： 果樹等病虫害発生予察事業開始  
普通作物病虫害発生予察事業実施要綱の制定
  - ・県予察員、地区予察員の設置
- ・昭和 41 年： 県内 5 か所（鳥取、八頭、倉吉、米子、日野）に病虫害防除所を統合
- ・昭和 51 年： 県内 3 か所（鳥取、倉吉、米子）に病虫害防除所専任職員配置  
（昭和 49 年の斑点米カメムシ類被害により、発生予察体制の強化）
- ・昭和 55 年： 野菜病虫害発生予察事業開始
- ・昭和 60 年： 植物防疫法の一部改正により、指定病虫害発生予察事業補助金の一部交付金化
  - ・病虫害防除所の設置形態、名称、事業内容の規定
  - ・発生予察情報の提供責任者を原則として病虫害防除所に規定  
（水稻病虫害に係る警報については、都道府県主管部長に限る）
  - 植物防疫事業実施要項及び同運用の制定
  - 植物防疫推進事業実施要領及び同運用の制定
  - ・県予察員、地区予察員の名称区分廃止
- ・昭和 61 年： 県内 5 か所の病虫害防除所を統合し、鳥取市橋本に鳥取県病虫害防除所を設置
- ・平成 4 年： 県農業共済組合連合会からの依頼に基づき、県農業共済組合職員 25 人を病虫害防除員に委嘱
- ・平成 9 年： 植物防疫情報総合ネットワーク（J P P-N E T）の本格稼働により J P P-N E T へ予察データの送信開始  
アメダスデータ（気温、降水量、日照時間、風速）利用による、水稻いもち病発生予察システム（B L A S T A M）の稼働開始

- ・平成 10 年： 花き病害虫発生予察事業開始
- ・平成 12 年： 病害虫防除所のホームページを開設
- ・平成 15 年： 植物防疫法の一部改正  
植物防疫事業交付金の一部を一般財源化  
食品安全基本法の制定  
農林水産省消費・安全局の設置  
農薬取り締まり業務を県農林水産部から県生活環境部へ移管
- ・平成 16 年： 病害虫防除所のインターネット利用者に対する予報情報のメール配信の開始
- ・平成 20 年： 鳥取県農林総合研究所農業試験場内に、病害虫防除所を設置  
農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究員が兼務する体制となる。
- ・平成 23 年： 病害虫防除員を休止
- ・平成 26 年： 農林総合研究所の廃止による再編に伴い、再び農業試験場内に病害虫防除所を設置(農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究員が兼務する体制は継続)
- ・令和 2 年： 次長職（園芸試験場長が兼務）を新たに設置
- ・令和 5 年： 植物防疫法の一部改正により、指定病害虫の見直し、侵入警戒病害虫の緊急防除及び指定病害虫の総合防除推進体制を強化

## 2 業務内容

- (1) 病害虫発生予察事業に関する事務
- (2) 植物の検疫に関する事務
- (3) 防除についての企画に関する事務
- (4) その他防除に関する事務
- (5) 農薬の使用等に関する助言、指導、その他の援助

### 3 組織・人員

#### (1) 職員

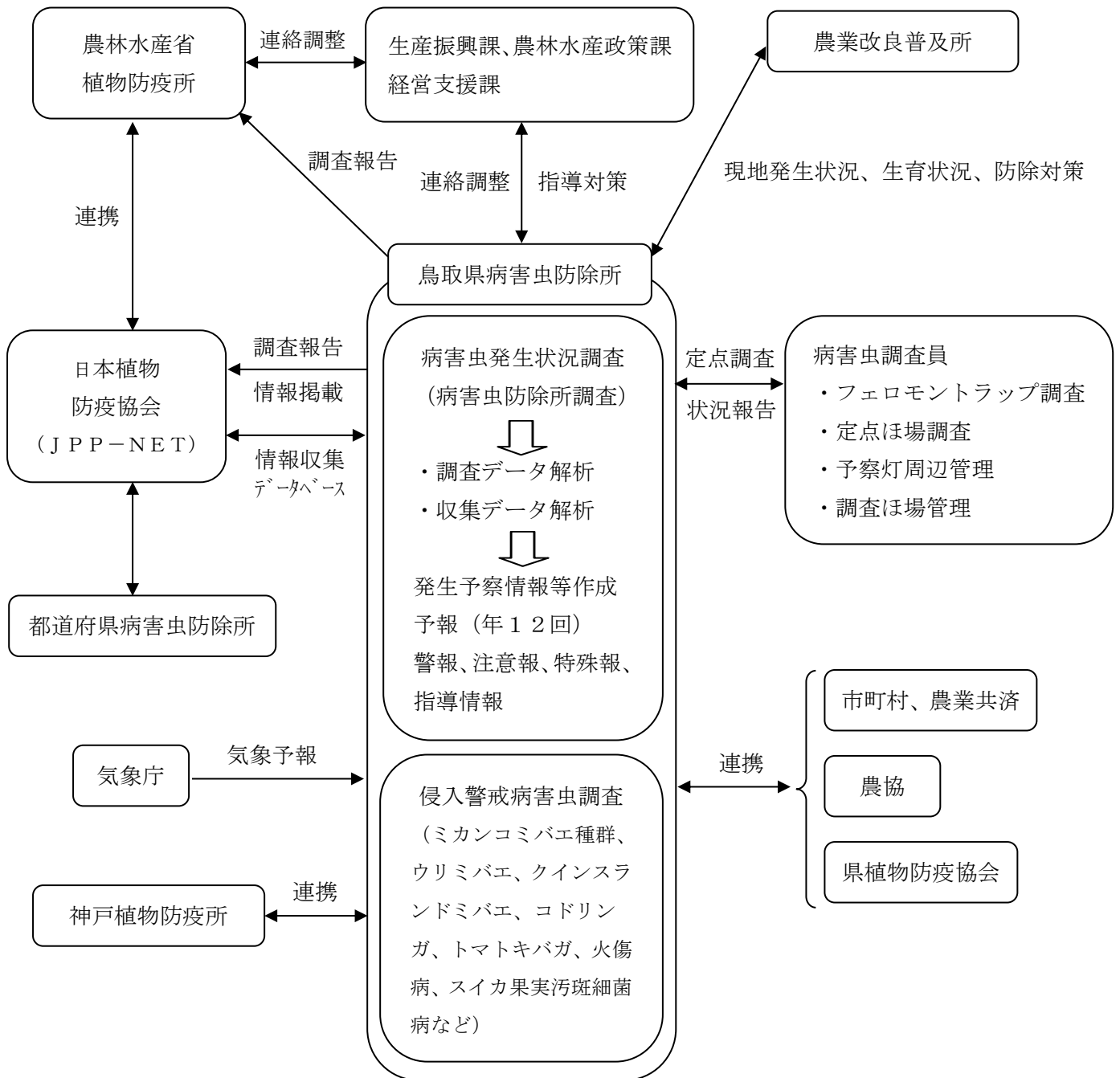
職 名	氏 名	担 当 作 物
所 長	高 木 瑞記磨	本務：農業試験場
次 長	池 田 隆 政	本務：園芸試験場
参 事	米 村 善 栄	本務： 〃
課 長 補 佐	岩 下 由紀子	本務：農業試験場
〃	奥 谷 恭 代	本務： 〃
副 主 幹	山 田 剛	普通作物（本務：農業試験場）
係 長	鶴 田 博 人	普通作物（本務： 〃 ）
〃	戸 板 重 則	果樹（本務：園芸試験場）
〃	川 田 久美子	野菜（本務： 〃 ）
農 林 技 師	宇 山 啓 太	普通作物（本務：農業試験場）
〃	森 広 大	普通作物（本務： 〃 ）
〃	山 田 高 之	果樹（本務：園芸試験場）
〃	坂 井 侑香里	野菜（本務： 〃 ）
〃	鈴 木 祐	野菜（本務： 〃 ）
〃	竹 中 春 人	野菜（本務： 〃 ）

#### (2) 病虫害発生状況調査ほ調査員

防除所職員でカバーしきれない調査、予察灯管理等について、補完的業務を行うために設置。調査並びに調査ほの管理については調査員が行う。

区 分	調 査 地 点	対 象 病 害 虫	備 考
普通作	岩美郡岩美町牧谷	イネ害虫	予察灯設置
	東伯郡琴浦町光好	〃	〃
	西伯郡日吉津村富吉	〃	〃
	東伯郡北栄町大谷	ニカメイガ（イネ）	フェロモントラップ調査
	東伯郡琴浦町下大江	斑点米カメムシ類（イネ）	〃
	鳥取市河原町和奈見	ハスモンヨトウ（ダイズ）	〃
果 樹	八頭郡八頭町池田	ナシ病虫害	観察・フェロモントラップ調査
	鳥取市福部町湯山	ナシ害虫	フェロモントラップ調査
	八頭郡八頭町花原	〃	予察灯設置
	東伯郡湯梨浜町別所	〃	〃
	鳥取市河原町小倉	果樹カメムシ類	フェロモントラップ設置
野 菜	倉吉市下米積	コナガ（キャベツ）	フェロモントラップ調査
	西伯郡大山町下甲	ハスモンヨトウ、コナガ（ブロッコリー）	〃
	倉吉市沢谷	イチゴ病虫害	観察
	東伯郡湯梨浜町橋津	〃	〃
	東伯郡湯梨浜町はわい長瀬	〃	〃
	米子市夜見町	シロイチモジヨトウ（ネギ）	フェロモントラップ調査

### (3) 病虫害防除所及び関係機関の体制



## Ⅱ 病虫害発生予察事業

### 1 事業の目的

農業生産の安定を確保し、生産物の品質を向上させるためには農作物の有害動植物の防除を適期に経済的に行う必要がある。そのため、有害動植物の繁殖、気象、農作物の生育状況などを調査して、その発育と損害を予察し、これに基づく情報を関係者に広く提供し、効率的な防除に資するとともに、農作物の有害動植物による損害を未然に防止することを目的とする。

### 2 事業実施方針

発生予察実施要綱並びに要領に基づき普通作物、果樹、野菜、花卉の発生予察に必要な基礎調査と発生状況の把握を行い、的確な予察情報の提供に務める。

### 3 対象病虫害の種類

#### (1) 植物防疫法における指定有害動植物等の根拠規定

##### ア 指定有害動植物（指定病虫害）

植物防疫法第22条の規定に基づく病虫害

（鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害72種類）

##### イ 指定有害動植物以外の有害動植物（重要病虫害）

植物防疫法第31条の規定に基づく病虫害

（鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害45種類）

#### (2) 対象病虫害一覧表

区分	対象作物	指定病虫害	重要病虫害
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、白葉枯病、ごま葉枯病、苗立枯病、もみ枯細菌病、ニカメイガ、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ、コブノメイガ、トビイロウンカ、セジロウンカ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ	心枯線虫病、イチモンジセセリ
	ムギ	うどんこ病、赤かび病、さび病類	黒穂病、斑葉病、黒節病、網斑病
	ダイズ	紫斑病、吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ、マメシンクイガ	モザイク病、子実害虫類（シロイチモジマダラメイガ）

区分	対象作物	指定病虫害	重要病虫害
果 樹	ナ シ	黒斑病、黒星病、赤星病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類、ハダニ類、アブラムシ類、コナカイガラムシ類 (クワコナカイガラムシ)	うどんこ病、輪紋病、ニセナシサビダニ
	カ キ	炭疽病、カキノヘタムシガ、アザミウマ類、カイガラムシ類、カメムシ類、ハマキムシ類	うどんこ病、灰色かび病、樹幹害虫(ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ)
	ブドウ	灰色かび病、晩腐病、べと病、アザミウマ類 (チャノキイロアザミウマ)	黒とう病、ハマキムシ類
野 菜	スイカ	アブラムシ類	つる枯病、炭疽病、疫病、うどんこ病、菌核病、ハダニ類 (カンザワハダニ、ナミハダニ)
	キャベツ	黒腐病、菌核病、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ、コナガ、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	軟腐病、べと病、黒斑細菌病、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ブロッコリー	コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ	軟腐病、黒腐病、べと病、黒すす病、アブラムシ類、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ネ ギ	黒斑病、さび病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、シロイチモジヨトウ、ネギハモグリバエ	萎縮病、軟腐病、白絹病、萎ちょう病
	イチゴ	炭疽病、うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	
	ナガイモ	シロイチモジヨトウ	炭疽病、ナガイモコガ、カンザワハダニ
	ラッキョウ		白色疫病、灰色かび病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ
	作物共通	オオタバコガ	

## 4 発生予察情報の種類と用語の使用法

### (1) 根拠法令等

#### ア 発生予察情報の種類

植物防疫事業の運用について（平成18年4月7日17消安第12412号）

#### イ 用語の基準とその使用法

発生予察事業の調査実施基準（病害虫発生予察資料8 病害虫発生予察事業の実施について 平成13年3月 農林水産省生産局植物防疫課発行）

### (2) 発生予察情報の種類

**ア 発生予報：**有害動植物の発生予想を定期的に発表するものとする。発表の時期及び回数については、農作物、有害動植物の性質等の考慮のうえ、防除に有効に利用されるよう定めるものとする。記載事項は、有害動植物名、有害動植物の発生時期、発生面積、発生程度、発生地域及びそれらの平年比、前年比、予報の根拠の概要、防除上注意すべき事項（防除の要否、回数、防除時期、使用薬剤等）、その他必要な事項とする。

**イ 警報：**重要な有害動植物が大発生することが予想され、かつ早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

**ウ 注意報：**警報を発表するほどではないが、重要な有害動植物が多発することが予想され、かつ早目に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

**エ 特殊報：**新規に有害動植物を発見した場合、重要な有害動植物の生態及び発生消長に特異な現象が認められた場合に速やかに発表するものとする。記載にあたっては、その内容により問題の重要性、意義等につき解説を加えるよう配慮するものとする。

### (3) 用語の定義とその使用法

**ア 発生面積：**発生の認められるほ場の面積をいう。ただし、ここでいう発生とは、病害の場合には農作物に肉眼で認められる病徴の出現した状態のことをいい、害虫の場合にはほ場に生息している状態のことをいう。

**イ 発生量：**発生の程度と広がり両面を加味したものをいい、数値で（例えば、単位面積当たりの虫数）、又は（4）のイの（イ）のように表現する。

#### (4) 用語の基準とその使用法

##### ア 平年値

###### (ア) 気象上の観測値

気象庁では過去 30 年の観測値の平滑平年値をとっているため、これに準ずる。  
30 年の資料がない場合には、全観測値の平均を平年値とする。

###### (イ) 病害虫の発生時期、発生量、発生面積

原則として、過去 10 年の平均とする。

###### (ウ) 農作物の生育時期

原則として、過去 5 年の平均とする。

##### イ 平年値との比較

###### (ア) 時期

平年並	平年値を中心として前後 2 日以内。
やや早い	平年値より 3～5 日早い。
やや遅い	平年値より 3～5 日遅い。
早 い	平年値より 6 日以上早い。
遅 い	平年値より 6 日以上遅い。

###### (イ) 量（発生量、発生面積及び被害量等）

平年並	平年値を中心にして 40% の度数の入る幅
やや多い	平年並の外側 20% の度数の入る幅
やや少ない	同 上
多 い	上記三者の外側 10% の度数の入る幅
少 ない	同 上

##### ウ 半旬のとり方

半旬については、暦日半旬を用いるものとする。

##### エ 発生程度別基準

発生程度は、甚、多、中、少、無の 5 段階に分ける。この基準は各論で病害虫毎に定める。

## 5 令和6年度に発表した情報

### (1) 発表状況

種 類	発表回数	対 象 病 害 虫 及 び 回 数
警 報	1 回	[果樹全般] カメムシ類
注意報	5 回	[果樹全般] カメムシ類 2 回 [イネ] イネカメムシ 1 回、斑点米カメムシ類 1 回 [野菜 (ネギ、ブロッコリー、キャベツ等)] ヨトウ類 1 回
特殊報	2 回	[ー] トマトキバガ 1 回 [サツマイモ (べにはるか)] サツマイモ炭腐病
予 報	12 回	[イネ] 葉いもち 3 回、穂いもち 3 回、紋枯病 3 回、苗立枯病 2 回、 ばか苗病 3 回、イネシンガレセンチュウ 2 回、縞葉枯病(ヒメトビ ウンカ) 3 回、斑点米カメムシ類 3 回、イネミズゾウムシ 3 回、セ ジロウンカ 2 回、トビイロウンカ 2 回、コブノメイガ 1 回、フタ オビコヤガ 2 回 [オオムギ] 赤かび病 1 回、うどんこ病 1 回、網斑病 1 回 [ダイズ] 紫斑病 2 回、カメムシ類 2 回、ハスモンヨトウ 3 回 [ナシ] 黒斑病 8 回、黒星病 8 回、赤星病 2 回、輪紋病 2 回、ハダニ 類 8 回、カメムシ類 3 回、クワコナカイガラムシ 2 回、アブラム シ類 3 回、ニセナシサビダニ 2 回、シンクイムシ類 5 回 [カキ] 落葉病 1 回、炭疽病 6 回、うどんこ病 1 回、灰色かび病 1 回、カキノヘタムシガ 2 回、樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、フタ モンマダラメイガ) 2 回 [ブドウ] べと病 4 回、灰色かび病 1 回、チャノキイロアザミウマ 2 回、ハマキムシ類 2 回 [果樹共通] カメムシ類 7 回 [ネギ] さび病 5 回、黒斑病 5 回、軟腐病 3 回、べと病 5 回、白絹病 3 回、ネギハモグリバエ 7 回、ネギアザミウマ 7 回、シロイチモ ジヨトウ 2 回 [ネギ・ナガイモ] シロイチモジヨトウ 2 回 [スイカ] つる枯病 2 回、うどんこ病 4 回、菌核病 2 回、褐色腐敗病 ・疫病 1 回、つる枯病・炭疽病 2 回、アブラムシ類 3 回、ハダニ 類 3 回 [スイカ・メロン] アブラムシ類 2 回、ハダニ類 1 回 [ナガイモ] 炭疽病 3 回、ナガイモコガ 2 回、ハダニ類 3 回、シロイ チモジヨトウ 1 回 [ラッキョウ] 灰色かび病 1 回、白色疫病 2 回、ネギハモグリバエ 3 回 [イチゴ] うどんこ病 3 回、灰色かび病 1 回、炭疽病 2 回、アブラム シ類 2 回、ハダニ類 2 回 [キャベツ・ブロッコリー・イチゴ] ハスモンヨトウ 2 回 [キャベツ・ブロッコリー] 軟腐病 2 回、黒腐病 2 回、べと病 2 回、 黒すす病 2 回、コナガ 2 回、ヨトウムシ 1 回、ハスモンヨトウ 2 回、アブラムシ類 2 回 [ブロッコリー] コナガ 1 回

## (2) 内 容

### ア. 警 報

#### 令和6年度病害虫発生予察警報第1号（令和6年7月26日）

#### 警報の概要

果樹カメムシ類の発生量が多いことから、病害虫発生予察注意報第2号（令和6年7月10日付）を発表し、防除の徹底を呼びかけているが、依然としてカメムシ類の発生量は多く、一部の果樹園において果実被害が認められている。今後、園地への多飛来が継続することが予想され果樹類の被害防止のため、最大限の警戒が必要である。

#### 病害虫名：果樹カメムシ類

- 1 対象作物 果樹全般
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生量 多 い
- 4 警報発令の根拠

- (1) 7月中旬現在、主な加害種であるチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ及びツヤアオカメムシの誘殺数は平年と比較して多く、予察灯3か所における7月中旬までの誘殺数の合計値は、チャバネアオカメムシで26,749頭（平年：1,238頭）と平年の約21.6倍、クサギカメムシで7,943頭（平年：253頭）と31.4倍、ツヤアオカメムシで38,035頭（平年：520頭）と73.1倍となっている（表1）。
- (2) 集合フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、平年又は前年に比べて多い（表2）。
- (3) 7月下旬現在、一部のナシ園及びカキ園においてカメムシ類による果実被害が認められている。
- (4) 向こう1か月の気象予報（広島地方气象台，7月18日発表）から、平年に比べて気温が高くなることが見込まれ、カメムシ類の加害活動に好適な条件になると見込まれる。

#### 5 防除上注意すべき事項

- (1) 被害や飛来状況は、ほ場間差が大きいいため、園内外をこまめに見回り早期発見に努め、被害果実やカメムシ類の発生が多い場合は早急に防除を行う。特に、過去の多発年に被害を受けた地域では注意する。また、地域内でカメムシ類の飛来情報や防除計画等の共有を徹底する。
- (2) 防除は、カメムシ類が飛来する夕方か早朝が効果的である。ただし、薬剤が乾きにくい気象条件では、薬害が発生しやすいため、夕方散布を実施しない。また、カメムシ類は移動性が高いため、広域的な防除に努める。
- (3) ピレスロイド系殺虫剤の多用が、カイガラムシ類及びハダニ類の発生を助長した事例があるので、必要最小限の使用にとどめる。
- (4) 各樹種の防除薬剤は表3を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布業者等の安全の確保に努め、防除を行う際は農作業安全に十分に注意する。また、養蜂が行われている地区では蜜蜂の巣箱やその周辺に農薬が飛散しないように注意する。



チャバネアオカメムシ

クサギカメムシ

ツヤアオカメムシ

図1 果樹カメムシ類における主要加害種



ナシ‘豊水’生育期



カキ‘西条’生育期



ナシ‘二十世紀’収穫期

図2 果樹カメムシ類による被害果実

表1 予察灯における果樹カメムシ類の総誘殺数（4月上旬～7月中旬）

調査地点	チャバネアオカメムシ		クサギカメムシ		ツヤアオカメムシ	
	令和6年	平年	令和6年	平年	令和6年	平年
八頭町	9,200	432	3,416	153	6,892	51
湯梨浜町	10,966	228	2,526	53	16,195	17
北栄町	6,583	578	2,001	47	14,948	452
合計	26,749	1,238	7,943	253	38,035	520
平年比（倍）	21.6		31.4		73.1	

平年：八頭町はR3年～R5年の平均値、北栄町はH26年～R5年の平均値、湯梨浜町はR5年の前年値。

表2 集合フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの総誘殺数（4月上旬～7月中旬）

調査地点	令和6年	比較
河原町	23,202	164（前年値）
北栄町	1,713	219（平年値）

比較：河原町はR5年の前年値。北栄町はH26年～R5年の平均値。

表3 果樹カメムシ類の主な防除薬剤と使用基準\*

作物名	農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	IRAC コード**	薬剤の系統
なし	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内		
	シペルメトリン水和剤 (アグロスリン水和剤)	1,000 倍～ 2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	3A	ピレスロイド系
	シペルメトリン水和剤 (イカズチWDG)	1,500 倍	収穫前日まで			
テルスターフロアブル	3,000 倍～ 6,000 倍	収穫前日まで	2 回以内			
かき	ジノテフラン水溶剤*** (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	4A	ネオニコチノイド系
	クロラントラニプロール ジノテフラン水和剤*** (キックオフ顆粒水和剤)	2,000 倍	収穫前日まで		ジノテフラン : 4A クロラントラ ニプロール : 28	
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アグロスリン水和剤	1,000 倍～ 2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	3A	ピレスロイド系
	テルスターフロアブル	3,000 倍～ 6,000 倍	収穫 3 日前まで	2 回以内		
	キラップフロアブル	2,000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内	2B	フェニルピラゾール系
ぶどう	ジノテフラン水溶剤**** (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	4A	ネオニコチノイド系
	ダントツ水溶剤	2,000 倍～ 4,000 倍	収穫前日まで	3 回以内		
	テッパン液剤	2,000 倍	収穫前日まで	2 回以内	28	ジアミド系
りんご	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内	4A 3A	ネオニコチノイド系 ピレスロイド系
	テルスターフロアブル	3,000 倍	収穫前日まで	1 回以内		

\*農薬の登録内容は令和 6 年 7 月 25 日現在

\*\*IRAC コードは殺虫剤の作用機構の分類を示す。

\*\*\*ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、4 回以内（塗布は 1 回以内、散布は 3 回以内）

\*\*\*\*ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、3 回以内（塗布は 1 回以内）

## イ. 注意報

### 令和6年度病害虫発生予察注意報第1号（令和6年4月17日）

#### 注意報の概要

4月中旬以降、カメムシ類の越冬世代成虫が果樹園に飛来する可能性があり、果樹全般において果実被害の発生が懸念される。今後、果樹園への飛来が認められた場合、直ちに防除を行う必要がある。

病害虫名：果樹カメムシ類

- 1 対象作物 果樹全般
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 やや早い
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発令の根拠

(1) クサギカメムシの越冬成虫数（ベニヤ板トラップ、県内10地点調査）は、トラップあたり26.3頭（平成：7.5頭）と平年に比べて多かった（表1）。

(2) 4月16日現在、集合フェロモントラップ（水盤式）調査におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は3頭（平成：0.2頭）と発生時期はやや早く、発生量が多い。

(3) 向こう1か月の気象予報から発生時期はやや早く、発生量が多いと予想される。

#### 6 防除上注意すべき事項

(1) 山間地及び民家近くの果樹園で例年発生が認められる園では、春期の被害が予想されるため、成虫の飛来を注意して観察する。

(2) 被害や飛来状況は、ほ場間差が大きいため、園内外をこまめに見回り早期発見に努め、被害果実やカメムシ類の発生が多い場合は早急に防除を行う。特に、多発年に早期被害を受けた地域では注意する。

(3) ナシでは摘果期～小袋掛け期の幼果を加害するので、この時期に果樹園への飛来が認められた場合、直ちにジノテフラン水溶剤（アルバリン顆粒水溶剤又はスタークル顆粒水溶剤）2,000倍液などを散布する。また、ナシの有袋栽培では小袋かけを早く実施する。

(4) 各樹種の防除薬剤は表2を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者等の安全の確保に努め、防除を行う際は、農作業安全に十分に注意する。

表1 ベニヤ板トラップ調査\*によるクサギカメムシの越冬量

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	<b>R5年</b>	平成**
県内10地点平均	5.7	6.1	14.1	7.2	5.3	9.9	4.4	<b>26.3</b>	7.5

\* 表中の数字は、トラップあたりの成虫数を示す。設置数は2トラップ/地点

\*\* 平成はH28または29年～R4年までの平均値を示す。



チャバネアオカメムシ成虫  
写真1



クサギカメムシ成虫  
主要な果樹カメムシ類



ツヤアオカメムシ成虫



写真2 ナシ幼果の果樹カメムシ類による吸汁被害

表2 果樹カメムシ類の主な防除薬剤と使用基準\*

作物名	農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	IRAC コード**	薬剤の系統
なし	ジノテフラン水溶剤 (アルパリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネニコチノイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内		
	シペルメトリン水和剤 (アグロスリン水和剤)	1,000倍～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレストイド系
	シペルメトリン水和剤 (イカズチWDG)	1,500倍	収穫前日まで			
テルスターフロアブル	3,000倍～ 6,000倍	収穫前日まで	2回以内			
かき	ジノテフラン水溶剤*** (アルパリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネニコチノイド系
	クロラントラニプロール ジノテフラン水和剤*** (キックオフ顆粒水和剤)	2,000倍	収穫前日まで		ジノテフラン : 4A	
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	4A	ネニコチノイド系
	アグロスリン水和剤	1,000倍～ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレストイド系
ぶどう	ジノテフラン水溶剤**** (アルパリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネニコチノイド系
りんご	ジノテフラン水溶剤 (アルパリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネニコチノイド系
うめ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内	4A	ネニコチノイド系

\*農薬の登録内容は令和6年4月15日現在

\*\*IRACコードは殺虫剤の作用機構の分類を示す。

\*\*\*ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、4回以内（塗布は1回以内、散布は3回以内）

\*\*\*\*ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、3回以内（塗布は1回以内）

令和6年度病害虫発生予察注意報第2号（令和6年7月10日）

**注意報の概要**

病害虫発生予察注意報第1号（令和6年4月17日付）を発表したが、依然としてカメムシ類の発生が多く、今後は主要な果樹の収穫時期が近くなり、被害を最小限にするためには重要な防除時期であることから、防除を徹底する必要がある。

**病害虫名：果樹カメムシ類**

- 1 対象作物 果樹全般
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生量 多い
- 4 注意報発令の根拠

- (1) カメムシ類の予察灯及び集合フェロモントラップにおける調査では、越冬世代成虫の発生量となる7月上旬までの総誘殺数がチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシともに平年を上回っている（表1、2）。
- (2) 向こう1か月の気象予報（7月4日発表）から、今後、カメムシ類の活動に好適な条件になると予想される。
- (3) カメムシ類の越冬世代成虫の発生量が多いことから、第1世代成虫が発生する7月中下旬以降に、果樹園への飛来量が増加すると予想される。

**5 防除上注意すべき事項**

- (1) 被害や飛来状況は、ほ場間差が大きいため、園内外をこまめに見回り早期発見に努め、被害果実やカメムシ類の発生が多い場合は早急に防除を行う。特に、多発年に早期被害を受けた地域では注意する。
- (2) 果樹園への飛来量が増加する時期は、例年第1世代成虫が発生する7月中下旬頃であるが、多発年において、7月上旬頃から果樹園への飛来量が増加した事例があるので注意する。
- (3) 防除は、カメムシ類が飛来する夕方か早朝が効果的である。ただし、薬剤が乾きにくい気象条件では薬害が発生しやすいため、夕方散布を実施しない。また、カメムシ類は移動性が高いため、広域的な防除に努める。
- (4) 合成ピレスロイド系殺虫剤の多用が、カイガラムシ類及びハダニ類の発生を助長した事例があるので、必要最小限の使用にとどめる。
- (5) 各樹種の防除薬剤は表3を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布業者等の安全の確保に努め、防除を行う際は、農作業安全に十分に注意する。

表1 予察灯における果樹カメムシ類の総誘殺数（4月上旬～6月下旬）

調査地点	チャバネアオカメムシ		クサギカメムシ		ツヤアオカメムシ	
	令和6年	平年	令和6年	平年	令和6年	平年
八頭町	<u>2,772</u>	199.4	<u>255</u>	40.1	<u>2,961</u>	22.0
湯梨浜町	<u>4,727</u>	312.7	<u>386</u>	15.7	<u>6,577</u>	273.7
北栄町	<u>2,767</u>	349.9	<u>229</u>	12.6	<u>9,920</u>	269.4

平年：八頭町は令和3年～令和5年の平均値、湯梨浜、北栄町は平成26年～令和5年の平均値。  
下線部は平年を上回る誘殺数を示す。

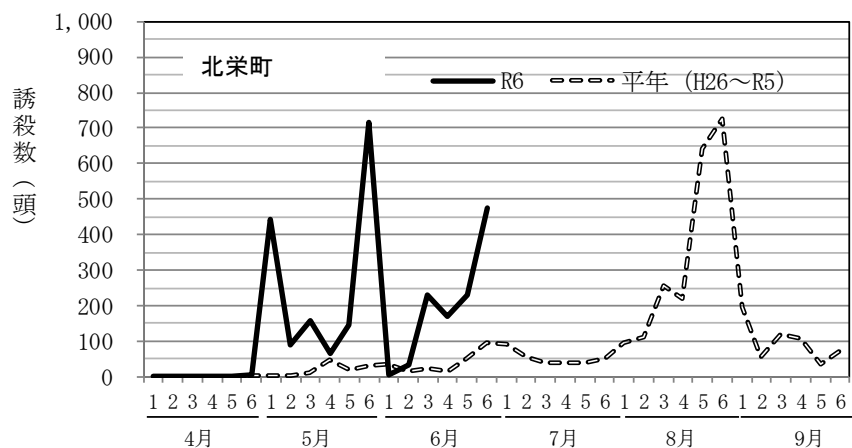


図1 チャバネアオカメムシの予察灯における誘殺数の推移



チャバネアオカメムシ成虫



クサギカメムシ成虫



ツヤアオカメムシ成虫

写真1 主要な果樹カメムシ類



ナシ‘王秋’の果実被害



カキ‘富有’の果実被害

写真2 果樹カメムシ類による果実被害（収穫期）

表3 果樹カメムシ類の主な防除薬剤と使用基準\*

作物名	農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	IRAC コード**	薬剤の系統
なし	ジノテフラン水溶剤 (アルバリノ顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	4A	ネコチノイド系
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内		
	シペルメトリン水和剤 (アグロスリン水和剤)	1,000倍~ 2,000倍	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレストイド系
	シペルメトリン水和剤 (イカズチWDG)	1,500倍	収穫前日まで			
	テルスターフロアブル	3,000倍~ 6,000倍	収穫前日まで	2回以内		

かき	ジノテフラン水溶剤*** (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	4 A	ネコチノイド系
	クロラントラニプロール ジノテフラン水和剤*** (キックオフ顆粒水和剤)	2,000 倍	収穫前日まで		ジノテフラン : 4 A クロラントラ ニプロール : 2 8	
	アクタラ顆粒水溶剤	2,000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内	4 A	ネコチノイド系
	アグロスリン水和剤	1,000 倍～ 2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	3 A	合成ピレストイド系
	エチプロール水和剤 (キラップフロアブル)	2,000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内	2 B	フェニルピラゾール系
ぶどう	ジノテフラン水溶剤**** (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	4 A	ネコチノイド系
りんご	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000 倍	収穫前日まで	3 回以内	4 A	ネコチノイド系

\*農薬の登録内容は令和 6 年 7 月 9 日現在

\*\*IRAC コードは殺虫剤の作用機構の分類を示す。

\*\*\*ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、4 回以内（塗布は 1 回以内、散布は 3 回以内）

\*\*\*\*ジノテフランを含む農薬の総使用回数は、3 回以内（塗布は 1 回以内）

### 令和 6 年度病害虫発生予察注意報第 3 号（令和 6 年 7 月 1 2 日）

#### 注意報の概要

7 月上旬現在、昨年度被害が発生した県西部地域では、出穂前の水田へのイネカメムシの飛来が確認されている。今後、極早生品種から順次出穂期を迎えるにあたり、水田での発生量のさらなる増加及び被害発生が懸念されることから、被害を最小限にするために防除を行う必要がある。

なお、イネカメムシは他の斑点米カメムシ類と異なり、水稻を特異的に加害する。そのため、本田防除以外の対策では効果が期待できないことから、出穂期からの本田防除を徹底する。

#### 病害虫名：イネカメムシ

- 1 対象作物 イネ
- 2 発生地域 県内全域（特に西部地域）
- 3 発生量 多い
- 4 注意報発令の根拠

- (1) 7 月 1 0～1 1 日に西部地域の中間～平坦地の出穂前の水田（主に極早生及び早生品種）8 地点 2 2 ほ場で実施したイネカメムシの見取り調査において、複数地点で本種の発生を確認した（確認地点数：7 地点、発生ほ場率：6 8. 2 %）。発生が多いほ場では、1 株あたり平均寄生虫数が 5 頭を超えている。
- (2) 西部地域の中間～平坦地を中心に、出穂前の水田へのイネカメムシの飛来、出穂間近の極早生品種への大量寄生が確認されている。また、粘着板によるトラップ調査においても、複数地点の水田（出穂 1 0 日前～出穂間近）で本種の捕獲が確認されている。

(3) 7月11日発表の向こう1か月の気象予報によると、気温は高いと予想されており、今後もイネカメムシの活動及び増殖に好適な条件が継続すると予想される。



写真1. イネカメムシ成虫 (体長約 13mm)

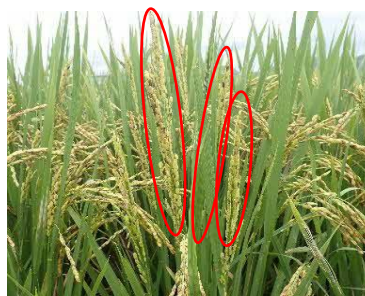


写真2. イネカメムシの加害による穂の直立



写真3. イネカメムシの加害による基部斑点米



写真4. 出穂前のイネに寄生するイネカメムシ  
(写真提供：西部農業改良普及所)

## 5 防除上注意すべき事項

- (1) イネカメムシは、他の斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシなど）と異なり、イネ科雑草に生息する個体数は少なく、雑草管理では発生密度を低減できない。そのため、粉剤もしくは水和剤による本田防除を徹底する。
- (2) 発生が多い地域では、出穂始め（出穂期の約2日前）～出穂期（不稔対策）及び穂揃い期～乳熟初期（1回目の7～10日後）（斑点米対策）の2回防除を行う。特に昨年被害が発生した多発地域では、出穂期にイネカメムシによる集中加害を受けると、著しい不稔が発生することから、減収防止のために出穂期の防除を徹底する。
- (3) 未確認地域、少発生地域では、出穂前後の慣行防除の徹底により、発生地域拡大と地域全体の発生量増加を防ぐ。
- (4) 周辺より出穂が極端に早い、又は遅いほ場では、本種の飛来が集中するため、このような条件のほ場では発生状況を注意深く観察し、発生が確認された場合は防除を徹底する。
- (5) 薬剤散布にあたっては、農薬使用基準を遵守するとともに、蜜蜂被害軽減対策などに注意する。

表1 イネカメムシに対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	使用回数	IRAC コード
スタークル液剤10	収穫7日前まで	3回以内	4A
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	4C
キラップフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	2B
トレボン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	3A

注1 農薬の登録内容は令和6年7月12日現在

注2 IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

## 注意報の概要

斑点米の原因となるカメムシ類の発生が水田周辺のイネ科雑草地や既に出穂している極早生品種や早植えの早生品種などで多く、斑点米被害の多発が懸念されます。今後、水稻の出穂とともにカメムシ類が水田へ飛来してきますので、穂揃い期から乳熟初期の防除を徹底しましょう。

**病害虫名：斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシなど）**

- 1 対象作物 イネ
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生量 多い
- 4 注意報発令の根拠

(1) 現在、水田周辺のイネ科雑草地では、主にアカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシなどが発生している。

7月13～18日に行った巡回調査の結果、捕虫網5往復10回振りすくい取りの平均成虫数は354.3頭（平年：298.6頭）と平年よりやや多く、過去の注意報発令年と同程度の発生となっている（表1）。

(2) イネ科雑草地では、アカスジカスミカメ及びクモヘリカメムシは大量発生している地点が県内全域に点在している。さらに、クモヘリカメムシの発生か所率は80.0%（平年：30.9%）で、過去20年間でも最も高い。

(3) 既に出穂している極早生品種や早植えの早生品種では、クモヘリカメムシ及びホソハリカメムシが大量に飛来しているほ場が県内全域で散見されている。

(4) 気象予報によると、向こう1か月は平年と同様に晴れの日が多く、気温は高いと予想されており、出穂期を迎える水田でのカメムシ類の加害活動及び増殖に好適な条件になると見込まれる。

## 5 防除上注意すべき事項

(1) 水田周辺の雑草地、畦畔などのイネ科雑草はカメムシ類の増殖源となるので、適正な管理を行う。出穂20日前頃に畦畔などの草刈りを行ったほ場では、再生したイネ科雑草が出穂する前に再度草刈りを行うと、カメムシ類の密度がさらに低下する。一方、出穂20日前頃に畦畔などの草刈りを行っていないほ場では、穂揃い期から乳熟期に草刈りを行い、その直後に、水田に追い込まれたカメムシ類を粉剤、水和剤などで防除する。

(2) 薬剤防除は適期に行う。

ア 粉剤、水和剤などを使用する場合

薬剤防除は穂揃い期から乳熟初期に行い、その後も発生が多い場合は7～10日間隔で1～2回の追加防除を行う。防除は地域一斉で行うと効果が高い。なお、出穂前散布の防除効果は期待できない。

イ 粒剤を使用する場合

発生の主体がアカスジカスミカメの水田では、粒剤による防除も可能である。病害虫防

除指針などを参考にして、各薬剤の散布適期に湛水散布を行う（湛水散布にあたっては、農薬のラベルに記載されている止水に関する注意事項などを確認するとともに、止水期間を7日間とし、また、農薬の流出を防止するために必要な措置を講じるように努める）。また、散布後も発生が多い場合は粉剤、水和剤などで追加防除を行う。

なお、クモヘリカメムシやホソハリカメムシに対して、粒剤は実用的な防除効果を示さない。

ウ 防除薬剤は表2を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。

- (3) クモヘリカメムシ及びホソハリカメムシはイネの登熟後期まで水田内で発生する。そのため、これらの種の発生が多い場合は防除後も発生状況に十分注意し、要防除水準（25往復50回振りすくい取り虫数4頭以上）を超えた場合は直ちに追加防除を行う。
- (4) 水田内で穂をつけたヒエ類はカメムシ類の発生を助長するので、見つけ次第抜き取る。
- (5) イネカメムシが発生している地域では、本種の適期防除を徹底する（令和6年7月12日付の令和6年度病害虫発生予察注意報第3号を参照）。
- (6) 薬剤散布にあたっては、農薬使用基準を遵守するとともに、蜜蜂被害軽減対策などに注意する。

表1 水田周辺のイネ科雑草地などにおける斑点米カメムシ類の発生状況（7月中旬）

調査年	斑点米カメムシ類の種類別成幼虫数					合計
	アカスジカスミカメ	ホソハリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	クモヘリカメムシ	その他	
令和6年	313.6 (100%)	2.3 (43.3%)	0.2 (3.3%)	23.9 (80.0%)	14.3	354.3
平年	275.6 (90.2%)	1.7 (44.7%)	0.5 (12.0%)	12.5 (30.9%)	8.4	298.6

注) 数字は捕虫網5往復10回振りすくい取り成幼虫数、括弧内は発生か所率を示す。  
巡回調査定点地区及びその周辺地区のイネ科雑草地（2～3か所/地区）などを調査。  
（19地区47か所調査）  
平年値は平成28年～令和5年の平均値（ただし、令和2年と令和3年は調査未実施）。



写真1 アカスジカスミカメ

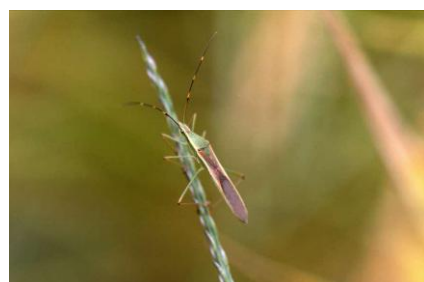


写真2 クモヘリカメムシ



写真3 ホソハリカメムシ



写真4 トゲシラホシカメムシ

表2 斑点米カメムシ類の主な防除薬剤

剤型	薬剤名	使用時期	使用回数	IRAC コード
粉剤	トレボン粉剤DL	7日前	3回以内	3 A
	ジノテフラン粉剤DL (商品名：アルバリン粉剤DL /スタークル粉剤DL)	7日前	3回以内	4 A
	ダントツ粉剤DL	7日前	3回以内	4 A
粒剤	ジノテフラン粒剤 (商品名：アルバリン粒剤/ スタークル粒剤)	7日前	3回以内	4 A
	ダントツ粒剤	7日前	3回以内	4 A
	キラップ粒剤	14日前	2回以内	2 B
乳剤、水溶剤 など	トレボン乳剤	14日前	3回以内	3 A
	アルバリン顆粒水溶剤	7日前	3回以内	4 A
	スタークル液剤10	7日前	3回以内	4 A
	ダントツフロアブル	7日前	3回以内	4 A
空中散布剤	スタークル液剤10	7日前	3回以内	4 A
	トレボンエア	14日前	3回以内	3 A
	ダントツフロアブル	7日前	3回以内	4 A

令和6年度病害虫発生予察注意報第5号（令和6年10月2日）

注意報の概要

9月下旬現在、フェロモントラップにおけるヨトウ類の誘殺数はやや多く、また、ブロッコリー、キャベツ等のほ場では、食害及び卵塊が平年より多く確認されています。今後も発生に好適な気象条件が続くと予想されますので、防除を徹底して下さい。

病害虫名：ヨトウ類（シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ）

- 1 対象作物 野菜（ネギ、ブロッコリー、キャベツ等）
- 2 発生地域 県中西部
- 3 発生量 多い
- 4 注意報発表の根拠

表1 ヨトウ類の発生状況（9月下旬）

作目	調査ほ場数	発生ほ場率		平均発生株率		卵塊発生ほ場率
		0%	年平均値	0%	年平均値	
ネギ	10	0%	10.0~26.0% <sup>1)</sup>	0%	0.04~6.1% <sup>1)</sup>	0%
キャベツ	5	40.0%	5.6%	24.0%	2.1%	0%
ブロッコリー	7	83.3%	39.8%	36.6%	4.5%	71.4%

調査地点 ネギ：境港5地点、米子5地点      キャベツ：北栄町2地点、倉吉市3地点  
ブロッコリー：大山町4地点、琴浦町3地点

- (1) 9月下旬の病害虫巡回調査の結果、キャベツ、ブロッコリーでヨトウ類の発生が多い。また、これらの卵塊が確認されるほ場数も多く、今後、被害の増加が予想される(表1)。
- (2) これまでのヨトウ類のフェロントラップの誘殺数は平年並~多く、今後、次世代の誘殺数が増加すると予想される(図1、図2、図3)。
- (3) 向こう1か月の気象予報では、気温は高く、降水量は平年並と予想されており、今後もヨトウ類の活動に好適な条件になると予想される。

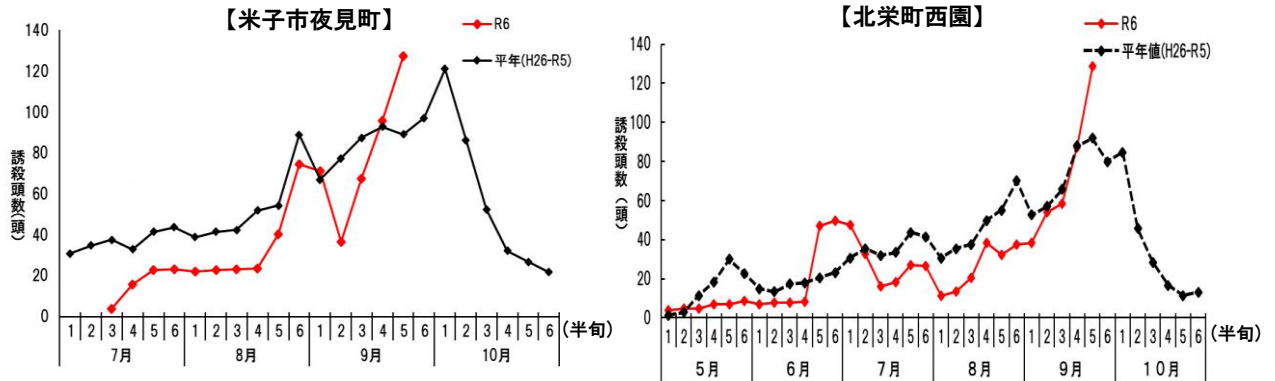


図1 フェロントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数(品目:ネギ)

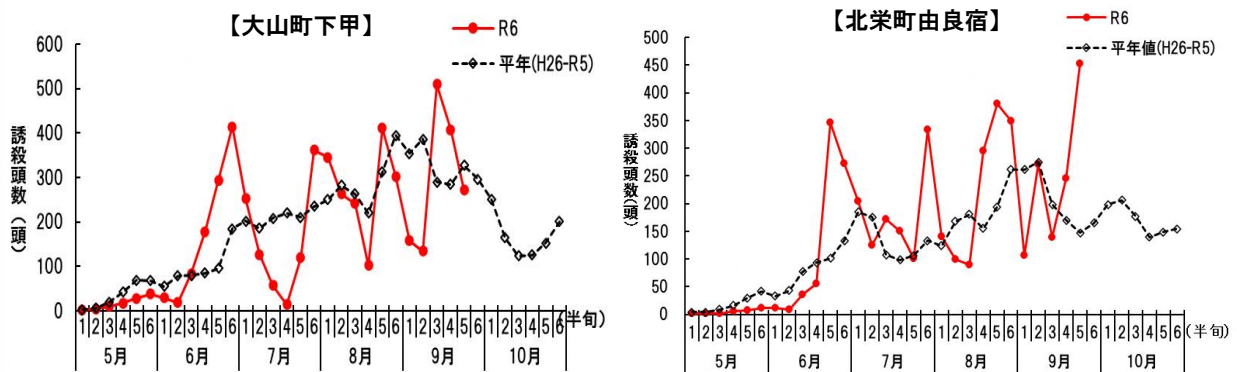


図2 フェロントラップによるハスモンヨトウの誘殺数(品目:ブロッコリー)

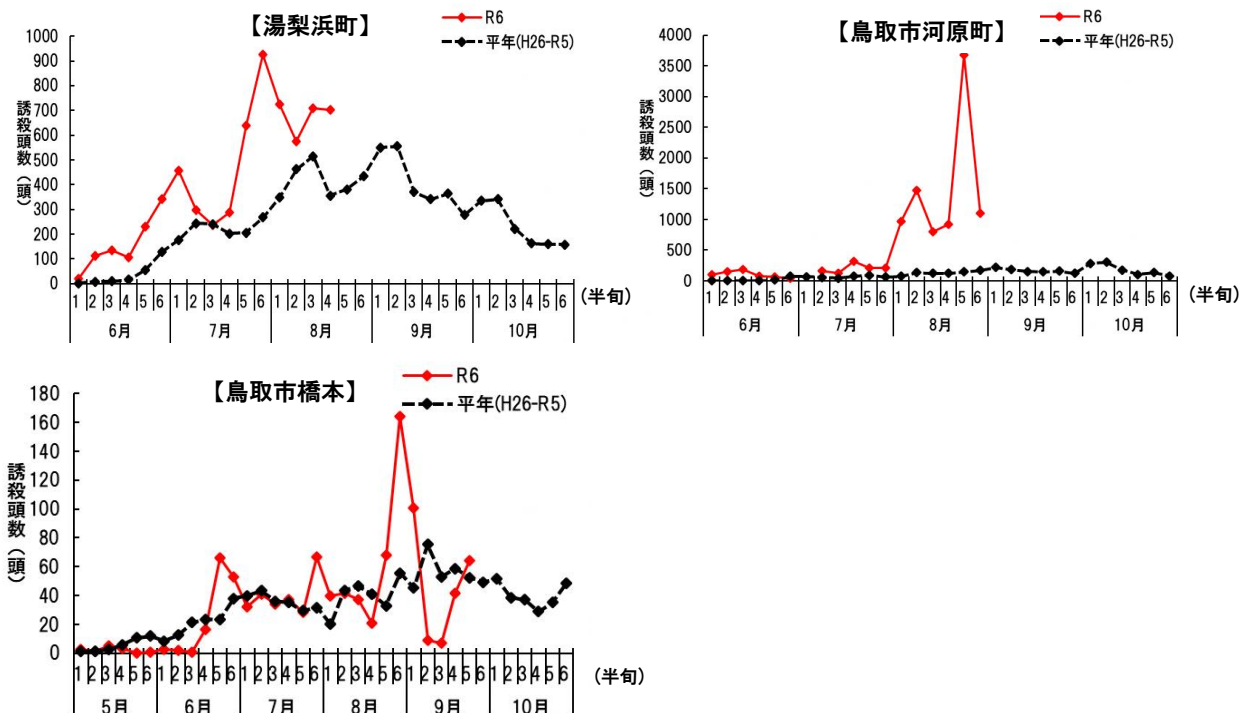


図3 フェロントラップによるハスモンヨトウの誘殺数(品目:ダイズ)(参考)

## 5 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤の感受性が高い若齢幼虫期（体長 1 cm 以下）に防除を行う。食害痕が見られ始める頃が防除適期である。
- (2) 食害痕は不整形の白斑となり、更にかすり状に透けて見える。はじめ卵塊から孵化した幼虫は集団で産卵場所やその周辺にとどまり、葉の表皮を残して葉肉部を食害する。ほ場内を観察し、食害痕が目立つ株に注意する（図 4、5）。
- (3) 食害痕および若齢幼虫の発生が見られた場合には、表 2、3 を参考に速やかに防除する。
- (4) 農薬の使用にあたっては、使用基準を遵守する。また、最新の農薬の登録内容は農林水産省の農薬登録情報提供システムで確認する (<https://pesticide.maff.go.jp/>)。



図 4 シロイチモジヨトウの幼虫と卵塊



図 5 ハスモンヨトウの幼虫と卵塊

表2 シロイチモジヨトウの主な防除薬剤と使用基準

作物名	農薬の名称	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード*	薬剤の系統
ネギ	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫3日前まで	3回	5	スピノシン
	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日	2回		
	フローバックDF	1,000～2,000倍	発生初期 但し収穫前日まで	-	11A	BT
	トルネードエースDF	1,000倍	収穫14日前まで	2回	22A	オキサジアジン
	ベネビアOD	2,000倍	収穫前日まで	3回	28	ジアミド
	プレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫3日前まで	3回		
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫7日前まで	3回		
	プロフレアSC	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回	30	メジアミド <sup>†</sup>
	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回		イソキサゾリン
	プレオフロアブル	1,000倍	収穫3日前まで	4回	UN**	ピリダリル

\*殺虫剤コード。殺虫剤の有効成分を作用点作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。 \*\*作用機構が不明あるいは不明確な薬剤

表3 ハスモンヨトウの主な防除薬剤と使用基準

作物名	農薬の名称	希釈倍数	収穫前日数	本剤の使用回数	IRACコード*	薬剤の系統
ブロッコリー	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日まで	2回	5	スピノシン
	フローバックDF	1,000倍	発生初期 但し収穫前日まで	-	11A	BT
	カスケード乳剤	4,000倍	収穫7日前まで	2回	15	IGR脱皮阻害
	ファルコンフロアブル	4,000倍	収穫3日前まで	2回	18	IGR脱皮促進
	アクセルフロアブル	1,000～2,000倍	収穫前日まで	2回	22B	メフルミゾン
	プレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3回	28	ジアミド <sup>†</sup>
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫前日まで	2回	28	
	プロフレアSC	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回	30	メジアミド <sup>†</sup>
	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回		イソキサゾリン
	プレオフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	2回	UN**	ピリダリル
キャベツ	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日まで	2回	5	スピノシン
	アニキ乳剤	1,000～2,000倍	収穫3日前まで	3回	6	マクロライト <sup>†</sup>
	アタブロン乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	4回	15	IGR脱皮阻害
	マトリックフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	4回	18	IGR脱皮促進
	ファルコンフロアブル	2,000～4,000倍	収穫7日前まで	2回		
	トルネードエースDF	2,000倍	収穫7日前まで	2回	22A	オキサジアジン
	アクセルフロアブル	1,000～2,000倍	収穫前日まで	3回	22B	メフルミゾン
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回	28	ジアミド <sup>†</sup>
	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回	30	イソキサゾリン
	プレオフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	2回	UN**	ピリダリル

\*殺虫剤コード。殺虫剤の有効成分を作用点作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。 \*\*作用機構が不明あるいは不明確な薬剤

## ウ. 特殊報

### 令和6年度病害虫発生予察特殊報第1号（令和6年6月11日）

- 1 病害虫名 トマトキバガ *Tuta absoluta* (Meyrick)
- 2 作物名 —
- 3 確認の経過及び国内の誘殺状況
  - (1) 令和6年6月7日に園芸試験場内に設置した性フェロモントラップに誘殺されたチョウ目成虫を同定したところ、同日、本県未発生のトマトキバガと同定された。
  - (2) 現在のところ、県内での農作物被害は確認されていない。
  - (3) 本種は令和3年に熊本県で初めて確認され、その後、38道府県で誘殺が確認されている。
- 4 本種の特徴及び生態
  - (1) 成虫は翅を閉じた状態で体長約5mm（開張約10mm）で、前翅は灰褐色地に黒色斑が散在し、後翅は一様に淡黒褐色である（写真1）。  
幼虫の体長は、終齢幼虫で約8mm、体色は淡緑色～淡赤白色。前胸の背面後方に細い黒色横帯がある（写真2）。
  - (2) 主な寄主植物はトマト、ナス、ピーマン、パレイショなどのナス科植物で、マメ科のインゲンマメも寄主植物として確認されている。
  - (3) 1年に複数の世代が発生し、繁殖力が高い。卵～成虫になるまでの期間は24～38日程度で、気温が低いと生育期間はさらに伸びる。成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多く、雌は一生のうちに平均で約260個の卵を寄主植物の裏面などに産み付ける。
  - (4) トマトでは、幼虫が茎葉の内部に潜孔し、食害部分は表面だけが残し白～褐変した外観となる（写真3）。また、果実へも幼虫が食入し、穿孔痕が生じるとともに食害部分の腐敗が生じ果実品質が著しく低下する（写真4）。
- 5 防除対策
  - (1) ほ場内をよく見回り、早期発見に努める。本虫と疑われる幼虫を発見した場合には、速やかに鳥取県病害虫防除所に連絡する。
  - (2) 発生を確認した場合は、表を参考にして登録のある殺虫剤により防除を行う。薬剤散布にあたっては、最新の農薬登録情報を確認し、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統が異なる薬剤のローテーション散布を行う。
  - (3) 発生を拡大させないため、被害葉や被害果実をほ場に放置せず、土中深くに埋没するか、ビニール袋などに入れて密閉し、寄生した成幼虫を全て死滅させた後に処分するなど、適切に処理する。



写真1 トマトキバガ成虫



写真2 トマトキバガ終齢幼虫



写真3 トマトキバガ幼虫による  
トマト葉の食害痕



写真4 トマトキバガ幼虫による  
トマト果実の食害痕

写真1・2・3・4：農林水産省植物防疫所原図 ※写真の無断転載禁止

表 トマトキバガに対する登録農薬（令和6年6月7日現在）

農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法	登録作物		IRAC
					トマト	ミニトマト	
ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	○	○	5
ラディアントSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	○	○	5
ダブルシューターSE	1,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	○	○	5,-
アフーム乳剤	2,000倍	収穫前日まで	5回以内	散布	○	○	6
アグリメック	500~1,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	○	×	6
エスマルクDF	1,000倍	発生初期但し 収穫前日まで	—	散布	○	○	11A
コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	○	○	13
トルネードエースDF	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	○	×	22A
アクセルフロアブル	1,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	○	○	22B
フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	○	○	28
ヨーバルフロアブル	2,500倍	収穫前日まで	3回以内	散布	○	○	28
ベネビアOD	2,000倍	収穫前日まで	定植後3回以内	散布	○	○	28
ベリマークSC	400株当たり25mL (希釈水量10~20L/400株)	育苗期後半 ~定植当日	合計1回以内	灌注	○	○	28
プリロツソ粒剤 プリロツソ粒剤オメガ	2g/株	育苗期後半 ~定植時		株元散布	○	○	28
グレーシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	○	○	30
プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	○	○	UN

防除薬剤については使用前に登録内容を農林水産省農薬登録情報提供システム  
(<https://pesticide.maff.go.jp/>) で確認してください。

令和6年度病害虫発生予察特殊報第2号（令和6年11月1日）

- 病害虫名 サツマイモ炭腐病（すみぐされびょう）
- 病原名 *Macrophomina phaseolina* (Tassi) Goidánich
- 発生作物名 サツマイモ（べにはるか）

#### 4 発生確認の経過及び国内の発生状況

- (1) 令和6年9月17日に県西部のサツマイモにおいて、塊根の一部が陥没、軟化、腐敗する症状が散見された(写真1)。イモの陥没、軟化した箇所の切断面は、表皮下から灰色～灰黒色に変色して腐敗症状を呈していた(写真2)。また、表皮下の組織中に黒色の微小菌核が観察された(写真3)。鳥取県園芸試験場で罹病塊根から菌を分離し、分離菌の形態的特徴の観察及びPCR法による遺伝子診断(Bubuら、2007)により、サツマイモ炭腐病であると同定した。
- (2) 本病は本県中部の施設栽培のウリ科作物にて発生が確認されているが、サツマイモでの発生は今回が初めてである。
- (3) 本病の国内におけるサツマイモでの発生は、令和4年に神奈川県、岐阜県で発生が確認されている。

#### 5 本病の病徴及び生態

- (1) 主に貯蔵中のイモに発生する。
- (2) 初期には外部異常はないが、罹病したイモは次第に軟化する。内部は灰黒色となり、組織内におびただしい黒色の微小菌核が見られる(写真3)。のちに皮部は暗褐色ないし黒色となって乾固し、内部は木炭状になる。
- (3) 本病の生育適温は35℃付近である。本病は根茎に形成された微小菌核によって土壌伝染する。微小菌核は、土壌中で数年間生存し、連作によって菌密度は高まる。
- (4) 本菌の宿主植物は極めて広く、ウリ科、マメ科、キク科、ヒルガオ科をはじめとした多種の植物に感染報告がある。

#### 6 防除対策

- (1) 令和6年10月末現在、本病に登録のある農薬はない。そのため、以下の耕種的防除を実施する
- (2) 連作を避ける。
- (3) 発生ほ場では、罹病残渣を抜き取り、ほ場外に持ち出して廃棄するなど適切に処分する。
- (4) 発生ほ場で使用した農機具や資材は、付着した土壌による感染の拡がりを防ぐため、使用すごとに消毒や洗浄を十分に行う。



写真1 一部が変色、軟化した塊根

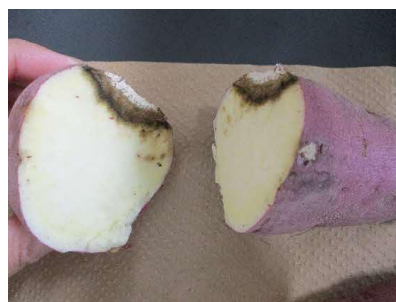


写真2 軟化部分の切断面



写真3 表皮下の微小菌核

## エ. 発生予報

号	発表日	普通作	果 樹	野 菜
1	令和6年 4月10日	イネ（苗立枯病、ば か苗病、イネシン ガレセンチュウ） オオムギ（赤かび病、 うどんこ病、網斑 病）	ナシ（黒斑病、黒星病、 赤星病、ハダニ類、 カメムシ類）	ラッキョウ（灰色かび病） ネギ（べと病、さび病） スイカ・メロン（アブラムシ 類）
2	令和6年 4月24日	イネ（苗立枯病、ば か苗病、イネミズ ゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 赤星病、ハダニ類、ア ブラムシ類、カメムシ 類） カキ（灰色かび病、樹幹 害虫（ヒメコスカシ バ、フタモンマダラメ イガ）） ブドウ（灰色かび病、 べと病）	ネギ（べと病、さび病、ネギハ モグリバエ・ネギアザミウ マ） スイカ（菌核病、つる枯病） スイカ・メロン（アブラムシ類、 ハダニ類）
3	令和6年 5月15日	イネ（葉いもち、縞 葉枯病（ヒメトビ ウンカ）、イネミ ズゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 ハダニ類、ニセナシサ ビダニ、アブラムシ 類） 果樹共通（カメムシ類）	スイカ（菌核病、つる枯病、 うどんこ病、アブラムシ類、 ハダニ類） ネギ（べと病） ブロッコリー（コナガ）
4	令和6年 6月 5日	イネ（葉いもち、縞 葉枯病（ヒメトビ ウンカ）、イネミ ズゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 輪紋病、アブラムシ 類、ニセナシサビダ ニ、シンクイムシ類） カキ（落葉病、炭疽病、 カキノヘタムシガ） ブドウ（べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類（チャノコ カクモンハマキ）	スイカ（つる枯病・炭疽病、 うどんこ病、アブラムシ類、 ハダニ類） イチゴ（育苗期）（うどんこ 病、炭疽病、アブラムシ類、 ハダニ類） ネギ（べと病、さび病、黒斑病、 ネギアザミウマ、ネギハモグ リバエ）
5	令和6年 7月 3日	イネ（葉いもち、穂 いもち、紋枯病、 縞葉枯病（ヒメト ビウンカ）、セジ ロウンカ、斑点米 カメムシ類、フタ オビコヤガ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 輪紋病、クワコナカイ ガラムシ、ハダニ類、 シンクイムシ類） カキ（炭疽病、樹幹害虫 （ヒメコスカシバ・ フタモンマダラメイ ガ）） ブドウ（べと病） 果樹共通（カメムシ類）	ネギ（さび病、黒斑病、白絹病、 軟腐病、ネギハモグリバエ、 ネギアザミウマ） スイカ（つる枯病・炭疽病、うど んこ病、褐色腐敗病・疫病、 アブラムシ類、ハダニ類） イチゴ（うどんこ病、炭疽病、 アブラムシ類、ハダニ類） ナガイモ（炭疽病）

号	発表日	普通作	果 樹	野 菜
6	令和6年 8月 7日	イネ (穂いもち、紋 枯病、セジロウン カ、トビイロウン カ、斑点米カメム シ類、コブノメイ ガ、フタオビコヤ ガ) ダイズ (紫斑病、 ハスモンヨトウ、 カメムシ類)	ナシ(黒斑病、ハダニ類、 シンクイムシ類) カキ (うどんこ病、炭疽 病、カキノヘタムシガ) 果樹共通 (カメムシ類)	ネギ(軟腐病、白絹病、黒斑病、 ネギハモグリバエ、ネギアザ ミウマ、シロイチモジヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類、シロイチモジ ヨトウ) キャベツ・ブロッコリー (ハス モンヨトウ)
7	令和6年 8月21日	イネ (穂いもち、紋 枯病、トビイロウン カ、斑点米カメム シ類) ダイズ (紫斑病、ハ スモンヨトウ、カ メムシ類)	ナシ (シンクイムシ類、 ハダニ類) カキ (炭疽病) 果樹共通 (カメムシ類)	キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ)
8	令和6年 9月 4日	ダイズ (ハスモンヨト ウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 クワコナカイガラムシ、 シンクイムシ類、ハダ ニ類) カキ (炭疽病) ブドウ (べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類) 果樹共通 (ナシ・カキ・ ブドウ・リンゴ) (カメムシ類)	ネギ (黒斑病、ネギハモグリバ エ、ネギアザミウマ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類) キャベツ・ブロッコリー (べと 病、黒腐病、軟腐病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、 ヨトウムシ) キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ)
9	令和6年 10月 2日		ナシ (黒星病) カキ (炭疽病) 果樹共通 (カメムシ類)	キャベツ・ブロッコリー (軟腐 病、黒腐病、べと病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、 ハスモンヨトウ) ネギ (黒斑病、さび病、べと病、 ネギアザミウマ、ネギハモグリ バエ、シロイチモジヨトウ)
10	令和6年 12月 4日			ラッキョウ (白色疫病、ネギハ モグリバエ) イチゴ (うどんこ病、灰色かび 病)
11	令和7年 2月 5日			ラッキョウ (白色疫病)
12	令和7年 3月 5日	イネ (ばか苗病、 イネシンガレセ ンチュウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、ハ ダニ類、カメムシ類)	

オ. 指導情報

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[イネ]	いもち病、もみ枯細菌病	令和6年4月24日	育苗期の防除対策
	いもち病	令和6年6月27日	感染好適条件の出現状況及び防除対策
		令和6年7月10日	
		令和6年7月23日	
		令和6年8月1日	
		令和6年8月13日	
イネカメムシ	令和7年5月24日	発生状況及び防除対策	
[コムギ]	黄斑病	令和6年3月17日	発生状況及び防除対策
[ナシ]	黒斑病	令和6年6月26日	発病状況及び防除対策
		令和6年8月8日	
		令和6年9月30日	
		令和7年2月27日	
	黒斑病孢子飛散情報	令和6年4月1日	半旬毎の黒斑病菌孢子飛散状況
		令和6年4月8日	
		令和6年4月11日	
		令和6年4月16日	
		令和6年4月23日	
		令和6年4月27日	
		令和6年5月6日	
		令和6年5月13日	
		令和6年5月16日	
		令和6年5月22日	
		令和6年5月29日	
		令和6年6月3日	
		令和7年3月26日	
	黒星病	令和6年4月4日	発生状況及び防除対策
		令和6年5月27日	
		令和6年6月26日	
		令和7年2月27日	腋花芽における病芽率
	黒星病飛散情報	令和6年4月1日	
		令和6年4月8日	
		令和6年4月11日	
		令和6年4月16日	
		令和6年4月23日	
		令和6年4月27日	
令和6年5月6日			
令和6年5月13日			
令和6年5月16日			

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[ナシ]	黒星病飛散情報	令和6年5月22日	半旬毎の黒星病菌子のう胞子、 分生子飛散状況
		令和6年5月29日	
		令和6年6月3日	
		令和7年3月21日	
		令和7年3月26日	
	ニセナシサビダニ	令和6年5月22日	発生状況及び防除対策
		令和6年5月30日	
		令和6年6月6日	
		令和6年6月18日	
		令和6年7月3日	
	クワコナカイガラムシ	令和6年4月30日	発生状況及び防除対策
	アブラムシ類	令和6年5月30日	発生状況
	ハダニ類	令和6年7月28日	発生状況
令和7年2月20日		越冬状況	
カメムシ類	令和6年7月31日	巡回調査結果	
[カキ]	フジコナカイガラムシ	令和6年6月6日	発生状況及び防除対策
[果樹共通]	カメムシ類	令和6年5月14日	予察灯及びフェロモントラップ の誘殺状況
		令和6年5月22日	
		令和6年6月3日	
		令和6年6月12日	
		令和6年6月25日	
		令和6年7月9日	
		令和6年7月18日	
		令和6年7月25日	
		令和6年8月7日	
		令和6年8月15日	
		令和6年8月22日	
		令和6年9月4日	
		令和6年9月12日	
		令和6年9月25日	
		令和6年10月4日	
		令和6年10月13日	
	令和6年10月25日		
令和6年11月7日			
クサギカメムシ	令和6年12月1日	越冬状況	
[ナス科野菜]	トマトキバガ	令和6年6月18日	発生状況及び防除対策
[アブラナ科野菜、ストック]	ハイマダラノメイガ	令和6年8月27日	発生状況及び防除対策
[ダイズ・野菜]	ハスモンヨトウ	令和6年9月5日	発生状況及び防除対策
[ネギ・ラッキョウ]	ネギハモグリバエ	令和6年11月5日	発生状況及び防除対策

カ. ホームページのアクセス件数、更新回数

令和7年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセス件数	685	1,051	973	1,024	852	844	682	442	329	450	670	534	8,536
更新回数	8	12	13	6	8	12	8	2	3	1	3	5	81

(3) 情報の発送先とその伝達手段 (令和6年度)

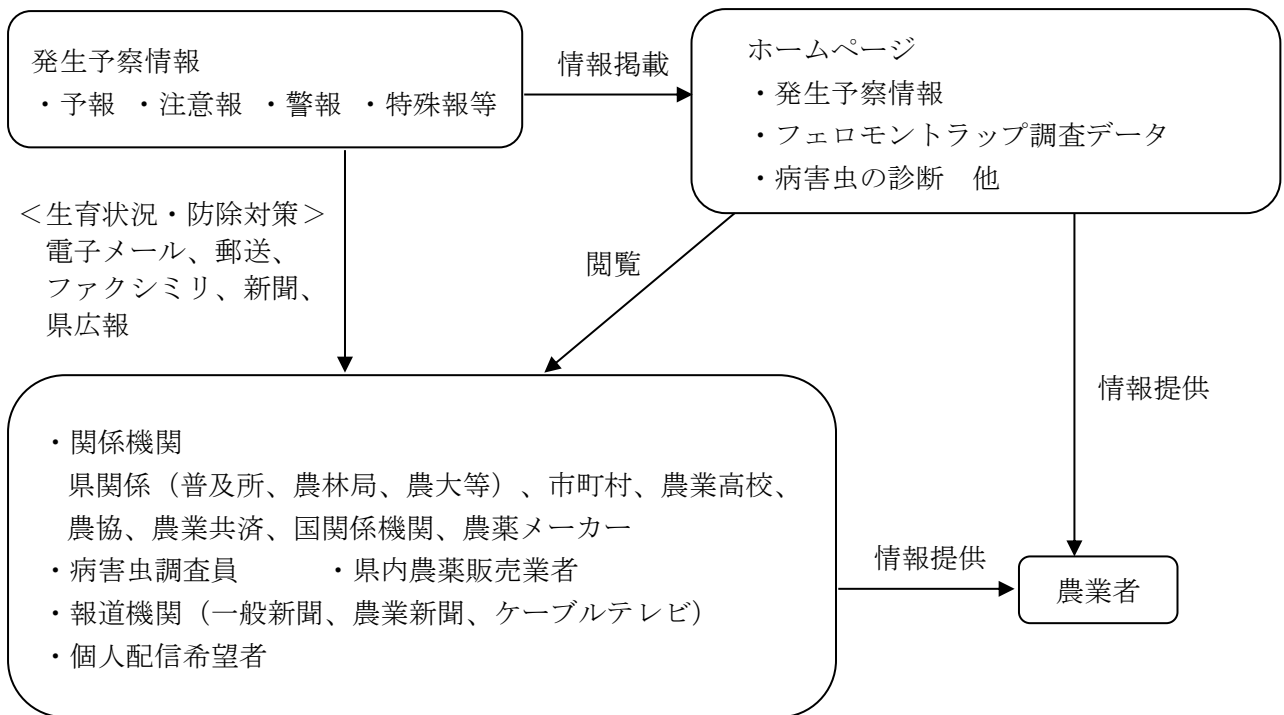
発 送 先	発送数	伝 達 手 段		
		A	B	C
県庁関係課 (経営支援課、生産振興課等)	5	○		
総合事務所農林局 農(林)業振興課	5	○		
農業大学校	1	○		
農業高等学校	4	○		
市町村関係課	19	○		
国関係機関	3	○		○
農業協同組合	3	○		
県農業協同組合連合会 (中央会、全農県本部)	2	○		
県農業共済組合	1	○		
県産米改良協会	1	○		
病虫害調査員	17		○	
個別配信				
農業改良普及所 (所長、次長)	7	○		
経営支援課 (専門技術員等)	7	○		
農業試験場 (関係研究員)	4	○		
園芸試験場 (関係研究員)	6	○		
農業協同組合等 (各課、各営農センター等)	41	○		
鳥取大学	2	○		
農薬製造販売会社	16	○		
ケーブルテレビ放送会社	3	○		
新聞社	1	○		
情報配信希望者 (農業者他)	28	○	○	
合 計	177			

注) (1) 発表した情報：病虫害発生予報、注意報、警報、特殊報、指導情報  
(上記以外の指導情報については、該当農業改良普及所に作目ごとに随時提供)

(2) 伝達手段

A：電子メール、B：郵送、C：植物防疫総合情報ネットワーク (JPP-NET)

#### (4) 情報発信の流れ図



・ 個人配信希望者にはホームページ上から申し込んでもらい、登録後は希望アドレスに直接メールを配信する。

## 6 普通作物病害虫の発生予察調査結果

### (1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
				甚	多	中	少	計	
イネ	本年 12,000	葉いもち	本年	3	12	92	1373	1480	12.3
			平年	7	116	460	1934	2517	19.3
	平年 13,020	穂いもち	本年	1	3	80	480	564	4.7
			平年	4	22	170	1060	1256	9.6
	前年 12,400	紋枯病	本年	7	80	240	5280	5607	46.7
			平年	11	63	242	4848	5164	39.7
		白葉枯病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.7	0.7	0.0
		ばか苗病	本年	0	0	0	20	20	0.2
			平年	0	0	0	42	42	0.3
		心枯線虫病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		もみ枯細菌病	本年	0	0	1	60	61	0.5
			平年	0	0	0	236	236	1.8
		ごま葉枯病	本年	0	20	460	960	1440	12.0
			平年	2	73	247	830	1152	8.8
		縞葉枯病	本年	0	0	0	1356	1356	11.3
			平年	0	0	42	1952	1994	15.3
		ニカメイガ 第1世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	63	63	0.5
		ニカメイガ 第2世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	44	44	0.3
		セジロウンカ	本年	0	0	0	3840	3840	32.0
			平年	0	0	339	7118	7457	57.3
		トビイロウンカ	本年	0	0	1	9	10	0.1
			平年	0	7	81	1500	1588	12.2
		ヒメトビウンカ	本年	0	0	240	6084	6324	52.7
			平年	0	9	676	8627	9312	71.5
		ツマグロヨコバイ	本年	0	0	0	3756	3756	31.3
			平年	0	77	622	6008	6707	51.5
	イチモンジセセリ	本年	0	0	0	0	0	0	
		平年	0	0	0	98	98	0.8	
	コブノメイガ	本年	0	0	0	636	636	5.3	
		平年	6	51	155	1896	2108	16.2	
	イネミズゾウムシ	本年	0	0	400	4720	5120	42.7	
		平年	0	0	252	3750	4002	30.7	
	斑点米カメムシ類	本年	0	308	2154	6923	9385	78.2	
		平年	130	630	2351	7076	10187	78.2	
	フタオビコヤガ	本年	0	0	0	396	396	3.3	
		平年	0	0	6	1573	1579	12.1	

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
				甚	多	中	少	計	
ムギ	本年	さび病類 (小さび病)	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	平年	うどんこ病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	前年	赤かび病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.1	0.1	0.1
		斑葉病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		黒穂病類	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		雲形病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		縞萎縮病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		黒節病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	1	2	3	3.1
	網斑病	本年	0	27	27	38	92	100	
		平年	0	11	21	60	92	94.8	
ダイズ	本年	紫斑病	本年	0	0	22	280	302	45.2
			平年	0	0	4	169	173	25.0
	平年	モザイク病 (褐斑粒)	本年	0	0	0	21	21	3.1
			平年	0	0	2	90	92	13.3
	前年	ハスモンヨトウ	本年	45	0	67	556	668	100.0
			平年	19	18	93	416	546	79.0
		カメムシ類	本年	0	65	129	388	582	87.1
			平年	12	54	198	368	632	91.5

\* 平年の面積率 = (発生程度別面積の平年値の計) / (作付面積の平年値) × 100

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. イネ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
苗立枯病 (平年並)	一部で発生が認められた。	育苗環境が不適切であった。
葉いもち (やや少ない)	本田における葉いもちの発生は、6月下旬頃から山間地等の常発地及び一部の平坦地において確認された。極一部では苗いもち発病苗の移植により、多発生ほ場が認められたが、梅雨明け(7月21日頃)以降は病勢が停滞した。 7月下旬の発生ほ場率は、平年よりやや低かった(本年:5.4%、平年:14.5%)。	本病弱抵抗性品種の作付割合が90%以上と高い。 全体としては苗いもちの発生が少なかったが、一部で発病苗の本田への持ち込みがみられた。 梅雨明け(7月21日頃)は平年並で、その後は高温で経過したため、感染に不適であった。
穂いもち (やや少ない)	山間地等の一部の常発地において、葉いもち発生ほ場を中心に穂いもちの発生がみられた。9月上旬の発生ほ場率は平年よりやや低かった(本年:1.4%、平年:7.2%)。	出穂期は平年よりやや早かった。 7月第5半旬以降が高温で経過したため、感染に不適であった。一部の葉いもち発生ほ場において、発病が確認された。
紋枯病 (平年並)	9月上旬の発生ほ場率は、平年並であった(本年:44.7%、平年:41.4%)。 近年、発生地域間差、ほ場間差が大きく、甚〜多発生ほ場も散見された。	梅雨明け(7月16日頃)から8月第4半旬は降雨日が少なかったため、発病に不適であった。8月第5半旬以降は高温多雨で経過したため、後期の病勢進展が助長された。
白葉枯病 (平年並)	発生は認められなかった。	7月以降のほ場の浸冠水がなかった。
ばか苗病 (平年並)	一部で発生が認められた。 一部の糯米、酒米等で発生が散見された。	JAから供給される温湯消毒種子の使用が大半であるが、酒米、糯米等では消毒時間が短いため、効果が不十分である。 一部の大規模農家等の種子消毒が不適切であった。
心枯線虫病 (平年並)	発生は認められなかった。	前年の本種による葉先枯症状は認められなかったため、汚染率は低いと推察される。
もみ枯細菌病 (平年並)	中生品種を中心に発生が認められ、発生ほ場率は平年並であった(本年:2.0%、平年:1.4%)。	本病が発生しやすい中生品種の栽培面積が約3割を占めている。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
ごま葉枯病 (多 い)	中生品種を中心に発生が認められ、極一部の秋落ち症状が発生しやすい地域では、甚～多発生ほ場も散見された。発生ほ場率は平年より高かった(本年:23.3%、平年:11.1%)。近年、発生が増加傾向にある。	7月以降の高温が秋落ち症状の原因となったと考えられる。 秋落ち症状が発生しやすい中生品種の栽培面積が約3割を占めている。 近年、アシカキが伝染源となっているほ場も散見された。
ニカメイガ 第1世代 (平年並)	発生は認められなかった。	昨年の第2世代幼虫の発生が認められなかった。
ニカメイガ 第2世代 (平年並)	発生は認められなかった。	第1世代幼虫の発生が認められなかった。
セジロウンカ (平年並)	予察灯への初誘殺は6月24日(平年:7月3日)で平年より早かった。予察灯への誘殺数は平年よりやや少なかった。7月下旬の発生ほ場率は56.7%(平年:48.1%)で、平年並であった。	本田への飛来量は平年並であったと考えられる。
トビイロウンカ (やや少ない)	巡回定点調査では、発生は認められなかった。また、坪枯れも認められなかった。	本田への飛来はほとんど認められなかったと考えられる。
ヒメトビウンカ (やや少ない)	7月下旬の発生ほ場率は45.4%(平年:68.7%)で、平年よりやや少ない発生であった。	本種の発生量が多かった地域を中心に、ウンカ類に対して高い効果を示す育苗箱施用剤が使用されたため、発生が抑えられていると考えられる。
ツマグロヨコバイ (平年並)	7月下旬の発生ほ場率は39.3%(平年:45.5%)で平年並、9月上旬の発生ほ場率は35.3%(平年:47.5%)で平年並の発生となった。	近年、発生量は少なく推移している。
コブノメイガ (平年並)	9月上旬の発生ほ場率は6.0%(平年:16.6%)で、平年並の発生であった。	本田への飛来量は平年並であったと考えられる。
イネミズゾウムシ (やや多い)	水田への成虫侵入盛期は平年よりやや早かった。6月中旬の発生ほ場率は40.0%(平年:34.5%)で、やや多い発生であったが、大半のほ場が少発生であった。	県内全域で効果の高い育苗箱施用剤が普及している。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
斑点米カメムシ類 (やや少ない)	<p>○斑点米カメムシ類 6～8月の予察灯への誘殺数は平年並であった。</p> <p>7月下旬～8月初めに穂揃い期を迎えた早植え、極早生品種では、発生ほ場率は82.0%（平年：88.2%）で平年並、要防除水準を超えているほ場率は60.7%（平年：59.0%）で平年並であった。すくい取り虫数は14.3頭（捕虫網25往復50回振り虫数、平年：20.1頭）でやや少なかった。</p> <p>8月中旬の巡回調査定点における発生ほ場率は53.7%（平年：78.4%）で平年より低く、すくい取り虫数は5.1頭（捕虫網25往復50回振り虫数、平年：8.4頭）でやや少なかった。</p> <p>○イネカメムシ 県西部の平坦部を中心に、7月上旬からイネカメムシの出穂前の水田への飛来が多数確認された。発生地域は昨年より拡大し、県内全域で本種の発生が確認された。発生量は昨年と同様に西部の中間～平坦地で多く、斑点米被害が増加した。一方で、不稔による被害は昨年度よりも少なかった。</p>	<p>6月及び7月の気象は本種の発生にやや好適であったため、8月上旬時点での発生は平年並であった。</p> <p>8月の気象は発生に好適な条件となったが、注意報等による注意喚起により、全県的に防除が実施されたことから、発生は平年よりやや少なくなったと考えられる。</p>
フタオビコヤガ (やや少ない)	7月下旬の発生ほ場率は1.0%（平年：7.9%）で、平年よりやや少ない発生であった。	本種の発生が多かった地域では、効果の高い育苗箱施用剤が導入されたため、近年発生ほ場は減少している。
イチモンジセセリ (平年並)	ごく一部のほ場で発生が認められた。	本種の発生が多い地域では、効果の高い育苗箱施用剤が使用されているため、発生ほ場は減少している。

## イ. ムギ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
うどんこ病 (平年並)	発生はほとんど認められなかった。	本病抵抗性品種が導入されている。
赤かび病 (多 い)	二条大麦で、発生ほ場が確認されたものの、ほとんどが少発生であった。極一部で集荷施設の出荷基準を超える発生が認められた。	出穂期が平年より遅かった。防除時期となる4月上旬～中旬に曇雨天の日が多かったこと、防除薬剤に展着剤を加用しなかった事例があったこと等から、発生につながったと考えられる。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
大麦縮萎縮病 (平年並)	発生は認められなかった。	本病抵抗性品種が作付されている。
斑葉病 (平年並)	発生はほとんど認められなかった。	採種ほ場では、発生がほとんど認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。
網斑病 (平年並)	二条オオムギでは、発生ほ場率が100.0%と高く、発生程度は重かった。	

#### ウ. ダイズ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
紫斑病 (やや多い)	発生ほ場率は45.2% (平年:25.4%)で、やや多い発生であった。	本病弱抵抗性品種の作付が増えている。
モザイク病 (やや少ない)	発生ほ場率は3.2% (平年:13.4%)で、やや少ない発生であった。	種子の保菌率が低率であったと推察される。また、アブラムシ類の防除が徹底された。
ハスモンヨトウ (多い)	8～9月上旬のフェロモントラップ誘殺数はやや多いであった。9月中旬の発生ほ場率は100% (平年:78.7%)で、最終的には平年より多い発生となった。	9月の気温は高く、降水量は少なかったことから、本種の発生に好適な条件で経過した。
カメムシ類 (平年並)	一部で多～甚発生ほ場が確認され、発生ほ場率は87.1% (平年:91.4%)で、平年並の発生となった。	9月の気象はカメムシ類の活動に好適な条件となったが、基幹防除が行われた。

(3) 調査の概要と結果

ア. イネ

(ア) 調査地点

a. 県予察ほ場 鳥取市橋本

b. 一般ほ場

地区名	市町村名	発生程度別調査定点		ウンカ類追加調査地点
		巡回調査地点	程度別追加調査地点	
東部	鳥取市	嶋	賀露、朝月、河内	賀露
	〃 国府町	玉鉾		
	〃 福部町	栗谷		細川
	〃 気高町	重高	下原	下坂本
	〃 鹿野町		小別所	
	〃 青谷町	奥崎		
	〃 河原町	福和田		
	〃 用瀬町	鷹狩		
	〃 佐治町		古市	
	岩美町	蒲生	浦富	浦富
	八頭町 (旧郡家町)	池田		
〃 (旧船岡町)		橋本		
〃 (旧八東町)	徳丸			
若桜町	須澄			
智頭町	三田			
中部	倉吉市	小鴨	下米積、服部	
	〃 関金町	今西		
	湯梨浜町 (旧羽合町)	長瀬		石脇
	〃 (旧泊村)			
	〃 (旧東郷町)		北福	
	三朝町		牧	
	北条町		米里	曲
	大栄町	瀬戸		穂波
琴浦町 (旧東伯町)	美好		笠見	
〃 (旧赤碕町)	出上			
西部	米子市	東八幡	奈喜良、車尾	車尾、東八幡
	〃 淀江町	福岡		
	境港市			
	南部町 (旧西伯町)	原	下鴨部	
	〃 (旧会见町)	天万		
	伯耆町 (旧岸本町)	吉長		
	〃 (旧溝口町)	二部、宇代		
	日吉津村			富吉
	大山町	佐摩	平	
	〃 (旧名和町)		旧奈和	
	〃 (旧中山町)		羽田井	下甲
江府町	洲河崎			
日野町	黒坂			
日南町	矢戸、下石見	下阿毘縁		
調査地点数・ほ場数	巡回調査 30地点×3ほ場 程度別調査 30地点×5ほ場	程度別調査 20地点×5ほ場 (気象条件、発生状況により実施の有無を判断)	12地点×5ほ場 (予察灯への誘殺状況により実施の有無を判断)	
調査時期	6月上旬～中旬、 6月下旬 7月上旬～中旬 7月下旬～8月上旬、8月中旬 7月下旬、9月上旬	7月下旬、9月上旬	8月下旬～9月上旬	
調査項目	初期害虫、いもち病、カメムシ類ほか	全般	ウンカ類	

c. 予察灯

鳥取市橋本、岩美町牧谷、琴浦町光好、日吉津村富吉

(イ) 調査観察結果

a. イネの生育状況

第1表 県予察ほ場におけるイネの生育状況

品種	生育遅延状況 (月. 日)		
	田植期 (平年比)	出穂期 (平年比)	収穫期
コシヒカリ (5.22植)	5.22 (-1)	8.2 (-2)	9.18
日本晴 (5.22植)	5.22 -	8.13 -	10.11

b. 病害の発生状況

(a) 県予察ほ場

第2表 県予察ほ場における葉いもち、穂いもちの発病状況

(無防除区)

品種	調査 月日	葉いもち						穂いもち		
		発病株率 (%)			病斑面積率 (%)			発病穂率 (%)		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.22植)	6.20	0	0	±0	0	0	±0			
	7.1	0	0	±0	0	0	±0			
	11	0	0.8	-0.8	0.01	0.00	+0.01			
	22	0	17.4	-17.4	0.38	0.04	+0.34			
	8.1	0	17.6	-17.6	0.38	0.04	+0.34			
	9.10							0	0.28	-0.28
日本晴 (5.22植)	6.20	0	-	-	0	-	-			
	7.1	0	-	-	0	-	-			
	11	0	-	-	0	-	-			
	22	2.0	-	-	0.00	-	-			
	8.1	0	-	-	0	-	-			
	9	0	-	-	0	-	-			
	9.26							0	-	-

注1) フェルテラチエス箱粒剤(50g/箱)。

第3表 県予察ほ場における紋枯病の発生状況

(無防除区)

品種	調査月日	発病株率 (%)			病斑高率 (%)			被害度			発病度		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.22植)	6.20				0	0	±0						
	7.1				0	0	±0						
	11				0	3.7	-3.7						
	22				21.2	18.8	+2.4						
	8.1				25.0	24.0	+1.0						
	9				31.4	30.1	+1.3						
	21				42.6	38.4	+4.2						
	9.2				54.2	48.3	+5.9						
	10	100.0	66.5	+33.5	65.7	54.5	+11.2	74.0	37.8	+36.2	70.3	39.2	+31.1
日本晴 (5.22植)	6.20				0	-	-						
	7.1				0	-	-						
	11				0	-	-						
	22				20.6	-	-						
	8.1				26.0	-	-						
	9				26.3	-	-						
	21				28.6	-	-						
	9.2				31.1	-	-						
	10				35.2	-	-						
20				38.2	-	-							
9.26	86.7	-	-	43.0	-	-	32.3	-	-	32.5	-	-	

注1) フェルテラチエス箱粒剤(50g/箱)。

第4表 県予察ほ場における内穎褐変病(収穫後調査)、もみ枯細菌病(本田調査)の発生状況

品種	内穎褐変病 発病率 (%)				もみ枯細菌病 発病率 (%)
	濃い	薄い	しいな	計	
コシヒカリ (5.22植)	5.3	4.5	3.8	13.6	1.8
日本晴 (5.22植)	6.0	4.7	2.9	13.6	0.3

注) 内穎褐変病発病率は収穫後に無防除区を調査  
(調査粒数は、コシヒカリ:約15,000粒、日本晴:約13,000粒)。

(b) 一般ほ場

第5表 一般ほ場におけるいもち病、ばか苗病、ごま葉枯病の発病状況

地区	月・ 半旬	いもち病							ばか苗病							ごま葉枯病												
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)						
		甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計	
東 部	7・6	60	0	0	0	5	5	8.3	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	0	1	1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	60	0	5	13	17	35	58.3						
中 部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	30	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	30	0	1	8	6	15	50.0						
西 部	7・6	60	0	0	0	3	3	5.0	60	0	0	0	1	1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	0	1	1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	60	0	3	4	13	20	33.3						
全 県	7・6	150	0	0	0	8	8	5.3	150	0	0	0	1	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	150	0	0	0	2	2	1.3	-	-	-	-	-	-	-	150	0	9	25	36	70	46.7						

注) いもち病は、7月は葉いもち、8月は穂いもち(早生品種主体)の調査。発生ほ場率は、地区毎の単純平均。

第6表 一般ほ場における紋枯病、縞葉枯病、白葉枯病の発病状況

地区	月・半旬	紋枯病							縞葉枯病							白葉枯病								
		調査ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	調査ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	調査ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)		
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			
東部	7・6	60	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	1	1	1.7	60	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	6	27	33	55.0	60	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	0
中部	7・6	30	-	-	-	-	-	-	30	0	0	0	1	1	3.3	30	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	30	0	0	0	12	12	40.0	30	-	-	-	-	-	-	30	0	0	0	0	0	0	0	0
西部	7・6	60	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	2	2	3.3	60	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	2	19	21	35.0	60	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	0
全県	7・6	150	-	-	-	-	-	-	150	0	0	0	4	4	2.7	150	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	150	0	0	8	58	66	44.0	150	-	-	-	-	-	-	150	0	0	0	0	0	0	0	0

第7表 一般ほ場におけるもみ枯細菌病の発病状況

地区	月・半旬	もみ枯細菌病						
		調査ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)
			甚	多	中	少	計	
東部	8・6	60	0	0	0	0	0	0
中部	8・6	30	0	0	0	0	0	0
西部	8・6	60	0	0	0	0	0	0
全県	8・6	150	0	0	0	0	0	0

c. 害虫の発生状況

(a) 県予察ほ場

第8表 県予察ほ場におけるニカメイガフェロモントラップの半旬別誘殺数

世代	月	半旬					
		1	2	3	4	5	6
越冬世代成虫	4月	0	0	0	0	0	0
	5月	0	0	0	0	0	0
	6月	0	0	0	0	0	0
	7月	0	0	0	0	0	0
第1世代成虫	8月	0	0	0	0	0	0

第9表 県予察ほ場におけるセジロウンカ成幼虫の発消長(25株払い落とし虫数)

調査日	コシヒカリ(5.24植)						きぬむすめ(5.24植)					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
7.11	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
7.19	0.0	0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
8.1	0.0	0	0.0	0.0	5.9	5.9	0	0	0.5	0.5	6.4	6.9
8.9	0	0	0	0.0	4.4	4.4	0	1	1	0.0	15.2	15.2
8.22	0	0	0	1.0	8.8	9.8	0	0	0	1.0	1.0	2.0

第10表 県予察ほ場におけるトビイロウンカ成幼虫の発生消長（25株払い落とし虫数）

調査月日	コシヒカリ（5.24植）						きぬむすめ（5.24植）					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第11表 県予察ほ場におけるヒメトビウンカ成幼虫の発生消長（25株払い落とし虫数）

調査月日	コシヒカリ（5.24植）						きぬむすめ（5.24植）					
	防除区			無防除区			防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
6.30	0	0	0	0	3.9	3.9	0	0	0	0	10.3	10.3
7.11	0	0	0	0	3.9	3.9	0	0	0	0	18.6	18.6
7.19	0	0	0	0	1.5	1.5	0	0	0	0	10.8	10.8
8.1	0	0	0	0	12.7	13.2	0	0	0	0	25.0	25.0
8.9	0	0	0	0	14.2	14.2	0	1	1	0	35.8	35.8
8.22	0	1.0	1.0	1.5	10.8	12.3	0	1	2	2.5	8.8	11.3

(b) 一般ほ場

第12表 一般ほ場におけるイネミズゾウムシの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	イネミズゾウムシ					発生ほ場率(%)
			発生程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	
東部	6・3	60	0	0	0	18	18	30.0
中部		30	0	0	1	7	8	26.7
西部		60	0	0	4	34	38	63.3
全県		150	0	0	5	59	64	42.7

第13表 一般ほ場におけるセジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	セジロウンカ					トビイロウンカ					ヒメトビウンカ							
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	16	16	26.7	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	20	20	33.3
	8・6	85	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	9	9	30.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	73.3
	8・6	35	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
西部	7・6	60	0	0	0	16	16	26.7	0	0	0	0	0	0.0	0	0	3	34	37	61.7
	8・6	87	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
全県	7・6	150	0	0	0	41	41	27.3	0	0	0	0	0	0.0	0	0	3	76	79	52.7
	8・6	207	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-

第14表 一般ほ場におけるイネシガラセンチュウ、フタオビコヤガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	イネシガラセンチュウ					フタオビコヤガ						
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第15表 一般ほ場におけるニカメイガ、コブノメイガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ニカメイガ					コブノメイガ						
			発病程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発病程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3.3
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	10.0
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	5.0
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	5.3

第16表 一般ほ場におけるツマグロヨコバイの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ツマグロヨコバイ					
			発病程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
			甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	10	10	16.7
	8・6	60	0	0	0	17	17	28.3
中部	7・6	30	0	0	2	10	12	40.0
	8・6	30	0	0	0	5	5	16.7
西部	7・6	60	0	0	0	22	22	36.7
	8・6	60	0	0	0	25	25	41.7
全県	7・6	150	0	0	2	42	44	29.3
	8・6	150	0	0	0	47	47	31.3

第17表 フェロモントラップにおけるニカメイガ雄成虫の半旬別誘殺数

世代	月・半旬	琴浦町槻下	
		本年	平年
越冬世代	5・5	0	0.0
	5・6	0	0.0
	6・1	0	0.2
	6・2	0	0.3
	6・3	0	0.1
	6・4	0	0.5
	6・5	0	0.3
	6・6	0	0.2
	合計	0	1.6
第1世代	8・1	0	0.2
	8・2	0	0.1
	8・3	0	0.0
	8・4	0	0.0
	8・5	1	0.5
	8・6	0	1.3
		合計	1

第18表 一般ほ場における斑点米カメムシ類の発生状況（7月18日～8月2日調査）

地区名	市町村名	地点名	斑点米カメムシ類の種類							合計	
			アカシ <sup>°</sup> カスミカメ	ホソミト <sup>°</sup> カスミカメ類	ホソハリ カメムシ	トゲ <sup>°</sup> シラホシ カメムシ	クモハリ カメムシ	シラホシカメムシ	ムギ <sup>°</sup> カスミカメ		イネカメムシ
東部	鳥取市	嶋	0	0	3.3	1.3	0.7	0	0	0	5.3
	〃 国府町	玉鉾	5.0	0	0.3	0	3.0	0	0	0	8.3
	〃 福部町	粟谷	2.0	0	0	0.5	0	0	0	0	2.5
	〃 気高町	重高	0.3	0	0.3	0	3.7	0	0	0	4.3
	〃 気高町	殿	15.5	0	1.0	0	4.5	0	0	0	21.0
	〃 河原町	福和田	22.4	0	0.7	0	0.3	0	0	0	23.4
	〃 用瀬町	鷹狩	3.0	0	7.0	1.7	7.7	0	0	0	19.4
	八頭町(旧船岡町)	見槻中	2.3	0	1.3	0.3	6.0	0	0	0	9.9
	〃 (旧八東町)	徳丸	0	0	0	1.0	0	0	0	0	1.0
	若桜町	須澄	1.3	0	1.0	0	1.0	0	0	0	3.3
智頭町	三田	0.8	0	4.0	0.5	3.8	0	0	0	9.1	
中部	倉吉市	小鴨	15.3	0	0	0	5.7	0	0	29.3	50.3
	〃	蔵内	0	0	0	0.7	1.3	0	0	20.0	22.0
	〃 関金町	堀	12.0	0	0.3	0	4.7	0	0	0.7	17.7
	湯梨浜町(旧東郷町)	野方	0	0	3.0	6.5	0	0	0	0	9.5
	〃 (旧東郷町)	白石	0	0	0	0	2.0	0	0	0	2.0
	琴浦町(旧東伯町)	美好	20.7	0	0	0.7	0.7	0	0	0	22.1
	〃 (旧赤碕町)	出上	28.7	0	0	0	1.3	0	0	5.7	35.7
〃 (旧赤碕町)	尾張	37.0	0	0	0	1.0	0	0	0	38.0	
西部	南部町(旧西伯町)	原	0.3	0	0	0	0.8	0	0	6.3	7.4
	〃 (旧会見町)	天万	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0.5
	〃 (旧溝口町)	二部	1.0	0	1.0	0.5	1.0	0	0	0.5	4.0
	日野町	黒坂	0	0	0	1.0	0	0	0	0	1.0
	日南町	矢戸	2.7	0	0	0	0	0	0	0	2.7
東部	虫数 (頭)		4.8	0	1.7	0.5	2.8	0	0	0	9.8
	発生ほ場率 (%)		53.3	0	53.3	23.3	63.3	0	0	0	86.7
中部	虫数 (頭)		14.2	0	0.4	1.0	2.1	0	0	7.0	24.7
	発生ほ場率 (%)		57.9	0	16.7	22.2	72.2	0	0	50.0	94.4
西部	虫数 (頭)		0.9	0	0.2	0.3	0.4	0	0	1.4	3.1
	発生ほ場率 (%)		41.7	0	16.7	16.7	16.7	0	0	16.7	58.3
県平均 R06年	虫数 (頭)		7.1	0	1.0	0.6	2.1	0	0	2.6	13.4
	発生ほ場率 (%)		52.5	0	34.4	21.3	55.7	0	0	18.0	82.0

注) 捕虫網25往復50回振りすくい取りによる平均成虫・幼虫数

第19表 一般ほ場における斑点米カメムシ類の発生状況（8月13～16日調査）

地区名	市町村名	地点名	斑点米カメムシ類の種類								合計
			アカシ <sup>°</sup> カスミカメ	ホソミト <sup>°</sup> リ カスミカメ類	ホソハリ カメムシ	トケ <sup>°</sup> シラホシ カメムシ	クモハリ カメムシ	シラホシカメムシ	ムキ <sup>°</sup> カスミカメ	イネカメムシ	
東部	鳥取市	嶋	0.3	0	0	0	4.0	0	0	0	4.3
	〃 国府町	玉鉾	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0.7
	〃 福部町	栗谷	0	0	0.7	0	1.0	0	0	0	1.7
	〃 河原町	福和田	11.3	0	1.7	0	2.7	0	0	0	15.7
	八頭町(旧郡家町)	池田	0	0	0	0	1.3	0	0	0	1.3
中部	倉吉市	小鴨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	湯梨浜町(旧羽合町)	長瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北栄町	瀬戸	1.3	0	0	0	3.3	0	0	0	4.6
	琴浦町(旧東伯町)	美好	0.5	0	0.5	0	0	0	0	0.5	1.5
	〃 (旧赤碕町)	出上	3.0	0	0	0	0.7	0	0	0.3	4.0
西部	米子市	東八幡	0	0	0	0	0	0	0	1.7	1.7
	〃 淀江町	福岡	0.3	0	0	0	0.3	0	0	0	0.6
	南部町(旧西伯町)	原	2.0	0	0	0	1.0	0	0	4.3	7.3
	〃 (旧会見町)	天万	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.3
	伯耆町(旧岸本町)	吉長	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	〃 (旧溝口町)	二部	1.3	0	0	0	0.3	0	0	20.0	21.6
	〃 (旧溝口町)	宇代	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0.3
	大山町(旧大山町)	佐摩	0.3	0	0	0	0.3	0	0	1.0	1.6
	江府町	洲河崎	0	0	0	1.0	0	0	0	0.7	1.7
東部	虫数(頭)		2.3	0	0.5	0	1.9	0	0	0	4.7
	発生ほ場率(%)		20.0	0	26.7	0	40.0	0	0	0	53.3
中部	虫数(頭)		1.0	0	0.1	0	0.8	0	0	0.2	2.0
	発生ほ場率(%)		30.8	0	7.7	0	23.1	0	0	15.4	38.5
西部	虫数(頭)		0.5	0	0	0.1	0.2	0	0	3.1	3.9
	発生ほ場率(%)		23.1	0	0	3.8	19.2	0	0	42.3	79.2
県平均 R06年	虫数(頭)		1.1	0	0.2	0.1	0.8	0	0	1.5	3.6
	発生ほ場率(%)		24.1	0	9.3	1.9	25.9	0	0	24.1	53.7

(c) 予察灯

第20表 予察灯におけるニカメイガ成虫誘殺状況

項目	地 点								
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
越冬世代成虫	初飛来日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛半旬	-	-	-	-	-	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	-	-	-	-
	終息日	-	-	-	-	-	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	0	0.9	0	0	0	0
	性比(♀/(♀+♂))	-	-	-	-	-	-	-	-
第1世代成虫	初飛来日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛半旬	-	-	-	-	-	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	-	-	-	-
	終息日	-	-	-	-	-	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	0	0.9	0	0.3	0	0.1
	性比(♀/(♀+♂))	-	-	-	-	-	-	-	-

注) -は値がない、又は総誘殺数10頭以下の年が過去10年間の内、5年以上ある場合

第21表 予察灯におけるセジロウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	7月1日	7月14日	6月30日	7月8日	6月28日	7月9日	6月24日	7月3日
最盛半旬	8月4半旬	8月6半旬	9月2半旬	8月5半旬	6月6半旬	8月6半旬	7月1半旬	8月5半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	7	24.3	5	144.1	42	201.9	116	314.0
終息日	9月7日	10月4日	9月8日	9月3日	9月9日	10月6日	9月13日	10月9日
誘殺日数(日)	8	19.6	7	37.6	12	30.1	15	44.4
総誘殺数(頭)	19	69.7	20	369.2	64	336.6	190	582.9
性比(♀/(♀+♂))	0.42	0.33	0.45	0.35	0.55	0.38	0.45	0.35

第22表 予察灯におけるトビイロウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	-	-	-	-	-	-	-	-
最盛半旬	-	-	-	-	-	-	-	-
最盛半旬誘殺数(頭)	-	-	-	-	-	-	-	-
終息日	-	-	-	-	-	-	-	-
誘殺日数(日)	0	4	0	12.2	0	1.1	0	6.2
総誘殺数(頭)	0	7.4	0	109.3	0	1.9	0	20.1
性比(♀/(♀+♂))	-	-	-	-	-	-	-	-

第23表 予察灯におけるヒメトビウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	-	7月23日	7月5日	7月5日	8月4日	7月11日	8月15日	6月30日
最盛半旬	-	8月6半旬	-	9月2半旬	-	8月5半旬	-	9月1半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	-	8.5	-	33.4	-	6.2	-	14.4
終息日	-	9月24日	7月5日	9月30日	8月4日	9月18日	10月4日	9月27日
誘殺日数(日)	0	14.2	1	20.2	1	8.6	4	19.0
総誘殺数(頭)	0	24.6	1	68.4	1	14.3	4	46.1
性比(♀/(♀+♂))	-	0.41	1.0	0.41	1.0	0.32	0.25	0.41

第24表 予察灯におけるツマグロヨコバイ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取市橋本		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	8月10日	7月11日	6月12日	6月30日	6月17日	6月24日	6月16日	6月28日
最盛半旬	8月5半旬	8月4半旬	8月5半旬	9月1半旬	7月6半旬	8月3半旬	9月3半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	9	6.8	13	295.9	5	73.5	13	16.8
終息日	10月1日	9月17日	9月19日	9月30日	9月23日	9月18日	9月30日	9月14日
誘殺日数(日)	16	6.4	15	41.9	16	40.3	37	20.2
総誘殺数(頭)	30	9.9	31	625.8	21	271.0	83	44.2
性比(♀/(♀+♂))	0.37	0.34	0.32	0.42	0.29	0.40	0.05	0.22

第25表 予察灯によるニカメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.9	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.9	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0.2	0	0
	3	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.3	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.7	0	0.2	0	0
8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.1	0	0	0	0.1
	小計	0	0	0	0.5	0	0.1	0	0.1
9	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	2.1	0	0.3	0	0.1

第26表 予察灯によるセジロウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.2	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0.2	0	0.5
	4	0	0	0	0	0	0.2	0	1.3
	5	0	0.1	0	0.1	0	1.2	2	1.5
	6	0	0.3	3	0.5	42	0.4	0	5.0
	小計	0	0.4	3	0.7	42	2.0	2	8.3
7	1	2	0.9	0	0.8	1	3.1	116	16.2
	2	0	0.3	1	1.0	0	6.2	46	13.0
	3	0	0.3	3	15.2	2	4.3	11	9.7
	4	0	0.1	0	1.2	0	5.1	2	6.1
	5	0	0.5	0	2.0	0	1.6	0	7.8
	6	0	0.1	2	24.8	0	3.6	1	16.7
	小計	2	2.2	6	45.0	3	23.9	176	69.5
8	1	0	0.5	0	2.9	1	2.0	0	5.8
	2	0	2.4	0	13.5	0	5.0	1	14.3
	3	8	2.6	0	11.3	0	9.1	2	9.0
	4	7	9.8	0	27.3	1	142.1	0	109.4
	5	0	12.4	0	17.7	0	14.3	1	28.0
	6	0	9.0	4	79.5	1	32.8	0	126.9
	小計	15	36.7	4	152.2	3	205.3	4	293.4
9	1	1	6.6	2	45.0	7	33.2	5	20.1
	2	1	5.8	5	46.8	9	15.3	1	29.0
	3	0	6.6	0	27.6	0	16.6	2	41.3
	4	0	2.5	0	30.2	0	16.9	0	19.2
	5	0	6.6	0	11.0	0	7.9	0	145.9
	6	0	0.8	0	2.1	0	3.1	0	9.4
	小計	2	28.9	7	162.7	16	93.0	8	265.0
10	1	0	2.0	0	5.2	0	1.8	0	3.1
	2	0	0.2	0	0.6	0	2.7	0	2.1
	3	0	0	0	0.5	0	10.2	0	0.6
	4	0	0.1	0	0.2	0	0.6	0	0.2
	5	0	0.1	0	1.9	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	2.4	0	8.4	0	15.2	0	6.0
合計		19	70.6	20	369.2	64	339.5	190	642.2

第27表 予察灯によるトビロウシカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.2	0	0	0	0.1
	6	0	0	0	0.8	0	0.1	0	0.3
	小計	0	0	0	1.1	0	0.1	0	0.4
7	1	0	0.1	0	0.9	0	0	0	0
	2	0	0	0	1.0	0	0	0	0.9
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.4	0	0	0	1.0
	5	0	0.1	0	0.6	0	0	0	0
	6	0	0.4	0	1.2	0	0	0	0
	小計	0	0.6	0	4.1	0	0	0	1.9
8	1	0	0	0	1.3	0	0	0	0.9
	2	0	0.2	0	14.0	0	0	0	1.2
	3	0	0.4	0	3.7	0	0	0	0.3
	4	0	0.2	0	3.2	0	0.1	0	0.6
	5	0	0.7	0	5.3	0	0	0	0.1
	6	0	0.2	0	5.4	0	0	0	1.0
	小計	0	1.7	0	32.9	0	0.1	0	4.1
9	1	0	0.7	0	26.1	0	0.9	0	3.1
	2	0	1.9	0	3.4	0	0.1	0	3.7
	3	0	0.5	0	15.4	0	0.2	0	1.7
	4	0	1.6	0	20.5	0	0.2	0	0.1
	5	0	0	0	3.4	0	0	0	3.1
	6	0	0	0	0.6	0	0	0	0.3
	小計	0	4.7	0	69.4	0	1.4	0	12.0
10	1	0	0.1	0	0.6	0	0	0	1.2
	2	0	0.1	0	0.9	0	0	0	0.1
	3	0	0.2	0	0.3	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	小計	0	0.4	0	1.8	0	0.2	0	1.4
合計	0	7.4	0	109.3	0	1.9	0	19.9	

第28表 予察灯によるヒメトビウンカ成虫の半旬別誘殺

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.2	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0.1	0	0	0	0	0	0.1
	小計	0	0.1	0	0	0	0	0	0.1
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0	0	0.1
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0.2
	6	0	0.9	0	0.5	0	0.4	0	0.1
	小計	0	0.9	0	0.7	0	0.4	0	0.5
7	1	0	1.0	1	0.3	0	0.4	0	0.3
	2	0	0.1	0	0.3	0	0	0	0.9
	3	0	0	0	0.3	0	0.2	0	0.8
	4	0	0	0	1.2	0	0.7	0	2.2
	5	0	0.2	0	0.5	0	0.7	0	1.0
	6	0	0.1	0	0.1	0	0.4	0	2.1
	小計	0	1.4	1	2.7	0	2.4	0	7.3
8	1	0	0.1	0	0.6	1	0.2	0	1.3
	2	0	0.3	0	1.1	0	0.2	0	2.3
	3	0	0.4	0	1.6	0	0.8	1	1.4
	4	0	1.3	0	3.3	0	2.3	0	5.8
	5	0	2.6	0	3.0	0	1.2	1	10.3
	6	0	1.7	0	9.8	0	0.8	0	3.0
	小計	0	6.4	0	19.4	1	5.6	2	24.2
9	1	0	2.6	0	22.3	0	1.8	0	2.7
	2	0	2.8	0	7.7	0	0.8	0	2.4
	3	0	4.3	0	6.9	0	1.3	0	2.7
	4	0	3.2	0	2.8	0	0.2	1	1.8
	5	0	1.1	0	2.3	0	0.3	0	2.1
	6	0	1.5	0	1.4	0	0.1	0	0.8
	小計	0	15.5	0	43.4	0	4.6	1	12.4
10	1	0	0.8	0	0.5	0	0	0	0.9
	2	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0
	3	0	0.2	0	1.2	0	0.6	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	1	0
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	1.1	0	2.0	0	0.6	1	0.9
合計		0	25.4	1	68.4	1	13.5	4	45.5

第29表 予察灯によるツマグロヨコバイ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0.1
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	3	0	0	1	0.4	0	0.1	0	1.0
	4	0	0.1	0	0.3	1	0.1	1	0.9
	5	0	0.3	0	0.1	0	0.5	3	0.4
	6	0	0.1	0	0.6	0	1.1	0	2.8
	小計	0	0.5	1	1.6	1	1.8	4	5.1
7	1	0	0.1	1	1.1	1	3.6	0	1.4
	2	0	0.3	0	3.5	0	3.0	0	3.0
	3	0	0.3	0	2.1	0	7.8	3	0.8
	4	0	1.2	0	8.7	0	13.0	12	2.6
	5	0	0.9	0	29.6	5	35.7	2	7.0
	6	0	0.3	0	31.9	5	51.7	12	7.0
	小計	0	3.1	1	76.9	11	114.7	29	21.8
8	1	0	0.4	1	16.1	2	57.7	4	3.3
	2	1	0.1	0	7.3	0	21.0	1	1.0
	3	0	0	0	2.3	0	6.1	0	0.9
	4	7	0.2	0	16.1	0	3.3	2	0.9
	5	9	0.2	13	12.7	1	4.2	2	2.7
	6	4	0.6	3	45.4	0	6.1	2	3.0
	小計	21	1.5	17	99.9	3	98.4	11	11.8
9	1	2	1.4	6	113.3	2	18.1	4	6.2
	2	2	0.6	4	70.4	2	15.0	12	3.9
	3	0	1.2	1	66.0	1	3.3	13	2.0
	4	4	1.4	1	141.7	0	1.8	6	2.1
	5	0	0.2	0	39.7	1	0.9	3	0.3
	6	0	0	0	13.8	0	0.2	1	0.7
	小計	8	4.8	12	444.9	6	39.3	39	15.2
10	1	1	0	0	2.5	0	0.1	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	0	0	2.6	0	0.1	0	0
合計		30	10.0	31	625.9	21	254.4	83	54.1

第30表 予察灯によるイネミズゾウムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0.1	3	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0.1	1	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	1	0.1	0	0.2	0	0	0	0.4
	6	0	0.1	3	0.2	0	0	0	0
	小計	1	0.4	7	0.4	0	0	0	0.4
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0.2	0	0	0	0	0	0
	3	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	小計	0	0.4	0	0.1	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	2	0	0.1	0	0	0	0.3	0	0
	3	0	0.1	0	0	0	0.1	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0.4	0	0
	5	0	0	0	0.3	0	0.1	0	0.1
	6	1	0.1	0	0.3	0	0.6	0	0
	小計	1	0.3	0	0.7	0	1.6	0	0.2
8	1	0	0.5	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0.1	0	0.1
	3	0	1.2	0	0.2	0	0.4	0	0.1
	4	0	0.2	0	0	0	0.1	0	0.1
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	1.9	0	0.3	0	0.7	0	0.3
9	1	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0	1	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0.1	1	0.1
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	3.0	7	1.5	0	2.3	1	1.1

第31表 予察灯によるコブノメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.1	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.3	0	0	0	0
8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0.2	0	0	0	0	0	0
	6	0	0.4	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.6	0	0	0	0	0	0
9	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	3	0	0.3	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.5	0	0	0	0	0	0.1
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	0	0	0	0
合計		0	1.2	0	0.4	0	0	0	0.1

第32表 予察灯によるアカスジカスミカメ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
	3	0	0.2	0	0	0	0.1	0	0.2
	4	0	2.9	0	0.4	0	0.3	0	0.6
	5	0	11.1	1	0.4	0	0.2	0	0.9
	6	0	15.4	1	3.9	1	0.4	1	1.0
	小計	0	29.6	2	4.8	1	1.2	1	2.7
6	1	0	9.2	0	7.1	0	0.4	0	1.0
	2	0	5.7	3	11.2	3	0.8	0	0.1
	3	4	3.9	2	12.4	5	1.3	0	0.2
	4	14	8.4	15	9.1	2	1.4	0	1.2
	5	21	35.5	115	32.3	6	5.7	9	3.7
	6	22	71.3	110	168.9	25	25.0	1	13.6
	小計	61	134.0	245	241.0	41	34.7	10	19.8
7	1	13	106.4	167	221.5	150	53.6	5	33.6
	2	10	107.7	58	140.6	137	50.1	14	18.1
	3	4	47.2	17	47.5	5	20.3	2	11.1
	4	0	25.5	8	25.6	4	18.1	6	14.4
	5	1	21.6	8	22.3	8	31.9	5	17.7
	6	0	7.2	6	22.6	36	25.3	11	9.0
	小計	28	315.6	264	480.1	340	199.3	43	103.9
8	1	0	16.3	1	21.0	29	38.9	6	5.4
	2	0	4.8	0	18.1	47	15.2	2	6.1
	3	0	6.1	3	21.7	13	12.1	0	4.9
	4	2	1.7	2	17.5	2	9.8	8	3.8
	5	7	10.3	6	26.6	20	12.9	10	9.2
	6	2	7.2	1	28.1	9	5.4	10	8.8
	小計	11	46.4	13	133.0	120	94.3	36	38.2
9	1	4	6.4	1	25.3	11	6.3	4	10.0
	2	8	4.9	6	17.8	8	4.4	10	11.0
	3	36	4.3	21	16.7	11	5.1	15	4.4
	4	262	22.2	20	22.7	6	3.3	7	6.8
	5	19	0.9	3	25.5	25	4.1	1	3.8
	6	27	5.4	16	21.5	8	2.3	1	2.4
	小計	356	44.1	67	129.5	69	25.7	38	38.4
10	1	10	9.1	5	20.2	1	0.6	0	8.0
	2	26	0.8	11	5.6	0	0.2	0	1.4
	3	44	0.1	16	2.6	17	0	0	0.1
	4	27	0	14	1.7	1	0	3	0.3
	5	0	0.1	3	1.6	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	107	10.1	49	31.7	19	0.8	3	9.9
合計	563	579.8	640	1020.1	590	356.0	131	212.9	

第33表 予察灯によるホソミドリカスミカメ類成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0.2
5	1	0	0	0	0	0	0.3	0	0.7
	2	0	0	0	0.3	0	1.3	0	0.3
	3	0	0	0	0.2	1	0.2	0	1.8
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	1.1
	5	0	0	0	0	0	0.3	0	0.8
	6	0	0.1	0	0.3	0	0	0	0.2
	小計	0	0.1	0	0.9	1	2.2	0	4.9
6	1	0	0	0	0.7	0	0.3	1	2.4
	2	2	1.0	0	3.2	0	0	0	7.0
	3	4	1.6	5	6.8	22	2.7	7	17.6
	4	1	3.2	2	7.7	0	11.5	2	27.8
	5	2	4.6	2	7.0	2	8.4	6	15.1
	6	1	3.2	2	6.8	19	26.1	1	17.9
	小計	10	13.6	11	32.2	43	49.0	17	87.7
7	1	2	3.4	2	9.4	55	46.2	1	30.1
	2	2	2.3	1	8.1	55	48.6	13	63.2
	3	0	3.8	2	5.7	4	25.8	1	50.9
	4	1	2.1	1	3.4	5	16.2	3	30.9
	5	0	0.8	0	2.1	3	23.0	1	15.1
	6	0	0.3	0	1.4	9	15.6	2	14.6
	小計	5	12.7	6	30.1	131	175.3	21	204.8
8	1	0	0.2	0	1.8	4	14.6	2	18.1
	2	0	0.5	0	1.4	6	10.3	0	10.8
	3	0	0.7	0	2.3	5	7.3	1	5.9
	4	1	0.1	1	1.2	2	5.1	3	5.3
	5	1	0.2	0	2.9	1	4.4	2	11.6
	6	1	0.4	0	7.7	4	1.8	2	5.4
	小計	3	2.1	1	17.3	22	43.6	10	57.1
9	1	0	0	0	8.1	10	3.1	0	9.0
	2	0	0.1	1	5.0	5	2.2	0	3.4
	3	0	0.3	1	2.9	6	2.8	1	7.4
	4	1	0.2	1	1.1	4	1.2	2	12.2
	5	0	0.1	1	3.0	7	3.7	0	6.8
	6	1	0	2	2.1	3	1.3	2	3.3
	小計	2	0.7	6	22.2	35	14.3	5	42.2
10	1	0	0.7	0	2.6	2	0.6	0	1.9
	2	0	0.1	4	0.7	2	0.2	1	0.3
	3	0	0.1	0	0	2	0.2	0	0.1
	4	0	0	0	0.2	1	0.1	2	0.4
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0.4
	6	0	0	0	0	0	0.1	0	0.3
	小計	0	0.9	4	3.6	7	1.2	3	3.6
合計		20	30.1	28	106.3	239	285.7	56	400.5

第34表 予察灯によるイネカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0						
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0						
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.1	0	0	2	0
	6	0	0	0	0	1	0	2	0
	小計	2	0	0	0.1	1	0	4	0
8	1	0	0	0	0	0	0	3	0
	2	0	0	0	0	0	0	1	0
	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	1	0	0	0	0	0
	5	1	0	6	0	0	0	6	0
	6	0	0.1	1	0	0	0.1	6	0.3
	小計	2	0.1	8	0	0	0.1	16	0.3
9	1	0	0	0	0.1	0	0.1	3	0.6
	2	1	0.1	0	0	0	0	2	0.2
	3	1	0	6	0	0	0	0	0
	4	4	0	4	0	0	0	1	0.7
	5	1	0	0	0	0	0	0	0
	6	2	0	1	0	0	0	0	0
	小計	9	0.1	11	0.1	0	0.1	6	1.4
10	1	0	0	0	0	0	0	2	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	5	0	0	1	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	0	1	0	0	0	2	0.1
合計		14	0.2	20	0.2	1	0.2	28	1.9

第35表 予察灯によるフタオビコヤガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平均	本年	平均	本年	平均	本年	平均
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	3	0	0	0	1.1	0	0.2	0	0.1
	4	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	6	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.2	0	1.9	0	0.2	0	0.1
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0.1	0	0.1	0	0.4	0	0
	5	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	6	0	0.1	0	0.1	0	0.5	0	0
	小計	0	0.2	0	0.4	0	1.0	0	0
7	1	0	0.2	0	0.1	0	0.6	0	0
	2	0	0.1	0	0.1	0	0.4	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	1.6	0	0
	4	0	0.1	0	0.2	0	1.2	0	0.2
	5	0	0.2	0	0	0	2.4	0	0.3
	6	0	0	0	0.3	0	4.1	0	0.6
	小計	0	0.6	0	0.8	0	10.3	0	1.1
8	1	0	0.2	0	0.9	0	7.4	0	0.2
	2	0	0.7	0	0.5	0	3.3	0	0.4
	3	0	1.5	0	2.1	0	3.4	0	1.8
	4	0	2.2	0	3.3	0	5.7	0	1.8
	5	0	1.0	0	2.4	0	4.9	0	1.3
	6	0	1.7	0	3.0	0	3.8	0	1.8
	小計	0	7.2	0	12.2	0	28.6	0	7.3
9	1	0	0.3	0	2.9	0	1.9	0	0.7
	2	0	0.3	0	2.5	0	1.2	0	0.8
	3	0	0.1	0	0.9	0	0.4	0	0.4
	4	0	0	0	0.3	0	0	0	0.1
	5	0	0	0	0.6	0	0.1	0	0.2
	6	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	小計	0	0.7	0	7.3	0	3.7	0	2.2
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	8.9	0	22.7	0	43.8	0	10.7

イ. ムギ類（二条オオムギ）

（ア）調査地点

- a. 県予察ほ場 鳥取市橋本
- b. 一般ほ場 倉吉市新田・中江、北栄町江北

（イ）調査観察結果

- a. 県予察ほ場

第1表 県予察ほ場における調査（うどんこ病）

調査日	上位3葉の 平均病斑面積率(%)
12.7	0
1.10	0
2.8	0
3.8	0
4.9	0
19	0
30	0
5.9	0
19	0

注) 品種：しゅんれい

第2表 県予察ほ場における調査（赤かび病）

調査日	発病穂率(%)	発病度
4.10	0	0
16	0	0
20	0	0
25	0	0
5.1	0	0
7	0	0
11	0	0
15	0	0
19	0	0

注) 品種：しゅんれい

b. 一般ほ場（令和6年5月）

第3表 一般ほ場における調査（うどんこ病）

市町村	調査地点	調査番号	5月10日	
			上位3葉の平均病斑面積率（%）	
北栄町	江北	①	0	
		②	0	
		③	0	
倉吉市	中江	①	0	
		②	0	
倉吉市	新田	①	0	
		②	0	
		③	0	
		④	0	
		⑤	0	
発生ほ場率（%）			0	

第4表 一般ほ場における調査（網斑病）

市町村	調査地点	調査番号	5月10日	
			発病茎率（%）	上位3葉の平均病斑面積率（%）
北栄町	江北	①	10.0	1.3
		②	15.0	1.5
		③	30.0	3.1
倉吉市	中江	①	10.0	0.9
		②	20.0	0.9
倉吉市	新田	①	20.0	1.3
		②	70.0	4.3
		③	10.0	0.7
		④	30.0	1.8
		⑤	50.0	2.8
発生ほ場率（%）			100.0	-

第5表 一般ほ場における調査（その他）

病害虫名	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率（%）
		甚	多	中	少	計	
縞萎縮病	10	0	0	0	0	0	0
小さび病	10	0	0	0	0	0	0
赤かび病	10	0	0	0	0	0	0
黒節病	10	0	0	0	0	0	0
雲形病	10	0	0	0	0	0	0
斑葉病	10	0	0	0	0	0	0

注) 調査月日：令和6年5月8・10日

ウ. ダイズ

(ア) 一般ほ場における調査地点

市町村	地点	市町村	地点
鳥取市	橋本	北栄町	瀬戸
鳥取市	中大路	米子市	下郷
鳥取市河原町	谷一木	米子市淀江町	亀浜
岩美町	法正寺		
倉吉市	中江		
倉吉市	寺谷		
湯梨浜町	長江		
湯梨浜町	長和田		

(イ) 一般ほ場における調査観察結果

第1表 一般ほ場におけるダイズ害虫の発生状況

調査月日	ハスモンヨトウ							
	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	平均白変か所数
		甚	多	中	少	計		
9月17～19日	30	2	0	3	25	30	100	1.9

第2表 一般ほ場における成熟期の被害状況（100英サンプリング調査）

サンプリング日	調査ほ場数	紫斑病						モザイク病（褐斑粒）					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月25日～11月8日	31	0	0	1	3	4	12.9	0	0	0	1	1	3.2

サンプリング日	調査ほ場数	フタスジヒメハムシ						カメムシ類					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月25日～11月8日	31	0	0	0	20	20	64.5	0	3	6	18	27	87.1

サンプリング日	調査ほ場数	マメシクイガ シロイチモジマダラメイガ					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計	
10月25日～11月8日	31	0	0	1	9	10	32.3

## (ウ) フェロモントラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

月・半旬	鳥取市橋本		鳥取市河原町和奈見		湯梨浜町長和田	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5・1	3	1.2	-	-	-	-
5・2	2	1.6	-	-	-	-
5・3	5	2.6	-	-	-	-
5・4	3	5.9	-	-	-	-
5・5	0	10.8	-	-	-	-
5・6	0.5	12.0	-	-	-	-
6・1	2.5	8.5	-	-	-	-
6・2	2.0	12.7	-	-	-	7.1
6・3	0.8	21.3	-	-	-	9.8
6・4	16.2	23.5	-	-	-	16.3
6・5	66.0	23.1	-	17.8	-	55.3
6・6	53.0	37.9	107.0	73.0	-	129.4
7・1	32.2	39.9	146.0	68.0	19.8	177.1
7・2	40.8	43.5	186.0	58.2	113.5	243.9
7・3	34.0	36.3	72.8	42.8	135.7	240.1
7・4	37.5	35.2	69.2	76.1	105.0	201.8
7・5	29	29.6	48.0	93.8	229.3	205.1
7・6	67	31.8	87.0	63.5	341.1	267.2
8・1	40	20.1	163.0	74.0	457.1	349.5
8・2	42	43.6	122.5	137.8	295.7	461.6
8・3	37.5	46.6	322.5	122.8	237.0	514.4
8・4	20.8	40.9	214.5	124.9	286.0	355.2
8・5	68.0	33.1	207.5	150.7	638.6	380.6
8・6	164.0	55.5	966.0	173.0	926.6	433.2
9・1	101.0	45.1	1478.0	221.3	723.4	550.4
9・2	9.0	75.4	796.0	181.9	573.7	554.0
9・3	7.1	53.3	923.0	153.9	708.6	369.0
9・4	41.5	58.8	3677.0	148.0	701.1	341.0
9・5	64.4	52.4	1103.0	162.6	815.3	363.7
9・6	77.0	49.4	-	124.5	989.3	277.0
10・1	244.2	51.7	-	-	1192.1	334.1
10・2	164.4	38.7	-	-	630.7	340.9
10・3	144.4	37.0	-	-	275.3	220.9
10・4	184.0	29.0	-	-	350.7	162.2
10・5	376.9	35.3	-	-	581.0	158.5
10・6	293.1	44.4	-	-	624.6	157.2

注) 鳥取市橋本：武田乾式トラップ

鳥取市河原町、湯梨浜町：ファネルトラップ

## (エ) 予察灯

第4表 予察灯によるイチモンジカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0						
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0						
	5	0	0	0		0		0	
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0.6
	6	1	0.2	0	0.1	0	0	0	0.2
	小計	1	0.3	1	0.1	0	0	0	0.8
7	1	1	0.1	0	0	0	0	0	0.1
	2	0	0.7	0	0.2	0	0	0	0.1
	3	0	0.9	0	0	0	0.2	0	0.1
	4	14	1.4	1	0.3	0	0	0	0
	5	6	1.1	0	0.2	0	0	0	0.2
	6	7	0.6	0	0.3	0	0	0	0.1
	小計	28	4.8	1	1.0	0	0.2	0	0.6
8	1	1	0.8	0	0.7	0	0	0	0.1
	2	3	0.7	0	0.5	0	0	0	0.1
	3	0	0.1	0	0.5	0	0	0	0.1
	4	1	0.3	0	0.2	0	0	0	0
	5	0	0.3	0	0.3	0	0	0	0.3
	6	0	0	0	0.3	0	0	0	0.2
	小計	5	2.2	0	2.5	0	0	0	0.9
9	1	1	0.3	0	0.1	0	0	0	0.2
	2	4	0.3	1	0.3	0	0	0	0.1
	3	7	0.4	0	0.3	0	0	0	0
	4	7	0.4	1	0.3	0	0	0	0.1
	5	1	0	0	0	0	0	0	0
	6	1	0	0	0	0	0	0	0
	小計	21	1.4	2	1.0	0	0	0	0.4
10	1	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	5	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.2	0	0	0	0	0	0.1
合計		55	8.9	4	4.6	0	0.2	0	2.8

第5表 予察灯によるホソヘリカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0						
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0						
	5	0	0	0		0		0	
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0.1
	2	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	5	0	0.1	0	0	0	0	0	0.3
	6	1	0.1	0	0.3	0	0	0	0.6
	小計	1	0.2	0	0.5	0	0	0	1.2
8	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	2	0	0.1	0	0	0	0	0	0.2
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0.1	0	0	0	0.2	0	0.1
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0.4	0	0.3	0	0.2	0	0.4
	小計	0	0.6	0	0.5	0	0.3	0	0.7
9	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0.2
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1	0.8	0	1.0	0	0.3	0	2.2

第6表 予察灯によるアオクサカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0						
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0						
	5	0	0	0		0		0	
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0.1	0	0.1
	小計	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0.1
7	1	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	3	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	4	0	0.1	0	0	0	0	0	0.5
	5	2	0	0	0.2	0	0.7	0	0.2
	6	1	0.2	0	0.6	0	0.1	0	0.1
	小計	3	0.4	0	1.0	0	0.8	0	0.9
8	1	2	1.3	0	1.0	0	0.9	0	0.6
	2	2	0.8	0	0.3	0	0	0	0.3
	3	2	0.1	0	0.3	0	0.6	0	1.1
	4	0	0.2	0	0.3	0	1.3	0	0.1
	5	0	0.3	0	0.5	0	0.1	0	0.3
	6	0	0	0	0.1	0	1.1	0	0.1
	小計	6	2.7	0	2.5	0	4.0	0	2.6
9	1	0	0	0	0.5	0	0.2	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	3	1	0.1	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	1	0	0	0.1
	5	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	6	3	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4	0.2	0	0.5	1	0.2	0	0.2
10	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	3	10	0.1	0	0	0	0	0	0
	4	3	0	0	0.1	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	13	0.1	0	0.4	0	0	0	0
合計		26	3.4	0	4.5	1	5.1	0	3.8

## 7 果樹病害虫の発生予察調査結果

### (1) 主な果樹病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積* (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率** (%)
			甚	多	中	少	計	
ナシ	573	黒斑病	0	0	11	104	115	20.1
		黒星病	0	1	8	54	63	11.0
		赤星病	0	0	0	13	13	2.3
		うどんこ病	0	0	1	59	60	10.5
		輪紋病	0	0	0	24	24	4.2
		ナシヒメシンクイ	0	0	3	82	85	14.8
		モモシンクイガ	0	0	0	13	13	2.3
		ハマキムシ類	0	0	3	24	27	4.7
		ハダニ類	0	1	11	261	273	47.6
		カメムシ類	2	6	16	87	111	19.4
		コナカイガラムシ類	0	0	3	56	59	10.3
		アブラムシ類	0	0	6	159	165	28.8
		ニセナシサビダニ	0	0	2	179	181	31.6
ブドウ	72	晩腐病	0	0	2	29	31	43.1
		黒とう病	0	0	2	5	7	9.7
		べと病	0	0	2	30	32	44.4
		灰色かび病	0	0	2	25	27	37.5
		チャノキイロアザミウマ	0	0	1	24	25	34.7
		ハマキムシ類	0	0	2	24	26	36.1
カキ	222	炭疽病	0	0	1	56	57	25.7
		灰色かび病	0	0	2	14	16	7.2
		うどんこ病	0	0	3	69	72	32.4
		落葉病類	0	0	1	32	33	14.9
		カキノヘタムシガ	0	0	0	2	2	0.9
		カイガラムシ類	0	0	5	32	37	16.7
		カメムシ類	3	6	10	34	53	23.9
		ハマキムシ類	0	0	3	24	27	12.2
		チャノキイロアザミウマ	0	0	0	2	2	0.9
		カキクダアザミウマ	0	0	0	3	3	1.4
		樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、 フタモンマダラメイガ)	0	0	6	71	77	34.7

\*作付面積は、農林水産省作物統計情報（令和6年3月29日確報より）

\*\*面積率 (%) = (発生程度別面積の合計 (ha) / 作付面積 (ha)) × 100

## (2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

### ア. ナシ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒斑病 (やや少ない)	越冬伝染源量となる枝病斑及び罹病芽の量は平年並～平年に比べて少なかった。病原菌の分生子飛散量は、4月中～下旬にやや多かったものの、それ以外の期間は平年並以下で推移した。春季のポリ袋検定および6、7月の果実と葉における発生量はいずれも平年並以下であり、収穫期の果実被害は平年に比べてやや少なかった。	越冬伝染源量及び孢子飛散量が平年並以下であったため、感染機会が多くなかったものと推察された。また、感受性品種の面積が減少していることから自然減した。
黒星病 (平年並)	現地ほ場における巡回調査の結果、5、6月の発生量は平年並であり、収穫期の被害も県内全体では平年並以下となった。なお、発生量は園による差が大きく、春季に適期防除が実施できなかった園を中心に発生が多くなる傾向であったが、一部地域では袋掛け前からの発生も認められた。	越冬伝染源である罹病芽の量は平年に比べてやや少なかったが、昨年の発生量から罹病落葉の量は平年に比べてやや多いと推察された。子嚢胞子の飛散消長は、多発した昨年に近い傾向となり、3月下旬の飛散開始後、4月5、8日頃に飛散ピークを迎えたものの、重点防除時期に適剤による防除が実施できたため、生育初期から菌密度が抑制されたと考えられた。一方で、この防除が適期に実施できなかった園では発生量が増加した。
赤星病 (平年並)	例年被害が認められる地域でも発生は目立たず、平年並の発生量となった。	昨年の発生量はやや少なく、越冬伝染源量もやや少ないと推察された。ビャクシン上に形成された冬孢子堆の成熟度が90%を超えたのは例年に比べてやや早い4月9日であり、初発日は4月19日と平年並であった。冬孢子堆の成熟後には一定の降雨が認められ、一部の地域においては発生が認められたが、DMI剤の適期散布によって少発生となった地域も多かった。
うどんこ病 (やや少ない)	昨年の発生量はやや少なく、越冬伝染源量も平年に比べてやや少ないと推察された。9月以降、県予察ほ場の殺菌剤無散布樹において発生が認められ、現地ほ場においても11月にかけて発生量はやや増加したものの、全体としては例年に比べてやや少ない発生量であった。	昨年の発生量はやや少なく、越冬伝染源量もやや少ないと推察された。発生初期からの防除が徹底された。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
輪紋病 (やや少ない)	発生はやや少なく、被害は問題とならなかった。	昨年の発生量は平年に比べて少なく、越冬伝染源量も少ないと推察された。‘新甘泉’の果実感受性が高い満開 56～75 日後（6月上～下旬）の降水量は平年に比べ少ない傾向で推移し（6月 22、23 日を除く）、主要感染期の気象条件が好適でなかったと考えられた。
ハダニ類 (やや多い)	発生時期は、平年に比べてやや早い7月上旬頃から増加し、平年に比べてやや多い発生量となった。9月以降も発生量が多いほ場が認められた。発生種は、カンザワハダニやナミハダニが中心であった。	梅雨明け後の気象条件がハダニ類の増殖に好適であり、その後も気温が高い傾向で推移したことが要因と推察された。
コナカイガラムシ類 (平年並～やや多い)	収穫果実における被害量は概ね平年並であったが、一部地域ではやや多かった。クワコナカイガラムシの越冬世代幼虫のふ化初日、50%ふ化日はほぼ平年並であったが、終了日は平年に比べて5日早かった。 マツモトコナカイガラムシの発生時期及び盛期は、各世代ともほぼ平年並であった。越冬世代成虫の誘殺数は平年並、第1世代成虫及び第2世代成虫で平年に比べてやや多かった。	6～8月の気温は平年に比べて高い傾向で、コナカイガラムシ類の増殖に好適条件だったことから、発生量は平年並～やや多くなったと推察された。
アブラムシ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	アブラムシ類に効果の高い薬剤が普及し、定期防除が実施されていたため発生量が抑えられていると推察される。
カメムシ類 (多 い)	越冬密度調査の結果から、クサギカメムシの越冬量は平年に比べて多かった。予察灯の誘殺数は、5～8月を通して発生量が多かった。県内全域でカメムシ類の果実被害が確認され、カメムシ類の果実被害は例年に比べて多かった。	越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年に比べて多く、4～9月の気温はカメムシ類の活動を助長する気象条件となった。 また、カメムシ類の餌となる山林のスギ・ヒノキの球果の量は例年並であり、山林で増殖したカメムシ類は、山林から離脱し、果樹園へ飛来したと考えられた。
ニセナシサビダニ (やや少ない)	ニセナシサビダニの発生時期は平年に比べて早く、その盛期は平年に比べてやや早い6月上旬頃であった。	発生量は平年に比べてやや多かったものの慣行防除において効果の高い薬剤が普及しており、被害が少なかったと推察された。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
モモシクイガ (平年並～ やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並～平年に比べてやや多かった。	誘殺数が多い時期はあったものの、7～8月の通常防除と収穫前の防除が徹底され、被害は平年並となった。
ナシヒメシクイ (平年並～ やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並～平年に比べてやや多かった。	誘殺数が多い時期はあったものの、7～8月の通常防除と収穫前の防除が徹底され、被害は平年並となった。
ハマキムシ類 (平年並～ やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、越冬世代成虫は平年並～やや多く、第1世代、第2世代成虫はほぼ平年並であった。また、9～10月の誘殺数は平年に比べて多かった。 発生時期は越冬世代成虫では平年に比べてやや早く、その後は平年並～やや早かった。	秋季の気温が高く、平年に比べて多い誘殺数となった時期があったが、通常防除が徹底されたと考えられた。

## イ. ブドウ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
晩腐病 (平年並)	日焼け部分での罹病が目立った地域があったが、全体としては平年並の発生量であった。	梅雨時期の降雨量が多く、感染にやや適した条件であったが、袋掛けまでの期間を中心に防除が徹底された。
べと病 (やや多い)	ハウスの谷部に発生がみられ、全体としてはやや多い発生量であった。	梅雨時期の降雨量が多く、感染にやや適した条件であった。
灰色かび病 (平年並)	被害は目立たず、平年並の発生量であった。	防除が徹底された。
黒とう病 (平年並)	露地栽培を行っている地区や、苗木において発生が認められたが、果実被害は少なく、全体としての発生量は平年並であった。	防除が徹底された。
チャノキイロ アザミウマ (平年並)	黄色粘着板トラップ(無加温ハウス)の結果、8月中旬～9月中旬にかけて誘殺数が増加し、平年並の発生量であった。果実の被害量についても平年並であった。	カサ掛け栽培が多いため、防除が十分に実施できない。
ハマキムシ類 (やや多い)	フェロモントラップ調査(露地)の結果、発生量は、越冬世代、第1世代、第5世代で多い傾向であり、例年に比べて世代数も1世代多い可能性があった。発生時期は平年並であった。収穫果の被害量は、平年に比べてやや多かった。	カサ掛け栽培が多いため、防除が十分に実施できない。収穫後の防除が徹底されていない。秋季の気温が高い傾向である。

## ウ. カキ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 (平年並)	‘富有’や‘輝太郎’で発生が認められたが、平年並の発生量であった。	梅雨時期の降雨量が多く感染にやや適した条件であったが、梅雨明け後に降雨量が少ない期間があり、二次伝染に抑制的に働いたと推察された。
うどんこ病 (平年並)	一部の園で発生が認められたが、平年並の発生量であった。	防除が徹底された。
灰色かび病 (平年並)	春季の強風後に発生が認められたが、全体として発生量は平年並であった。	防除が徹底された。
カキノヘタムシガ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	被害量は例年より少なく、越冬量が平年に比べてやや少なかったと推察された。
カメムシ類 (平年並)	一部で収穫が皆無の園があり、甘柿を中心に被害が甚大で、‘西条’等の他品種でも多かった。8月頃までの加害による落果が多く、収穫期にはヘタ部付近に吸汁痕が複数箇所確認された。摘果期にも多飛来が確認され、特に7月中下旬～8月は発生量が多かった。	越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年に比べて多く、4～9月の気温はカメムシ類の活動を助長する気象条件となった。 また、カメムシ類の餌となる山林のスギ・ヒノキの球果の量は例年並であり、山林で増殖したカメムシ類は、山林から離脱し、果樹園へ飛来したと考えられた。
アザミウマ類 (平年並)	発生量、被害ともに平年並であった。	近年、被害が少ない。
フジコナ カイガラムシ (やや多い)	フジコナカイガラムシのフェロモントラップ調査の結果、発生時期は、越冬世代、第一世代、第二世代のいずれも平年並であった。越冬世代、第1世代成虫の誘殺数は平年並、第2世代成虫は平年に比べて多かった。収穫果に被害がみられ、やや多い被害量であった。	世代を経るごとに発生時期のばらつきが大きくなり、適期防除を見極めるのが困難であった。
ハマキムシ類 (やや多い)	フェロモントラップ調査(露地)の結果、発生量は、越冬世代、第1世代、第5世代で多い傾向であり、例年に比べて世代数も1世代多い可能性があった。発生時期は、ほぼ平年並であった。収穫果の被害量は、平年に比べてやや多かった。	世代を経るごとに発生時期のばらつきが大きくなり、適期防除を見極めるのが困難であった。
樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、 フタモンマダライガ)	フェロモントラップ調査の結果(ヒメコスカシバ)、発生時期、発生量ともに平年並であった。一部地域で被害が確認されたが平年並の被害量であった。	昨年の樹幹害虫の被害量は平年並であったため、越冬量は平年並と推察された。近年、被害が多い傾向である。簡易で安価な防除手法がない。

## エ. その他(特記事項)

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
クワゴマダラ ヒトリ (やや多い)	果樹類で、春季のクワゴマダラヒトリの発生量がやや多かった。	発生量が増加した要因は不明であるが、現在、発生密度が高い時期と推察される。

### (3) 調査の概要と結果

#### ア. ナシ

#### (ア) 生育状況

第1表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における生育状況（二十世紀）

調 査 項 目	県予察ほ場（園試）		
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>
ア 催 芽 期	3.11	3.6	3.9
イ 発 芽 期	3.21	3.10	3.18
ウ 脱 苞 期	4.1	3.24	3.27
エ 展 葉 期	4.5	3.29	4.2
オ 開 花 始 め	4.8	3.31	4.4
1 満 開	4.13	4.5	4.10
2 落 花	4.18	4.11	4.17
カ 新梢の生育状況			
1 新梢の伸長開始	4.22	4.17	4.20
2 停 止 期	7.4	7.3	7.2
3 第2次伸長停止期	8.14	- <sup>b</sup>	8.6
キ 袋 掛 期			
1 小 袋	5.10	5.2	5.8
2 大 袋	6.3	5.26	6.5
ク 落 葉 期	11.28	11.24	11.24

<sup>a</sup> 平成31年～令和5年の平均

<sup>b</sup> 欠測

概要： 県内の本年の平均的満開日は4月12日となり、平年並となった。4月の気温は平年よりも高く推移し、5月は平年並となった。また、4月にまとまった降水があったことから、葉色値は平年をやや上回り、展葉数は平年値を上回った。

主な病害虫の発生量について、病害では目立った発生がなかったものの、虫害ではカメムシ類が甚発生し、ハダニ類はやや多い傾向であった。

(イ) 黒斑病

a. 分生胞子の形成状況

第2表 二十世紀ナシ露地栽培ほ場における胞子採集状況

月・半旬	本年	平年
3・5	3	3.0
6	1	6.5
4・1	4	5.1
2	2	4.2
3	2	7.0
4	16	10.2
5	46	15.3
6	44	15.3
5・1	17	14.8
2	7	14.4
3	12	29.1
4	4	62.4
5	30	78.6
6	37	139.9

(注) 平年・・・平成26年～令和5年分の平均  
 採集時間：午前10時30分～正午の1.5時間  
 検鏡：カバーガラス（18×18mm）内の  
*Alternaria* spp. 胞子数

b. 新梢葉の発病状況

第3表 県予察ほ場における発病状況

月・旬	調査葉数 (枚)	病葉数 (枚)	病葉率 (%)	
			本年	平年
5・上	73	0	0	1.0
	111	1	0.9	1.2
	146	2	1.4	1.6
6・上	193	2	1.0	2.8
	242	3	1.2	3.9
	283	5	1.8	5.5
7・上	300	12	4.0	8.0
	319	22	6.9	12.0
	312	27	8.7	13.5
8・上	309	28	9.1	14.6
	327	31	9.5	14.9
	332	37	11.1	16.4
9・上	339	46	13.6	19.0
	341	68	19.9	23.4
	331	70	21.1	27.6

(注) 平年・・・平成26年～令和5年（5月上旬のみ令和2年～5年）の平均

第4表 新梢葉の発病状況

地 区		新 梢 葉 の 発 病 率 (%)								
		6 月			7 月			9 月		
		本年	前年	平年 <sup>a</sup>	本年	前年	平年 <sup>a</sup>	本年	前年	平年 <sup>a</sup>
県予察ほ場		0.5	1.1	3.3	7.0	5.7	11.2	3.8	13.5	18.8
東 部	鳥取市									
	河原町山 上	2.9	0	- <sup>d</sup>	1.0	1.9	- <sup>d</sup>	2.4	0.6	- <sup>d</sup>
	佐治町高 山	0	0	- <sup>c</sup>	1.0	1.4	- <sup>c</sup>	0.9	3.1	- <sup>c</sup>
	青谷町青 谷	0.5	0	- <sup>b</sup>	0.5	0.5	- <sup>b</sup>	0	0.5	- <sup>b</sup>
	八頭町 花 原	1.0	1.2	0.6	3.0	0	1.3	0.5	0.5	3.8
中 部	湯梨浜町1 別 所	0.5	0	2.2	0.6	0.5	1.9	1.4	1.8	3.1
	湯梨浜町2 勝負谷	1.0	0	1.3	0	0	1.7	6.5	24.9	7.4
	倉吉市 中 野	1.5	0.5	0.9	1.4	1.4	1.9	0	8.2	5.1
	琴浦町 竹ノ内	1.9	1.0	2.1	1.1	4.9	3.7	0.8	8.2	4.2
	南部町 朝 金	0.5	0	- <sup>b</sup>	0.5	0	- <sup>b</sup>	1.4	1.9	- <sup>b</sup>
平 均		1.0	0.4	1.7	1.6	1.6	3.6	1.8	6.3	7.1

- <sup>a</sup> 平成26年～令和5年の平均
- <sup>b</sup> 令和元年より調査園を変更した。
- <sup>c</sup> 令和3年より調査園を変更した。
- <sup>d</sup> 令和4年より調査園を変更した。

c. 果実の発病状況

第5表 収穫果実及び病落果の発病状況

地 区	収 穫 果 実						病 落 果 率 (%)		
	月日	調査果数	病果数	病果率	前年	平年 <sup>a</sup>	本年	前年	平年 <sup>a</sup>
県予察ほ場	8.30	200	7	3.5%	0.5%	7.7%	4.4	2.3	7.2

<sup>a</sup> 平年・・・平成26年～令和5年の平均

第6表 ポリ袋検定による幼果の発病状況

地 区	ポリ袋検定法による 幼果の発病率 (%)			
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>	
県予察ほ場	5.0	0	1.2	
東 部	鳥取市			
	河原町 山 上	0	0	- <sup>e</sup>
	佐治町 高 山	0	0	- <sup>c</sup>
	青谷町 青 谷	0	1.0	- <sup>b</sup>
八頭町 花 原	0	0	0.3	
中 部	湯梨浜町1 別 所	0	0	0.5
	湯梨浜町2 勝負谷	0	0	1.0
	倉吉市 中 野	- <sup>d</sup>	0	0.5
	琴浦町 竹ノ内	0	0	0.8
西 部	南部町 朝 金	0	0	- <sup>b</sup>
平 均	0.6	0.1	0.7	

<sup>a</sup> 平成26年～令和5年の平均

<sup>b</sup> 令和元年より調査園を変更した。

<sup>c</sup> 令和3年より調査園を変更した。

<sup>d</sup> 樹の伐採により調査を行えなかった。

<sup>e</sup> 令和4年より調査園を変更した。

第7表 破袋調査による果実発病状況

地 区	被 袋 果 の 発 病 率 (%)						
	6 月			7 月			
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>	
県予察ほ場	0	0	1.5	5.0	1.7	4.5	
東 部	鳥取市						
	河原町 山 上	0	0	- <sup>d</sup>	1.7	0	- <sup>d</sup>
	佐治町 高 山	0	0	- <sup>c</sup>	0	0	- <sup>c</sup>
	青谷町 青 谷	0	0	- <sup>b</sup>	0	0	- <sup>b</sup>
八頭町 花 原	0	0	0.2	0	0	0.2	
中 部	湯梨浜町1 別 所	0	0	0.2	0	0	0
	湯梨浜町2 勝負谷	0	0	0.3	0	0	0
	倉吉市 中 野	0	0	0.3	0	0	1.3
	琴浦町 竹ノ内	0	0	0.3	1.7	0	0
西 部	南部町 朝 金	0	0	- <sup>b</sup>	0	1.7	- <sup>b</sup>
平 均	0	0	0.5	0.8	0.3	1.0	

<sup>a</sup> 平成26年～令和5年の平均

<sup>b</sup> 令和元年より調査園を変更した。

<sup>c</sup> 令和3年より調査園を変更した。

<sup>d</sup> 令和4年より調査園を変更した。

第8表 県内定点調査ほ場における越冬密度調査（11～12月調査）

地 区		病 枝 率 (%)		枝当たり病斑数(個)		短果枝の病芽率(%)	
		本 年	平 年 <sup>a</sup>	本 年	平 年 <sup>a</sup>	本 年	平 年 <sup>a</sup>
県予察ほ場		0	8.0	0	0.1	3.3	1.5
東 部	鳥取市						
	河原町 山 上	0	- <sup>d</sup>	0	- <sup>d</sup>	0	- <sup>d</sup>
	佐治町 高 山	0	0 <sup>b</sup>	0	0 <sup>b</sup>	0	2.2 <sup>b</sup>
	青谷町 青 谷	6.7	2.7 <sup>c</sup>	0.1	0.0 <sup>c</sup>	1.7	2.3 <sup>c</sup>
	八頭町 花 原	0	2.0	0	0.0	1.7	3.9
中 部	湯梨浜町1 別 所	0	1.3	0	0.0	6.7	3.4
	湯梨浜町2 勝負谷	0	4.0	0	0.1	1.7	0.5
	倉吉市 中 野	0	3.3	0	0.1	1.7	1.4
	琴浦町 竹ノ内	0	7.1	0	0.1	0	0.3
	南部町 朝 金	0	1.3 <sup>c</sup>	0	0.0 <sup>c</sup>	0	2.0 <sup>c</sup>
平 均		0.7	3.3	0.0	0.0	1.7	1.9

<sup>a</sup> 平成26年度～令和5年度のうち3年以上の値の平均

<sup>b</sup> 令和3年度より調査園を変更した。

<sup>c</sup> 令和元年度より調査園を変更した。

<sup>d</sup> 令和4年より調査園を変更した。

(ウ) 黒星病

a. 分生孢子及び子のう孢子の孢子飛散消長

第9表 芽基部病斑上からの分生孢子採集数

月・半旬	雨水中の分生孢子数(個/10ml)		
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>
3・4	0	0	0.2
5	6.4	0	1.7
6	2.9	0.8	4.4
4・1	13.1	4.7	9.6
2	8.8	9.6	10.5
3	0.5	3.6	10.5
4	3.7	2.3	6.2
5	55.0	0	40.7
6	36.0	0.3	19.2
5・1	1.8	降雨なし	14.2
2	0	0	21.1
3	6.1	32.4	11.6
4	0	14.1	21.6
5	降雨なし	3.3	63.4
6	0	8.8	22.9

<sup>a</sup> 平成26年～令和5年（3月4半旬のみ令和2～5年）の平均

第10表 病落葉からの子のう孢子の採集数

月・半旬	病落葉からの子のう孢子数(個)		
	本 年	前 年	平 年 <sup>a</sup>
3・4	0	0	0
5	2	1	4.5
6	6	0	16.8
4・1	100	22	16.4
2	66	2	5.4
3	4	2	50.0
4	4	0	4.8
5	4	0	48.1
6	1	0	10.5
5・1	0	0	1.0
2	1	1	0.4
3	0	0	0.1
4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0

<sup>a</sup> 平成28年～令和5年（3月4半旬のみ令和2～5年）の平均調査方法を変更した値を令和2年度より採用。

第11表 春期ナシ黒星病の分生孢子飛散時期

年次	飛散始め	最盛期	終期
本年	3.25	4.23	5.28
前年	3.26	5.6	5.28
平年 <sup>a</sup>	3.25	5.5	5.29

<sup>a</sup> 平成26年～令和5年の平均

第12表 春期ナシ黒星病の子のう胞子飛散時期

年次	飛散始め	最盛期	終期
本年	3.25	4.5	5.7
前年	3.24	4.5	5.7
平年 <sup>a</sup>	3.31	4.12	5.1

<sup>a</sup> 平成28年～令和5年の平均

b. 幼果の発病調査

第13表 県内定点調査ほ場における発病状況（5月調査）

地区名	品種	発病果率 (%)			
		本年	前年	平年 <sup>a</sup>	
県予察ほ場		0	0	0	
東部	鳥取市 久末	豊水	0.3	0	0.5
	佐治町 津無	豊水	0	0	0
	佐治町 津無	新甘泉	0	0	0
	青谷町 河原	新甘泉	0	0.7	0.9
	八頭町 山路	新甘泉	0	0	0.1
中部	湯梨浜町 方面	新甘泉	0.7	0	0
	倉吉市 悴谷	幸水	0	0	0
	倉吉市 関金	幸水	0	— <sup>b</sup>	— <sup>b</sup>
	琴浦町 西宮	幸水	0	0	0
西部	大山町 陣構	新甘泉	0.7	0	2.9
	米子市 稲吉	新甘泉	0	0	0
	南部町 朝金	幸水	0.7	0	0
平均			0.2	0.1	0.4

<sup>a</sup> 平成26年～令和5年のうち2年以上の値の平均

<sup>b</sup> 伐採による調査地点の変更に伴い欠測

c. 休眠期における芽りん片病斑の発生状況

第14表 ナシ黒星病の越冬病芽割合

地区名	品種	花芽数	病芽数	病芽率 (%)			
				本年	前年	平年 <sup>a</sup>	
県予察ほ場		新甘泉	125	0	0	0	0.5
		幸水	141	0	0	0	0.4
東部	鳥取市1	豊水	107	1	0.9	0	5.4
		幸水	209	0	0	0	1.0
	鳥取市2	新甘泉	289	0	0	0	1.0
		豊水	94	1	1.1	0.7	5.9
	鳥取市3	新甘泉	206	0	0	0	1.8
		八頭町	新甘泉	92	0	0	— <sup>b</sup>
		豊水	178	1	0.6	3.5	4.2
中部	湯梨浜町	新甘泉	162	8	4.9	2.6	1.1
	倉吉市	新甘泉	126	1	0.8	— <sup>b</sup>	1.2
	琴浦町	幸水	127	0	0	— <sup>b</sup>	0.1
		新甘泉	— <sup>b</sup>	— <sup>b</sup>	— <sup>b</sup>	— <sup>b</sup>	0.5
西部	大山町1	新甘泉	278	0	0	0	1.7
	大山町2	新甘泉	158	4	2.5	1.0	2.8
平均			163.7	1.1	0.8	0.7	1.9

<sup>a</sup> 平成26年～令和5年の期間で3年以上の値の平均値

<sup>b</sup> 枝の採取が行えなかったため欠測

(エ) 赤星病

a. バクシン上の冬孢子堆と小生子の形成時期

第15表 県予察ほ場におけるバクシン上の冬孢子堆成熟状況及び小生子形成状況

調査月・日	ナシの生育状況	冬孢子堆成熟状況		小生子形成状況									
		本年	前年	本年	前年								
3.20	展葉期	30%	30%	+++	+++								
3.24			80%			+++~++++							
3.29							+						
3.31							100%	+++					
4.3									++				
4.5									100%	+++			
4.6											+++		
4.9												+++	
4.11													+++
4.13													

b. 果そう葉の発病状況

第16表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における赤星病の発病状況（6月）

項目	八頭町		県予察ほ場	
	本年	前年	本年	前年
調査葉数	300	300	300	300
病葉率(%)	0	0	0	0

(オ) ナシヒメシクイ

第17表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	前年	本年	平年	本年	平年
4・上	2	5.5	49	104	14.5	29.4	70.1	34.7
中	22	4.6	176.4	49	75	34.5	250.8	47.1
下	1	2.6	62.6	12	30.5	13.6	41.1	23.3
5・上	2	2.6	16.6	17	5.6	8.7	3.3	8.5
中	0	0.2	6.4	8	6.4	3.8	4.7	4.0
下	1.3	0.1	8.6	2	20.1	5.2	24	3.9
6・上	3.7	2.2	65.5	40	41	23.1	40	23.1
中	8	2.9	79	44	39.6	34.0	75.4	22.0
下	5	1.8	12	28	27.3	19.2	23.6	10.8
7・上	6	3.5	32	26	37.3	16.6	19	12.6
中	17.8	5.4	41.8	18	30.7	26.9	20.9	15.7
下	3.2	4.1	36.2	29	29	30.4	26.3	24.5
8・上	18.6	13.5	45.8	23	44.2	24.1	52	22.2
中	17.4	9.7	54.2	61	40.8	26.8	50.8	23.1
下	12	8.5	56	50	42.2	42.4	112	27.0
9・上	27	16.4	37	26	50.8	43.3	58.9	20.2
中	7	8.7	17	28	40.3	31.6	40.2	12.4
下	0	2.9	0.4	11	3.2	12.8	4.9	2.2
10・上	0	0.4	3.6	2	4.6	3.3	0	0.4
中	0	0	0.3	1	2	0.3	3.6	0
下	0	0	1.7	0	3	0.0	1.4	0.2
計	154.0	95.7	802.0	579.0	588.0	430.0	923.0	337.9

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均、湯梨浜町は令和5年度から調査地点を変更。

要約：総誘殺数は、八頭町で平年に比べて多く、県予察ほ場、福部町でやや多い。湯梨浜町で前年に比べて多かった。

## (カ) モモシンクイガ

第18表 フェロモントラップ（武田製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	前年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	4	0	0	0.2	0
下	0	0	40.4	15	2.3	2.3	3.6	1.8
6・上	0	0.2	73.6	51	3.9	6.2	18.2	8.1
中	3	0.3	139	68	13.4	13.3	24.4	16.4
下	1	0	147	37	26.4	16.2	13.6	9.0
7・上	0	0	32	56	8.2	16.9	18	9.8
中	0	0	37.3	13	1.7	5.4	3.6	2.2
下	0	0	33.7	41	0.1	6.2	3.3	5.7
8・上	0	1.0	69.8	67	5.7	20.8	10.3	23.1
中	0	0.1	69.2	50	8.3	15.4	15.8	19.1
下	0	0	97	32	9.2	3.9	8	6.0
9・上	0	0	29	47	3.8	3.0	0	0.6
中	0	0.1	18.6	25	0	0.7	0	0.1
下	0	0	5.5	3	0	0.0	0	0
10・上	0	0	0.9	0	0	0.1	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4.0	1.1	793.0	509.0	83.0	110.4	119.0	101.7

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均、湯梨浜町は令和5年度から調査地点を変更。

要約：総誘殺数は、県予察ほ場、八頭町で平年に比べてやや多く、福部町でやや少ない。湯梨浜町で前年に比べて多い。

## (キ) ハマキムシ類

## a. チャノコカクモンハマキ

第19-1表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャノコカクモンハマキ					
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	1	3.3	0	0.4	2	1
中	19.1	7.6	5	2.3	33	6.7
下	32.9	15.7	20	5.6	63	12.1
5・上	32.8	46.2	16	16.8	55	37.1
中	28.2	25.0	17	9.4	106	28.7
下	1	3.7	9	5.3	11	7.7
6・上	0	2.5	3	2.9	5	4.4
中	8	7.8	6	5	45	20
下	20	24.4	10	11.4	34	29.1
7・上	31	24.5	10	11.7	28	22.4
中	0.9	3.8	3	3.3	46	11.6
下	29.1	5.0	4	3.6	54	16.2
8・上	15.7	11.4	15	12.3	34	27.1
中	8.3	9.9	13	9	36	16.4
下	9	5.0	0	5.9	25	17.1
9・上	17	6.2	4	3.1	28	25.5
中	42.6	22.2	26	8.4	83	32
下	46.4	39.9	16	9.6	41	36.9
10・上	49	43.0	8	12.7	39	31.1
中	52	26.0	19	7.8	55	21.7
下	43	15.1	8	3.8	60	10.4
計	487.0	348.2	212.0	139.2	883.0	415.2

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均

要約：総誘殺数は、県予察ほ場、福部町で平年に比べてやや多く、八頭町では平年並であった。

b. チャハマキ

第19-2表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャハマキ					
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0.4	0	0.7	2	2
	13.6	0.4	39	14.6	35	6.6
	19.4	2.0	12	17.2	25	7.9
5・上	5.4	5.3	20	23.5	58	33.7
	13.6	3.9	8	13.5	29	37.1
	11	1.8	7	8.2	21	26.5
6・上	0	0.7	2	11.6	7	13
	0	0.2	5	4.9	0	5.8
	2	0.7	0	3.1	0	8.1
7・上	1	1.9	0	4	1	8.4
	1.5	1.5	12	5.2	6	11.4
	4.5	1.3	3	10.2	3	10.6
8・上	0.5	0.4	0	10.2	1	7.1
	2.5	0.6	2	6.9	1	7.1
	0.9	2.9	0	3.6	6	7.6
9・上	0.1	1.4	1	5.9	1	8.8
	0.3	1.1	5	6.2	4	20.9
	2.7	2.2	9	6.9	6	28.8
10・上	1	4.2	38	16.3	12	38.7
	25	7.0	74	11.9	60	21.9
	35	5.2	18	13.9	134	21.9
計	140.0	45.0	255.0	186.4	412.0	333.9

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均

要約：総誘殺数は、県予察ほ場で平年に比べて多く、八頭町、福部町ではやや多い。

c. ハマキムシ類による幼果の被害

第20表 地区予察ほ場における被害状況(6月上旬調査)

地点	6月		収穫期	
	調査果数	被害果率(%)	調査果数	被害果率(%)
八頭町	300	0.7	150	0

要約：6月調査で一部果実において被害が確認された。

(ク) コナカイガラムシ類

a. コナカイガラムシ類の越冬密度調査

第21表 県内定点ほ場における発生状況(1バンドあたり)

年次	県予察ほ場		巡回調査園(9園)	
	幼虫 <sup>1)</sup>	卵のう <sup>2)</sup>	幼虫	卵のう
本年	0	0	0	0
平年	0	0	0	0

(注) <sup>1)</sup>：マツモトコナカイガラムシ幼虫

<sup>2)</sup>：クワコナカイガラムシ卵のう

要約：バンド内にコナカイガラムシ類は確認されなかった。

b. クワコナカイガラムシ

第22表 県予察ほ場におけるふ化状況

区別	ふ化初日	50%ふ化日	ふ化終息日	50%ふ化日	
				平年比(日)	
百葉箱	越冬世代	月日 4.30 (4.29)	月日 5.5 (5.6)	月日 5.13 (5.18)	-1
	第1世代	- (7.1)	- (7.6)	- (7.16)	

(注) ( )内は平年・・・平成26～令和5年の平均

要約：越冬世代のふ化最盛期は平年並であった。

c. 収穫果実の被害

第23表 果実の被害状況

	被害果率(%)	
	県予察ほ場(6号)	八頭町
本年	0	0
平年	0	0

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均  
要約：被害は確認されなかった。

(ケ) ハダニ類

第24表 県予察ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

種類	年次別	県予察ほ場
1.クワオオハダニ卵 (短果枝あたり)	本年	0
	平年	0.0
2. カンザワハダニ (バンドあたり)	本年	2.2
	平年	0.1
3. ナミハダニ (バンドあたり)	本年	0
	平年	0.1

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均  
要約：カンザワハダニの越冬密度は、平年に比べて多く、クワオオハダニ、ナミハダニの越冬密度は、平年に比べて少なかった。

第25表 県内定点調査ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

調査地点	カンザワハダニ (バンドあたり)			ナミハダニ (バンドあたり)			クワオオハダニ (短果枝あたり)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
東部 鳥取市 佐治町 鳥取市 青谷町 八頭町 郡家	0	0	0	0	0	0	0.1	0.3	16.4
	0	0	0	0	0	0	0	0.2	2.7
	0	0	40.1	0	0	1.8	0	1.8	0.2
中部 倉吉市 中野 湯梨浜町 別所 北栄町 由良宿 琴浦町 竹ノ内	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0.2
	0	0	0.9	0	0	0.1	0	0	0.6
	2.2	0.7	0.1	0	0	0.1	0	0	0
西部 大山町 松河原 南部町 朝金 平均	0	0	8.3	0	0	0.1	0	0	0.1
	14	0	-	0	0	-	11.3	0	-
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均	1.8	0.1	6.2	0.0	0.0	0.3	1.3	0.3	2.5

(注) 平年・・・調査地点により調査年数が異なるため、平成26～令和5年の期間のうち3年以上（最大10年）の調査結果をもとに平年値を算出した。佐治町は令和3年度、大山町は令和4年度から調査地点変更した。  
要約：カンザワハダニ、クワオオハダニは平年並。ナミハダニは平年に比べて少なかった。

第26表 県予察ほ場におけるクワオオハダニ越冬卵のふ化状況

区別	ふ化 初日	50% ふ化日	ふ化 終息日	50%ふ化日 平年比
	百葉箱	- (4.13)	- (4.21)	- (4.30)

(注) ( )内は平年の月日。平年・・・平成23～令和3年の平均  
要約：本年度は越冬卵を採取できなかったため、調査を行わなかった。

第27表 県予察ほ場におけるハダニ類の発消長（1葉当たり雌個体数）

月・旬	カンザワハダニ		ナミハダニ		クワオオハダニ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0
6・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0.0	0	0	0	0
下	0	0	0	0.0	0	0
7・上	0	0	0	0.0	0	0
中	0.4	0.0	0	0	0	0
下	0.2	0	0	0.0	0	0
8・上	0	0.0	0	0.1	0	0
中	0	0.0	0	0.1	0	0
下	0	0.2	0	0.1	0	0
9・上	0.0	0.0	0	0.1	0.1	0
中	0.3	0.2	0	0.2	0.0	0.0
下	0.1	0.1	0	0.1	0.1	0
10・上	0.1	0.1	0	0.1	0.3	0
中	0.0	0.1	0	0.1	0.0	0
下	0	0.0	0	0.0	0	0

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均、3樹100葉調査

ダニ剤の散布履歴（7/4 ダニコングフロアブル、7/23 コロマイト乳剤、8/3 ダニゲッターフロアブル、8/10 ダニオーテフロアブル、8/24 スターマイトフロアブル）

要約：カンザワハダニ、クワオオハダニは平年並～やや多く推移し、ナミハダニは少なかった。

第28表 地区予察ほ場におけるハダニ類寄生葉率<sup>1)</sup>の推移

地区 月・旬	八頭町		
	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ
5・中	0(0)	0(0)	0(0)
6・中	0(0)	0(0)	0(0)
7・中	0(0)	0(0)	0(0)
8・中	0(0)	24.0(0.8)	0(0)
9・中	0(0)	0(0)	0(0)

(注) 1) 50葉当たり寄生葉率、( )内の数字は1葉当たり虫数

要約：カンザワハダニの発生が、8月中旬に確認された。

第29表 県内定点調査ほ場における発生状況（7月調査）

地区	寄生葉率 (%)						
	クワオオハダニ		カンザワハダニ		ナミハダニ		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
東部	鳥取市 佐治町	0	0	0	0	0	0
	鳥取市 青谷町	3.3	3.2	16.7	12	0	0
	八頭町 上峰寺	0	0.3	0	4.2	0	0.7
中部	倉吉市 中野	0	0	0	0	0	0.2
	湯梨浜町 別所	0	4.3	6.7	11.8	0	0.2
	北栄町 園試	0	0	6.7	0	0	0
西部	琴浦町 竹ノ内	0	5.0	0	3.8	0	0
	大山町 松河原	0	0	8.3	0	0	0
南部	南部町 朝金	3.3	0.2	8.3	1.7	0	0
平均		0.7	2.7	5.2	4.9	0.0	0.1

(注) 平年・・・調査地点により調査年数が異なるため、平成26～令和5年の期間のうち3年以上（最大10年）の調査結果をもとに平年値を算出した。佐治町は令和3年度、大山町は令和4年度から調査地点を変更した。

要約：[クワオオハダニ] 平年比：並  
 [カンザワハダニ] 平年比：並  
 [ナミハダニ] 平年比：少ない

(コ) ニセナシサビダニ

第30表 ニセナシサビダニの成若虫の葉当たり密度（県予察ほ場）

月・旬	本年	平年
5・上	183	4.0
中	250.8	27.6
下	622.2	195.7
6・上	999.2	585.5
中	723.6	682.1
下	688.6	861.4
7・上	493.6	1003.7
中	-	-

(注) 平年・・・平成30～令和5年の平均  
(殺ダニ剤無散布条件下)

要約：発生時期は平年に比べてやや早く、発生量は平年並であった。

(サ) カメムシ類

a. 種類別の誘殺個体数

第31表 誘殺されたカメムシの種類別個体数（3地区合計）

種類	本年	平年
チャバネアオカメムシ	52,691	9,629.5
クサギカメムシ	29,285	3,596.9
ツヤアオカメムシ	49,899	3,911.6
アオクサカメムシ	177	229.6

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均

要約：チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシは平年に比べて多く、アオクサカメムシは平年並であった。

第32表 予察灯による誘殺状況（チャバネアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	前年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0.5	0	2	0.1
下	7	2.2	2.5	0.8	17	3.3
5・上	532	4.5	21.8	3.9	261.6	9.2
中	223	59.2	88.2	7.0	506.4	36.5
下	859	50.1	483.9	9.2	43	66.4
6・上	40	48.2	140.1	13.6	-	49.2
中	400	38.9	1022	30.5	1199	43.4
下	706	146.8	1968	134.5	2698	104.7
7・上	2233	149.8	4107	165.3	4596	135.1
中	1583	78.5	2321	67.7	1462.7	106.1
下	2810	94.4	4594	116	2564.3	112.5
8・上	624	208.7	611.4	145.2	4742	184.7
中	1131	477.3	988.9	302.7	1230	252.9
下	234.6	1365.9	567.2	453.8	896	314.7
9・上	146.4	251.7	887.5	228.9	1357	273.9
中	150	230.2	462.8	345.6	731	197.3
下	15	106.2	131.6	83.9	63	91.2
10・上	12	37.2	23.6	13.7	22	50.8
中	23	1.8	51	4	52	2.2
下	0	0.4	32	0	14	0.6
合計	11729.0	3352.0	18505.0	1983.0	22457.0	2034.2

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均、湯梨浜町は令和5年度から、八頭町は令和3年度から調査地点を変更。  
表中の「-」は欠測。

要約：総誘殺数は、県予察ほ場、八頭町で平年に比べて多く、湯梨浜町で前年に比べて多かった。

第33表 予察灯による誘殺状況（クサギカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	前年
4・上	0	0	0	0	-	0.3
中	0	0	0	0	0	0.1
下	0	0	0	0	1	1.1
5・上	1	0.2	0.3	0	1.7	0.7
中	1	1.6	2.7	0	7.3	0.5
下	5	0.8	9	1	0	1.6
6・上	1	0.5	1.8	1.9	-	2.1
中	83	2.0	82.3	7.0	115	2.4
下	138	7.5	344	30.1	261	6.8
7・上	789	16.0	1835	56.6	1410	23.8
中	983.4	18.1	1831	56.7	730	25.0
下	1825.6	46.3	3199	147.6	3215	62.4
8・上	577	106.3	579	266.9	6096.6	131.6
中	321	111.6	607	635.8	1683.4	242.0
下	79.3	103.7	158.5	716.8	456	228.9
9・上	20.7	25.8	104.5	150.6	611	43.9
中	32	11.8	59.2	89.6	748	32.2
下	6	1.9	10.3	25.4	145	28.5
10・上	1	2.5	4.5	4.4	16	20.5
中	10	1.5	1	2.3	74	14.0
下	1	1.9	2	2	8	7.0
合計	4875.0	459.9	8831.0	2156.3	15579.0	875.3

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均、湯梨浜町は令和5年度から、八頭町は令和3年度から調査地点を変更。表中の「-」は欠測。要約：総誘殺数は、県予察ほ場、八頭町で平年に比べて多く、湯梨浜町で前年に比べて多かった。

第34表 予察灯による誘殺状況（ツヤアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	前年
4・上	0	0	0	0.3	-	0
中	0	0	0	0	0	0
下	6	0.1	0	0.2	0	0.1
5・上	51	1.5	0.8	0.3	14.6	0.8
中	89	15.4	8.2	0.3	56.4	5.3
下	176	33.9	64.6	0.4	41	14.2
6・上	268	38.0	51.9	2.0	-	46.2
中	4469	61.3	964.5	6.9	2010	53.1
下	4861	119.3	3473	11.6	4455	154.0
7・上	2674	122.8	2710	11.0	6840	151.9
中	2354.3	59.9	2320	17.7	2777.3	110.3
下	1836.7	97.2	1748	16.6	2094.7	102.7
8・上	93	157.0	204.6	44.9	1403.3	159.0
中	34	127.9	40.1	91.2	136.7	139.9
下	61.6	65.5	52.3	39	268	86.9
9・上	68.4	53.2	120	19.6	293	73.7
中	25	43.9	52.7	36.6	228	71.0
下	23	29.3	14.9	57.6	38	56.8
10・上	64	30.0	46.4	24.2	76	50.3
中	59	13.7	9	10.4	32	18.4
下	14	15.2	13	6.0	14	12.5
合計	17227.0	1085.2	11894.0	365.3	20778.0	1307.0

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均、湯梨浜町は令和5年度から、八頭町は令和3年度から調査地点を変更。表中の「-」は欠測。

要約：総誘殺数は、県予察ほ場、八頭町で平年に比べて多く、湯梨浜町で前年に比べて多かった。

第35表 予察灯による誘殺状況（アオクサカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	前年
4・上	0	0	0	0	-	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0.1	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0.1	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0
6・上	0	0.7	0	0	-	0.1
中	0	0.6	0	0	0	0.1
下	2	1.9	0	0.4	0	0.3
7・上	1	3.7	5	3.9	1	0.4
中	1	11.8	0	26.7	0	1.5
下	7	28.0	0	32.4	2	0.6
8・上	12	21.2	0	32.5	0	0.3
中	99	14.9	4	39.5	0	0.6
下	8	15.3	0	33.3	4	0.2
9・上	13	7.3	0	20.6	0	0.4
中	9	4.3	0	22.6	0	0.3
下	8	1.1	0	2.4	0	0.3
10・上	0	0.1	0	12.2	0	0
中	1	0.3	0	10.5	0	0
下	0	0	0	0	0	0
合計	161.0	111.4	9.0	228.7	7.0	5.2

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均、湯梨浜町は令和5年度から、八頭町は令和3年度から調査地点を変更。  
表中の「-」は欠測。

要約：総誘殺数は、県予察ほ場で平年並、八頭町で平年に比べて少なく、湯梨浜町で前年並であった。

第36表 合成集合フェロモントラップ<sup>1)</sup>による誘殺状況

月・旬	県予察ほ場				河原町小倉			
	チャバネオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアカメムシ	マルホシヒラタヤドリバ	チャバネオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアカメムシ	マルホシヒラタヤドリバ
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	9.4	1	0	0	1.5	0.8	0	0.8
下	8.6	3	1	7	7.5	4.2	0	4.2
5・上	112.8	14.7	4	22.8	27.9	2.3	3.4	114.7
中	51.2	7.3	4	12.2	129.1	2.7	14.6	36.3
下	189.3	11.7	23.7	36.8	462	1.6	52.9	47.7
6・上	87.7	11.3	35.3	23.2	1026.8	30.4	187.4	13.3
中	89	17	19	1	3260.3	30	135.8	15
下	135	4	9	19	1884	5	9	28
7・上	533	63	39	5	10149	36	24	22
中	496.8	16.2	56.7	0.8	9356	53	37	0
下	1095.2	60.8	62.3	0.2	15599	105	80	0
8・上	428.5	10.5	7.5	0.5	5409	131.4	75	3
中	76.5	2.5	3.5	3.5	917.7	9.9	10	6
下	51.1	0	10	8.4	518.8	0.7	15.5	5.5
9・上	22.9	1	4	2.6	495.5	1	33.5	16.5
中	18	0	2	2	171.7	0.5	60.8	5.9
下	0	0	1	0	38.3	4.3	13.9	9.2
10・上	3	2	5	8	50	4.2	7.3	20.9
中	9	0	6	5	45	2	0	33
下	1	0	1	0	12	0	0	20
合計	3418.0	226.0	294.0	158.0	49561.0	425.0	760.0	402.0

(注) <sup>1)</sup> ルアーはチャバネオカメムシ用誘引剤、水盤式トラップ

要約：チャバネオカメムシの誘殺数は、県予察ほ場、河原町で5月上旬から増加し、7月上旬～8月上旬に多い状況が続き、ピークは7月下旬であった。

第37表 クサギカメムシの越冬調査

地点	個体数/1トラップ						平均
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
佐治町	5.5	9	1.5	8	24	10.5	8
河原町	24.5	8	13.5	8.5	50.5	3	22.3
八頭町	8.5	3	4	4.5	35	1	9.2
湯梨浜町	11	7.5	15	3.5	49	5.5	12.8
関金町	0.5	1	0.5	0.5	2.5	1	1.3
倉吉市	10.5	12.5	24	8.5	39	9	21.8
北栄町	0.5	1	0.5	0	9.5	1	1.9
琴浦町	8	7	30	8.5	35	7	15.1
大山町	0.5	3	9.5	1	9.5	4.5	4.4
南部町	2	0.5	0	0.5	9	1.5	3.8
平均	7.2	5.3	9.9	4.4	26.3	4.4	9.9

注) 表中の数字はトラップ当たりの成虫の捕獲数。  
要約: 捕獲数は平年に比べてやや少なかった。

b. 果実の被害調査

第38表 地区予察ほ場における被害状況

月・旬	八頭町(新興)		
	調査果数	被害果率(%)	
		本年	平年
5・中	50	6.0	0.4
7・下	50	4.0	1.1

(注) 調査時期: 八頭町池田・・・5月15日、7月20日

平年・・・平成26～令和5年の平均

要約: 被害は平年に比べて5月中旬で多く、7月下旬でやや多かった。

第39表 定点調査ほ場における被害状況(7月30日調査)

調査地点	品種	被害果率(%)		
		本年	前年	平年
鳥取市	豊水	3.0	0	0.1
倉吉市	幸水	3.0	0	0.1
北栄町	幸水	0	0	0
平均		2.0	0	0.1

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均

北栄町は、200果/園の露地無袋果実(幸水・豊水等)における調査

要約: 被害は平年に比べて多かった。

(シ) アブラムシ類

第40表 県予察ほ場におけるアブラムシ類の寄生新梢率の推移

		寄生新梢率(%)					
		ワタアブラムシ		モモアカアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月	5半旬	6.3	0.6	0	0	6.3	0.1
	6半旬	16.7	2.7	0	0.6	10.0	0.8
5月	1半旬	12.8	5.0	0	1.5	2.6	5.7
	2半旬	2.4	6.4	2.4	1.3	2.4	8.3
	3半旬	1.5	7.6	0	1.0	0	10.4
	4半旬	1.2	9.8	0	1.2	0	18.7
	5半旬	2.2	17.2	0	0.6	1.1	25.6
	6半旬	-	21.5	-	0.1	-	32.6
6月	1半旬	1.0	22.1	0	0.2	8.2	31.0
	2半旬	7.0	19.0	0	0	20.0	31.4
	3半旬	12.0	11.2	0	0	26.0	23.0
	4半旬	7.8	9.7	0	0	22.5	20.9
	5半旬	7.9	4.7	0	0	15.3	10.6
	6半旬	8.3	2.0	0	0	15.5	4.3
7月	1半旬	3.7	2.2	0	0	7.3	2.6
	2半旬	0	0.7	0	0	0	0.6
	3半旬	-	0	-	0	-	0
	4半旬	-	-	-	-	-	-
	5半旬	-	-	-	-	-	-
	6半旬	-	-	-	-	-	-

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均、殺虫剤無散布の条件下。

要約: 発生時期は平年に比べてやや早く、発生量はワタアブラムシ、モモアカアブラムシは平年並であった。  
ユキヤナギアブラムシはやや少なかった。

第41表 県内定点調査ほ場における発生状況（5月調査）

地 区	寄生新梢率（％）								
	ワタアブラムシ（黒）		ワタアブラムシ（緑）		モモアカアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
東部	鳥取市 佐治町	0	0	0	0	0	0	0	1.2
	青谷町	0	1.4	0	0	0	0	0	2.7
	八頭町 上峰寺	0	2.0	0	0	0	2.0	10	5.4
中部	倉吉市 中野	*	0.4	*	0	*	0.4	*	0
	湯梨浜町 別所	0	0	0	0	3.3	0.7	3.3	0
	北栄町 園試	3.3	0	0	0	0	0	0	1.4
	琴浦町 竹ノ内	3.3	3.0	0	0	0	0.7	0	1.7
西部	大山町 松河原	0	**	0	**	0	**	0	**
	南部町 朝金	0	4.0	0	0	0	0	0	0.7
平均		0.8	1.5	0.0	0.0	0.4	0.5	1.7	1.6

（注）平年・・・調査地点により調査年数が異なるため、平成26～令和5年の期間のうち3年以上（最大10年）の調査結果をもとに平年値を算出した。佐治町は令和3年度、大山町は令和4年度から調査地点変更した。

\*：令和6年倉吉市地点変更。

\*\*：令和4年大山町調査地点変更。

要約：発生量はワタアブラムシ、ユキヤナギアブラムシで平年並。モモアカアブラムシは平年並であった。

## イ. ブドウ

### （ア）生育状況

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場砂丘地農業研究センター）

作型・品種	年次	萌芽期	展葉期	開 花 期			着色期	成 熟 期	落 葉 期
				始め	満開	終り			
無加温ハウス デラウエア	本年	3.3	3.10	4.03	4.08	4.13	5.23	6.25～7.02	11.10
	前年	3.5	3.22	4.13	4.18	4.23	6.5	7.5～7.11	11.10
	平年	3.13	3.24	4.30	5.05	5.08	6.10	7.16～7.20	11.11
巨 峰	本年	3.3	3.10	4.22	4.26	5.7	6.17	7.20～8.09	11.10
	前年	3.5	3.22	4.22	4.27	5.2	6.25	7.20～8.12	11.10
	平年	3.15	3.28	5.07	5.14	5.18	6.27	7.22～8.14	11.15
ピオーネ	本年	3.3	3.10	4.22	4.26	5.7	6.17	7.20～8.09	11.10
	前年	3.5	3.22	4.22	4.27	5.2	6.25	7.20～8.12	11.10
	平年	3.16	3.29	5.08	5.15	5.19	6.28	8.03～8.15	11.16

（注）平年・・・平成25～令和5年の平均

要約（無加温ハウス）

- ・春先の平均気温が平年に比べて高めに推移し、萌芽時期が平年に比べ10日程度早まった。
- ・この生育の進みは、開花期、成熟期まで影響した。
- ・着色期の6月の気温が低めであり、すべての品種の着色は良好であった。
- ・病気の発生は全体的に少なかった。
- ・虫害においてはハマキムシ類、果実吸蛾類の発生がやや多く、特にカメムシ類の発生が全体的に多かった。

### （イ）晩腐病・灰色かび病など

第2表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘農業研究センター）

病害名	調査月日	品種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
晩腐病	8月4日	巨峰	1樹	30房	0	0%	0%
灰色かび病	5月8日	巨峰	1樹	30房	0	0%	0%
白腐病	8月4日	巨峰	1樹	30房	0	0%	0%

要約： 晩腐病、灰色かび病、白腐病の発生は見られなかった。

(ウ) チャノキイロアザミウマ

第3表 粘着トラップ「黄色平板」によるチャノキイロアザミウマの誘殺消長  
(砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0
中	0	0.1	0	0
下	0	0.2	0	0
5・上	0	0.0	0	0
中	0	0.1	0	0
下	0	0.4	0	2.2
6・上	0	0.5	0	0.7
中	0	0.8	2	0.7
下	0	5.1	0	1.5
7・上	0	8.5	0	8.4
中	1	28.9	6	36.6
下	19	50.9	0	187.8
8・上	1	109.5	13	132.6
中	5	110.6	104	91.3
下	5	77.0	109	98.9
9・上	8	51.5	50	80.7
中	13	31.1	40	44.2
下	2	27.7	12	21.3
10・上	1	6.7	6	3.7
中	0	0.4	4	0.7
下	0	0.3	0	0.0
合計	55	510.3	346	711.3

(注) 平年・・・平成25～令和5年の平均  
要約：露地の発生量は平年に比べて少なく、7月下旬、9月中旬に発生量が増加した。無加温ハウスの発生量は平年に比べてやや少なかった。8月中旬から8月下旬にピークが見られた。

(エ) チャノコカクモンハマキ

第4表 フェロモントラップによるチャノコカクモンハマキの誘殺消長  
(砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	1	11.0	0	0.2
中	43	39.1	0	2.4
下	153	50.0	1	3.8
5・上	52	61.2	1	3.5
中	57	29.9	0	1.4
下	8	6.8	0	0.0
6・上	4	3.2	0	0.1
中	93	34.4	4	1.3
下	86	47.9	11	5.2
7・上	64	25.9	6	3.2
中	20	12.4	3	1.6
下	53	36.2	12	9.8
8・上	46	44.5	8	13.3
中	48	19.2	5	3.8
下	14	15.3	4	4.1
9・上	25	32.1	7	8.4
中	79	70.9	29	15.2
下	40	88.8	13	22.2
10・上	43	65.2	17	22.3
中	78	37.7	30	16.5
下	112	17.0	39	8.7
11・上	47	16.3	45	11.2
中	22	3.6	15	3.4
下	1	3.7	1	2.1
合計	1,189	772.3	251	163.7

(注) 平年・・・平成25～令和5年の平均  
要約：露地、無加温ハウスの発生量は平年に比べてやや多かった。露地では、4月～11月にかけて、無加温では6月～11月にかけて発生量が増加した。露地では、4月下旬、7月下旬、8月上旬、9月中旬、10月下旬にピークが見られた。無加温では、6月下旬、7月下旬、9月中旬、11月上旬にピークが見られた。

第5表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘地農業研究センター）

虫害名	調査月日	品 種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
ハマキムシ類	8月4日	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害はなかった。

(オ) 果実吸蛾類

第6表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘地農業研究センター）

虫害名	調査月日	品 種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
果実吸蛾類	8月4日	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害はなかった。

ウ. カキ

(ア) 生育状況（品種：富有）

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場）

調 査 項 目	本 年	平 年
萌 芽 期	未調査	未調査
発 芽 期	3. 27	未調査
展 葉 期	4. 11	4. 05
開 花 初 期	5. 23	未調査
最 盛 期	5. 25	5. 26
終 期	5. 29	未調査
新梢發育停 止 期	5. 20	未調査
果実の着色 始 め	9. 30	未調査
落 葉 期	12. 10	12. 06

(注) 平年・・・展葉期、落葉期は令和2～5年の平均  
開花最盛期は平成30年～令和5年の平均

要約：展葉期は平年より6日遅く、開花最盛期は平年より1日早かったが、着色始めは前年より2日遅く、その後の着色の進行も遅かった。

初期肥大は良好であったものの、果実の10日間肥大量は平年を下回る生育で推移し、特に9月中～下旬の肥大の落ち込みが大きく、平年よりもやや小玉の年となった。へたすきは少なかった。

春季に強風があったものの、灰色かび病の発生は目立たなかった。生育期を通してカメムシ類が多発し、特に7月中旬～8月にかけての落果被害が目立ち、8月の被害果率は約2～3割であった。また、8月中旬～10月にかけてハスモンヨトウの食害が目立った。

(イ) カキノヘタムシガ

第2表 県予察ほ場における予察灯による誘殺状況

月・旬	カキノヘタムシガ	
	本年	前年
5・上	0	0
中	0	0
下	0	0
6・上	0	0
中	0	0
下	0	0
7・上	0	0
中	0	0
下	0	0
8・上	0	0
中	0	0
下	0	0
9・上	0	0
中	0	0
下	0	0
10・上	-	-
中	-	-
下	-	-
合計	0	0

(注) 平年・・・平成26～令和5年の平均

令和5年より調査開始。

－は欠測を表す。

要約：カキノヘタムシガの誘殺数は前年並であった。

## (ウ) ヒメコスカシバ

第3表 県予察ほ場における誘殺消長

月・旬	ヒメコスカシバ	
	本年	平年
4・上	0	0.0
中	0	0.0
下	0	0.0
5・上	0	0.0
中	0	0.0
下	0	0.0
6・上	0	0.0
中	0	0.0
下	0	0.0
7・上	0	0.0
中	0	0.0
下	0	0.0
8・上	0	0.0
中	0	0.1
下	0	0.8
9・上	0	1.1
中	0	0.0
下	0	0.1
10・上	0	0.9
中	0	0.0
下	0	0.0
合計	0	3.0

(注) 平年・・・平成28～令和5年の平均

要約：ヒメコスカシバの誘殺数は平年に比べて  
少なかった。

## (エ) アワフキ類

第4表 予察灯による成虫の誘殺状況

月・半旬	コガシラアワフキ		モンキアワフキ	
	本年	前年	本年	前年
5・上	0	0	0	0
中	0	0	0	0
下	0	0	0	0
6・上	0	0	0	0
中	0	0	0	0
下	0	0	0	0
7・上	0	0	0	0
中	0	0	0	0
下	0	0	0	0
8・上	0	0	0	0
中	0	0	0	0
下	0	0	0	0
9・上	0	0	0	0
中	0	0	0	0
下	0	0	0	0
10・上	0	0	0	0
中	0	0	0	0
下	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

(注) 令和5年から調査開始

要約：アワフキ類の誘殺数は前年並であった。

## 8 野菜病害虫の発生予察調査結果

### (1) 主な野菜病害虫の発程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
スイカ	372	つる枯病	0	0	1	45	46	12.4
		炭疽病	0	0	2	54	56	15.1
		疫病・褐色腐敗病	0	0	0	13	13	3.5
		うどんこ病	0	0	0	6	6	1.6
		菌核病	0	0	0	7	7	1.9
		アブラムシ類	0	0	70	176	246	66.1
		ハダニ類	0	0	0	106	106	28.5
キャベツ	93	黒腐病	0	0	0	17	17	18.3
		菌核病	0	0	0	6	6	6.5
		べと病	0	0	0	7	7	7.5
		軟腐病	0	0	0	16	16	17.2
		モンシロチョウ	0	0	0	21	21	22.6
		コナガ	0	0	0	35	35	37.6
		ヨトウガ	0	0	0	21	21	22.6
		ハスモンヨトウ	0	18	36	27	81	87.1
		シロイチモジヨトウ	0	0	9	15	24	25.8
		アブラムシ類	0	0	0	16	16	17.2
		ハイマダラノメイガ	0	0	0	19	19	20.4
ブロッコリー	780	軟腐病	0	0	0	70	96	12.3
		べと病	0	0	0	16	16	2.1
		黒腐病	0	0	0	18	18	2.3
		黒すす病	0	0	0	71	71	9.1
		コナガ	0	0	0	320	320	41.0
		ハスモンヨトウ	20	82	164	348	614	78.7
		ハイマダラノメイガ	0	0	0	325	325	41.7
夏ネギ	164	さび病	0	0	0	82	82	50.0
		黒斑病	0	0	0	51	51	31.1
		萎縮病	0	0	0	2	2	1.2
		べと病	0	3	22	101	126	76.8
		軟腐病	0	0	26	35	61	37.2
		ネギハモグリバエ	0	7	16	46	69	42.1
		ネギアザミウマ	31	47	52	26	156	95.1

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
秋冬ネギ	305	さび病	0	0	0	9	9	3.0
		黒斑病	0	0	0	80	80	26.2
		萎縮病	0	0	0	2	2	0.7
		萎凋病	0	5	12	64	81	26.6
		べと病	0	0	2	8	10	3.3
		軟腐病	0	4	11	18	33	10.8
		アブラムシ類	0	0	0	3	3	1.0
		ネギハモグリバエ	0	0	64	180	244	80.0
		ネギアザミウマ	65	101	72	58	296	97.0
		ネギコガ	0	0	0	40	40	13.1
		シロイチモジヨトウ	0	29	58	90	177	58.0
		ハスモンヨトウ	0	0	0	29	29	9.5
イチゴ	21	灰色かび病	0	0	2	14	16	76.2
		うどんこ病	0	0	0	10	10	47.6
		炭疽病	0	0	0	11	11	52.4
		アブラムシ類	0	0	2	11	13	61.9
		ハダニ類	0	0	1	4	5	23.8
		ハスモンヨトウ	0	0	0	4	4	19.0
ナガイモ	47	炭疽病	0	0	0	16	16	34.0
		ナガイモコガ	0	0	0	13	13	27.7
		ハダニ類	0	0	0	9	9	19.1
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	3	3	6.4
ラッキョウ	173	白色疫病	0	0	0	18	18	10.4
		灰色かび病	0	0	0	42	42	24.3
		ネギハモグリバエ	0	0	0	135	135	78.0
		ネギアザミウマ	0	0	15	139	154	89.0

作付面積は、農林水産省統計情報、令和5年産野菜生産出荷統計（令和6年12月23日確報）より

ラッキョウは令和2年産地域特別野菜生産状況（令和4年7月13日公表）を参照

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. スイカ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
つる枯病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月上旬からトンネル内の水滴が当たりやすいつる先から発生し、一部ほ場で発生が多かったが、最終の発生量は平年並であった。	5～6月の降水量が平年と比べて多く、発生を助長する気象条件となった。7月は降水量が増加し、発病を助長する気象条件となったが、防除が徹底された。
疫病・褐色腐敗病 (やや多い)	5月、6月は発生が認められなかったが、6月下旬の豪雨後、発生量が増加した。	6月下旬の豪雨により果実が水に浸かったほ場が多く、発生が助長された。
炭疽病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月上旬からトンネル内の水滴が当たりやすいつる先から発生し、一部ほ場で発生が多かったが、最終の発生量は平年並であった。	5～6月の降水量が平年と比べて多く、発生を助長する気象条件となった。7月は降水量が増加し、発病を助長する気象条件となったが、防除が徹底された。
うどんこ病 (平年並)	発生時期は平年並で、6月下旬以降に発生が一部ほ場で確認されたが、最終の発生量は平年並であった。	5月の降水量が平年と比べて多く、発生を抑制する気象条件となった。また定期防除の徹底により、発生が抑制された。
菌核病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	4月の平均気温が平年と比べて高く、発生を抑制する気象条件となった。また定期防除の徹底により、発生が抑制された。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの誘殺数は、6月下旬以降発生量が増加し、7月中旬にかけて発生量はやや多くなった。その後の発生量は平年並であった。ほ場での発生量、発生時期ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

イ. キャベツ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒腐病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	9月の気温が高く、降雨が少なかったことから、発病に好適な気象条件にならなかった。
菌核病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	8～9月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
軟腐病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	9月の気温が高く、降雨が少なかったことから、発病に好適な気象条件にならなかった。
べと病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	育苗期の防除が徹底された。9月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。
黒斑細菌病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップへの誘殺数は、6月下旬以降増加し、7月中旬にかけて発生量はやや多くなった。その後の発生量は平年並であった。ほ場での発生量、発生時期ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。ほ場での発生時期・発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ヨトウガ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、ヨトウガ、シロイチモジヨトウの誘殺数は平年並で、ハスモンヨトウの誘殺数はやや多かった。8月下旬までの誘殺の推移は平年並であったが、9月以降に誘殺数が増加した。ほ場での発生時期は平年並で、発生量はやや多かった。	8～10月の気温が高かったことが、発生の助長要因となった。発生の多かったほ場では定期防除に加え追加防除が実施された。9月5日にハスモンヨトウを対象として発生予察指導情報を発令した。その後、防除が徹底された。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハイマダラノメイガ (やや多い)	発生時期は平年並であり、発生量はやや多かった。	8月の気温が高かったことが発生の助長要因となった。8月27日に発生予察指導情報を発令した。その後、防除が徹底された。

#### ウ. ブロココリー

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
軟腐病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
黒腐病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
べと病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	育苗期の防除が徹底された。9月、10月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒すす病 (平年並)	本ぼでの発生時期は平年並である。本ぼでは、9月以降発生がみられ、10月下旬の発生量は平年並となった。	定期防除に加え、降雨後の追加防除が実施され、発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの誘殺数は、6月下旬以降発生量が増加し、7月中旬にかけて発生量はやや多くなった。その後の発生量は平年並であった。ほ場での発生量、発生時期ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ヨトウガ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、ヨトウガ、シロイチモジヨトウの誘殺数は平年並で、ハスモンヨトウの誘殺数はやや多かった。8月下旬までの誘殺の推移は平年並であったが、9月以降に誘殺数が増加した。ほ場での発生時期は平年並で、発生量はやや多かった。	8～10月の気温が高かったことが、発生の助長要因となった。発生の多かったほ場では定期防除に加え追加防除が実施された。9月5日にハスモンヨトウを対象として発生予察指導情報を発令した。その後、防除が徹底された。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

## エ. ネギ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
さび病 (平年並)	春：発生時期、発生量ともに平年並となった。 秋：発生時期、発生量ともに平年並となった。	4月の気温が高く、発病に好適条件となったが、定期防除が徹底された。その後は気温が高く推移し、発病に好適条件とならなかった。
黒斑病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
萎縮病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
軟腐病 (平年並)	8月下旬以降発病が増加したものの、発生時期は平年並、発生量は平年並であった。	7月の高温と降雨により発生が助長され、多発するほ場が散見された。
べと病 (平年並～やや多い)	春：発生時期は平年並、5月の発生量はやや多かった。 秋：発生は認められていない。	4月～5月の気温が高く、発病に好適な条件であったため、多発するほ場が散見された。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
白絹病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	7月の高温と降雨により、発病に好適な条件であったが、防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
萎凋病 (やや多い)	発生時期は平年並で、一部のほ場で発生したものの、全体での発生量はやや多かった。	7月の高温と降雨から、発生が助長される気象条件であった。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップへの誘殺数は、6月下旬以降増加し、7月中旬にかけて発生量はやや多くなった。その後の発生量は平年並であった。ほ場での発生量、発生時期ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ネギハモグリバエ (平年並)	発生時期は平年並であり、発生量は平年並で推移したが、9月以降発生量が増加した。	9～10月の気温が高かったことが、発生の助長要因となった。
ネギアザミウマ (やや多い)	黄色粘着板トラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。ほ場での発生時期は平年並で、発生量はやや多かった。	9～10月の気温が高かったことが、発生の助長要因となった。
シロイチモジヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、シロイチモジヨトウの誘殺数は平年並であった。ほ場での発生時期はやや早く、発生量は平年並であった。	9～10月の気温が高かったことが、発生の助長要因となったが、防除が徹底された。
ネギコガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、ハスモンヨトウの誘殺数はやや多かった。8月下旬までの誘殺の推移は平年並であったが、9月以降に誘殺数が増加した。ほ場での発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

## オ. イチゴ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
灰色かび病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	本ばにおける防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
炭疽病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	育苗期における防除の徹底により、苗床での発生の増加が抑えられた。
うどんこ病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	育苗期や本ばにおける防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの誘殺数は、6月下旬以降増加し、7月中旬にかけて発生量はやや多くなった。その後の発生量は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量ともに平年並であった。	3～4月の気温が高かったことが、発生の助長要因となったが、防除が徹底された。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、ハスモンヨトウの誘殺数はやや多かった。8月下旬までの誘殺の推移は平年並であったが、9月以降に誘殺数が増加した。ほ場での幼虫の発生時期・発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

#### カ. ナガイモ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 (平年並)	8月下旬頃から発生し、その後発生量が増加した。9月下旬の発生量は平年並である。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ナガイモコガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は平年並で推移した。ほ場での発生時期・発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
シロイチモジヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、シロイチモジヨトウの誘殺数は平年並であった。ほ場での幼虫の発生時期、発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

#### キ. ラッキョウ (令和6年産)

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
白色疫病 (平年並)	2月以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	12～1月の降雪量が多く、2月は曇雨天が多かったことから、発病を助長する気象条件であったが、定期防除が徹底された。
灰色かび病 (平年並)	4月中旬以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	3月の気温が高く、ラッキョウ地上部が繁茂したため、発病を助長する要因となった。定期防除が徹底された。
ネギハモグリバエ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
ネギアザミウマ (平年並)	黄色粘着板トラップ調査の結果、誘殺数は平年並であった。ほ場での発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除の徹底により発生の増加が抑えられた。

(3) 調査の概要と結果

ア. スイカ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 黄色水盤によるアブラムシ類の誘殺数

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
4.1	10.0	6.1	48.6	8.1	1.1	10.1	21.6
4.2	14.4	6.2	36.4	8.2	0.9	10.2	16.4
4.3	14.3	6.3	72.3	8.3	0.0	10.3	12.1
4.4	12.2	6.4	96.3	8.4	5.0	10.4	4.9
4.5	11.4	6.5	277.1	8.5	5.4	10.5	1.1
4.6	15.0	6.6	193.6	8.6	4.6	10.6	6.9
5.1	8.7	7.1	132.4	9.1	0.0		
5.2	4.9	7.2	110.7	9.2	0.8		
5.3	1.4	7.3	122.1	9.3	0.2		
5.4	6.3	7.4	75.9	9.4	4.8		
5.5	9.4	7.5	2.1	9.5	11.9		
5.6	30.8	7.6	0.0	9.6	22.4		

b. 一般ほ場における調査

第2表 巡回調査ほ場の概要

作型	定植期	開花期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
ビニールハウス	3月上旬	4月下旬	6月中旬 ~下旬	東伯郡北栄町大谷	2
				〃 高千穂	1
				〃 六尾	1
				〃 青木	1
大型トンネル	3月下旬	5月上旬	6月下旬 ~7月上旬	東伯郡北栄町由良宿	2
				〃 大谷	2
				〃 高千穂	1
				倉吉市横田	2

第3表 巡回調査ほ場における発病調査（菌核病、つる枯病、炭疽病）

作型	地区	調査月日	調査ほ場数	菌核病					つる枯病					炭疽病				
				程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
ビニールハウス	北栄	3.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
		4.11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
		5.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5.31	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6.28	5	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	倉吉	5.2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5.31	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6.28	2	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	5.2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5.31	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6.28	7	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第4表 巡回調査ほ場における発病調査（うどんこ病、疫病・褐色腐敗病、モザイク病）

作型	地区	調査月日	調査ほ場数	うどんこ病					疫病・褐色腐敗病					モザイク病				
				程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
ビニールハウス	北栄	3.25	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		4.11	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		5.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
トンネル	北栄	5.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		5.31	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		6.28	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	倉吉	5.2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		5.31	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		6.28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	5.2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		5.31	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		6.28	7	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第5表 巡回調査ほ場における発病調査（アブラムシ類、ハダニ類）

作型	地区	調査月日	調査ほ場数	アブラムシ類					ハダニ類						
				程度別ほ場数					程度別ほ場数						
				甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計		
ビニールハウス	北栄	3.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4.11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5.31	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		6.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	倉吉	5.2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5.31	2	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0
		6.28	2	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	合計	5.2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		5.31	7	0	0	0	3	3	0	0	0	2	2	0	0
		6.28	7	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0

イ. キャベツ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

コナガ						ヨトウガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	3.4	7.1	1.1	9.1	0.7	5.1	5.6	7.1	1.1	9.1	0.0
5.2	5.0	7.2	0.0	9.2	0.0	5.2	4.3	7.2	0.0	9.2	0.0
5.3	7.1	7.3	1.1	9.3	5.7	5.3	2.1	7.3	0.6	9.3	0.0
5.4	33.8	7.4	0.9	9.4	4.3	5.4	3.1	7.4	0.4	9.4	0.8
5.5	25.3	7.5	0.0	9.5	0.0	5.5	2.2	7.5	0.0	9.5	1.9
5.6	23.1	7.6	0.0	9.6	0.6	5.6	1.5	7.6	0.0	9.6	0.9
6.1	32.9	8.1	1.7	10.1	0.7	6.1	2.1	8.1	0.0	10.1	0.7
6.2	5.0	8.2	2.7	10.2	0.7	6.2	0.0	8.2	0.0	10.2	0.7
6.3	3.5	8.3	3.6	10.3	0.0	6.3	0.0	8.3	0.0	10.3	0.7
6.4	2.5	8.4	0.0	10.4	1.7	6.4	0.0	8.4	0.7	10.4	1.1
6.5	2.9	8.5	0.0	10.5	2.7	6.5	1.4	8.5	0.3	10.5	1.3
6.6	2.0	8.6	0.3	10.6	2.6	6.6	1.4	8.6	0.0	10.6	0.9

第2表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

カブラヤガ						タマナヤガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	21.0	7.1	16.6	9.1	0.0	5.1	0.8	7.1	0.3	9.1	0.3
5.2	21.3	7.2	11.4	9.2	0.0	5.2	2.1	7.2	0.3	9.2	0.3
5.3	15.7	7.3	15.4	9.3	4.6	5.3	0.9	7.3	0.7	9.3	0.6
5.4	7.5	7.4	12.4	9.4	6.7	5.4	0.0	7.4	0.0	9.4	0.1
5.5	9.8	7.5	6.4	9.5	8.1	5.5	0.0	7.5	0.0	9.5	0.0
5.6	11.8	7.6	2.6	9.6	3.9	5.6	2.5	7.6	0.6	9.6	0.0
6.1	2.9	8.1	0.4	10.1	1.7	6.1	1.5	8.1	2.2	10.1	0.0
6.2	2.5	8.2	0.0	10.2	0.0	6.2	0.0	8.2	4.4	10.2	0.0
6.3	2.5	8.3	0.0	10.3	2.1	6.3	0.0	8.3	1.8	10.3	0.0
6.4	12.0	8.4	0.0	10.4	2.1	6.4	0.0	8.4	2.0	10.4	0.0
6.5	7.9	8.5	0.4	10.5	1.7	6.5	0.3	8.5	5.0	10.5	0.0
6.6	13.9	8.6	0.6	10.6	0.0	6.6	1.4	8.6	1.7	10.6	0.0

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

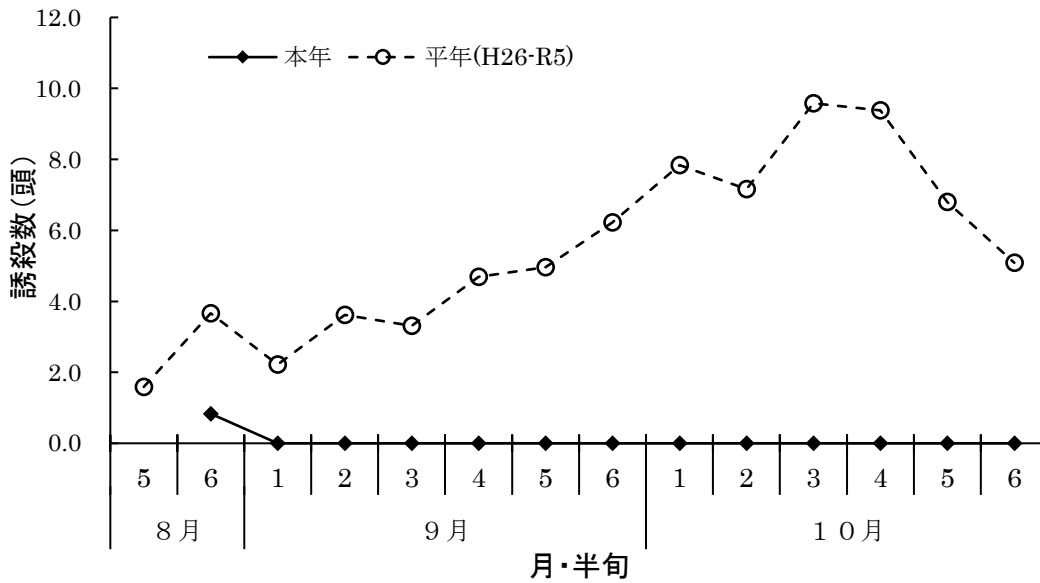
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
7月上旬 ～7月下旬	8月上旬 ～9月上旬	10月上旬 ～12月	倉吉市横田	2
			東伯郡北栄町高千穂	1
			〃 此山	2

第4表 フェロモントラップの設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
倉吉市下米積 (病害虫発生状況調査ほ)	8月21日～ 10月31日	コナガ	SEトラップ

第5表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

倉吉市下米積			
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
8.5	-	9.6	0
8.6	0.8	10.1	0
9.1	0	10.2	0
9.2	0	10.3	0
9.3	0	10.4	0
9.4	0	10.5	0
9.5	0	10.6	0



第1図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長（倉吉市下米積）

第6表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、菌核病、べと病）

地区	調査月日	調査ほ場数	黒腐病					菌核病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
北栄	8.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.21	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、黒斑細菌病）

地区	調査月日	調査ほ場数	軟腐病					黒斑細菌病					
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	
北栄	8.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.21	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）

地区	調査月日	調査ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ							
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数							
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計			
北栄	8.21	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
	9.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	10.29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	1	2	
倉吉	8.21	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	9.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10.29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	8.21	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
	9.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	
	10.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	1	2	

第9表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ類、タマナギンウワバ、ハイマダラノメイガ）

地区	調査月日	調査ほ場数	アブラムシ類					タマナギンウワバ					ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
北栄	8.21	3	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	9.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.21	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	9.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.21	5	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1
	9.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ. ブロッコリー

第1表 定点調査ほ場の概要

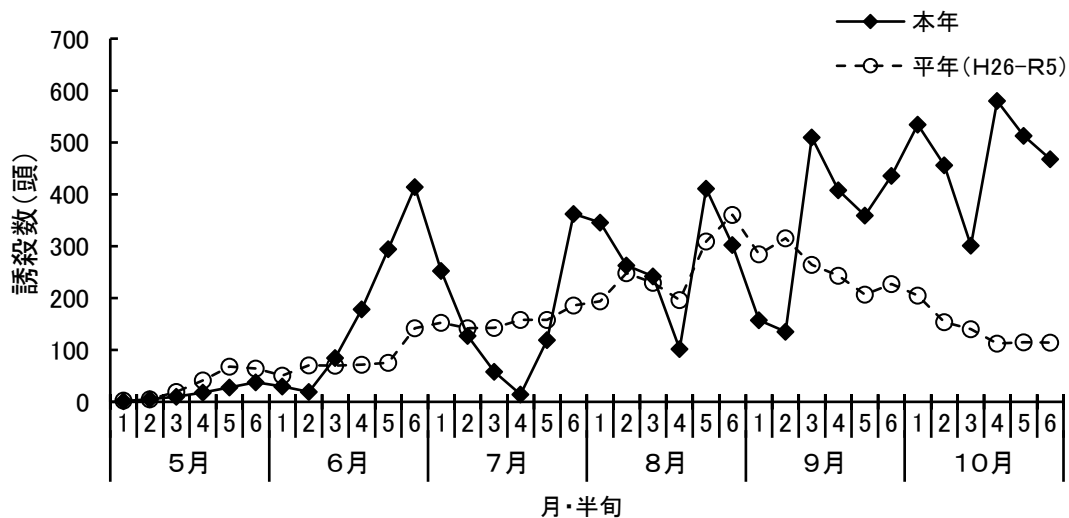
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
3月上旬 ～3月下旬	4月上旬 ～4月下旬	6月上旬 ～6月下旬	東伯郡琴浦町高野 " 杉下 西伯郡大山町下甲	2 1 4
7月上旬 ～8月下旬	8月上旬 ～9月下旬	10月上旬 ～12月	東伯郡北栄町高千穂 " 大谷 西伯郡大山町下甲	1 2 4

第2表 フェロモントラップの設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
西伯郡大山町下甲 (病害虫発生状況調査ほ)	5月1日～ 10月31日	ハスモンヨトウ	ファネルトラップ
		コナガ	SEトラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

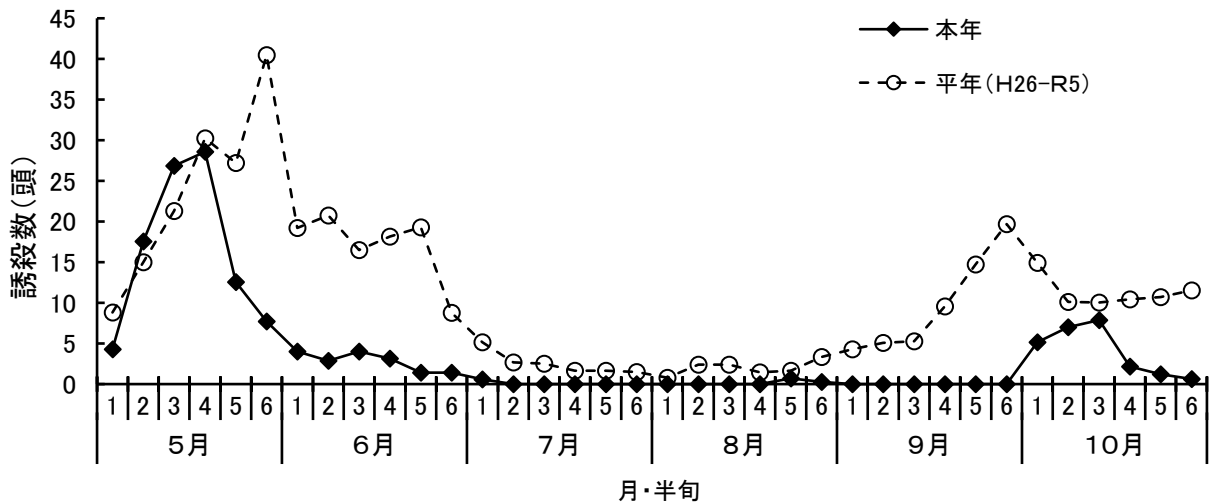
大山町下甲					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	1.4	7.1	252.3	9.1	157.7
5.2	5.3	7.2	127.0	9.2	135.0
5.3	9.9	7.3	57.9	9.3	510.0
5.4	17.9	7.4	14.4	9.4	408.0
5.5	28.1	7.5	119.3	9.5	359.1
5.6	37.7	7.6	362.0	9.6	435.7
6.1	29.6	8.1	345.7	10.1	534.6
6.2	19.3	8.2	262.9	10.2	456.1
6.3	84.4	8.3	242.2	10.3	301.4
6.4	178.1	8.4	102.0	10.4	580.0
6.5	294.3	8.5	410.7	10.5	512.5
6.6	414.3	8.6	302.6	10.6	467.5



第1図 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺消長（大山町下甲）

第4表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

大山町下甲					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	4.3	7.1	0.6	9.1	0.0
5.2	17.6	7.2	0.0	9.2	0.0
5.3	26.9	7.3	0.0	9.3	0.0
5.4	28.6	7.4	0.0	9.4	0.0
5.5	12.6	7.5	0.0	9.5	0.0
5.6	7.7	7.6	0.0	9.6	0.0
6.1	4.0	8.1	0.0	10.1	5.1
6.2	2.9	8.2	0.0	10.2	7.0
6.3	4.0	8.3	0.0	10.3	7.9
6.4	3.1	8.4	0.0	10.4	2.1
6.5	1.4	8.5	0.7	10.5	1.2
6.6	1.4	8.6	0.3	10.6	0.6



第2図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長（大山町下甲）

第5表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、菌核病、べと病）

地区	調査月日	調査ほ場数	黒腐病					菌核病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琴浦	8.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.21	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.21	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第6表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、黒すす病）

地区	調査月日	調査ほ場数	軟腐病					黒すす病					
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	
大山	8.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	10.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3
琴浦	8.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
合計	8.21	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	7	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	10.21	7	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5

第7表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウ類）

地区	調査月日	調査ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウ類						
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数						
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計		
大山	8.21	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	9.21	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	3
	10.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
琴浦	8.21	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	9.21	3	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	1	1	1	0	3	3	
	10.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	8.21	7	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
	9.21	7	0	0	0	4	4	0	0	0	2	2	3	1	2	0	6	6	
	10.21	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（ウワバ類、ハイマダラノメイガ、アブラムシ類）

地区	調査月日	調査ほ場数	ウワバ類					ハイマダラノメイガ					アブラムシ類					
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	
大山	8.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	9.21	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
琴浦	8.21	3	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
	9.21	3	0	0	0	2	2	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0
	10.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
合計	8.21	7	0	0	0	1	1	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0
	9.21	7	0	0	0	3	3	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0
	10.21	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2

エ. ネギ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

シロイチモジヨトウ						ネギコガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	4.0	7.1	47.7	9.1	38.6	5.1	1.5	7.1	11.9	9.1	0.0
5.2	5.0	7.2	32.9	9.2	54.2	5.2	2.6	7.2	2.1	9.2	0.0
5.3	5.0	7.3	16.3	9.3	58.3	5.3	4.3	7.3	0.4	9.3	0.0
5.4	6.9	7.4	18.1	9.4	87.1	5.4	7.5	7.4	0.0	9.4	1.0
5.5	7.1	7.5	27.1	9.5	128.8	5.5	8.2	7.5	0.0	9.5	2.5
5.6	8.9	7.6	26.6	9.6	108.6	5.6	11.3	7.6	0.9	9.6	0.5
6.1	7.1	8.1	11.3	10.1	103.6	6.1	10.0	8.1	0.1	10.1	0.0
6.2	7.9	8.2	13.4	10.2	103.6	6.2	23.6	8.2	0.0	10.2	0.0
6.3	8.0	8.3	20.7	10.3	20.0	6.3	25.6	8.3	0.0	10.3	2.1
6.4	8.1	8.4	38.6	10.4	69.3	6.4	26.9	8.4	0.0	10.4	0.9
6.5	47.1	8.5	32.1	10.5	86.4	6.5	10.7	8.5	0.0	10.5	0.1
6.6	49.7	8.6	37.7	10.6	28.3	6.6	12.9	8.6	0.0	10.6	0.9

第2表 黄色粘着トラップによるアザミウマ類成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
5.1	0.9	7.1	0.9	9.1	0.0
5.2	1.3	7.2	1.4	9.2	5.0
5.3	2.1	7.3	0.3	9.3	1.6
5.4	3.8	7.4	1.1	9.4	0.7
5.5	12.9	7.5	2.9	9.5	0.6
5.6	25.3	7.6	5.1	9.6	0.1
6.1	10.0	8.1	2.0	10.1	0.0
6.2	5.0	8.2	1.7	10.2	0.0
6.3	5.0	8.3	2.1	10.3	1.4
6.4	0.0	8.4	7.9	10.4	1.0
6.5	0.0	8.5	7.9	10.5	0.6
6.6	0.4	8.6	6.3	10.6	0.0

注) 黄色粘着トラップ 10cm×10cm 当り虫数

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

地区	調査場所	調査ほ場数
米子	米子市富益町	5
境港	境港市森岡町	5

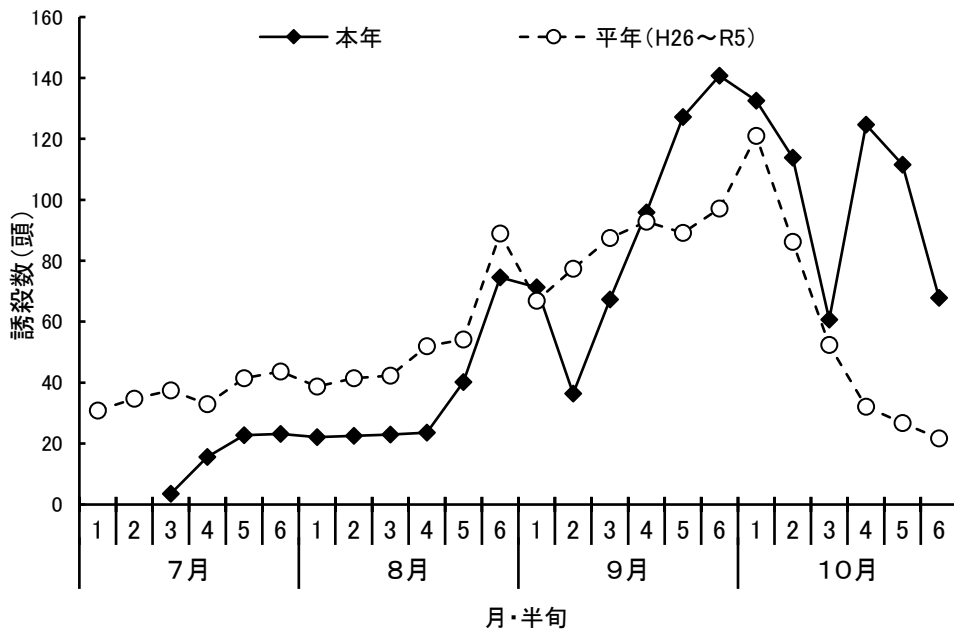
第4表 フェロモントラップ調査地点の設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
米子市夜見町 (病害虫発生状況調査ほ)	7月1日～ 10月31日	シロイチモジヨトウ	SEトラップ

第5表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺数

米子市夜見町

月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
7.1	-	9.1	71.3
7.2	-	9.2	36.4
7.3	3.6	9.3	67.3
7.4	15.6	9.4	95.9
7.5	22.7	9.5	127.1
7.6	23.1	9.6	140.7
8.1	22.1	10.1	132.6
8.2	22.6	10.2	113.9
8.3	23.0	10.3	60.7
8.4	23.6	10.4	124.7
8.5	40.1	10.5	111.6
8.6	74.6	10.6	67.9



第1図 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺消長（米子市夜見町）

第6表 巡回調査ほ場における発病調査（べと病、さび病、黒斑病、萎縮病）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	べと病					さび病					黒斑病					萎縮病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	3.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.17	5	0	0	0	1	1	0	0	0	3	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	5.23	5	0	0	0	2	2	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.26	5	0	0	0	3	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	9.2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0
	9.20	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
境港	3.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4.17	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5.23	5	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	5	0	0	0	1	1	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.20	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	4	4	0	0	0	4	4
10.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3	3	
合計	3.27	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2
	4.17	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5.23	10	0	0	0	1	1	0	0	1	5	6	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	6.26	10	0	0	0	2	2	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	10	0	0	0	4	4	0	0	3	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.2	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	9.20	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	9	9	0	0	0	4	4
	10.29	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	3	3

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第7表 巡回調査ほ場における発病調査（萎凋病、軟腐病、白絹病）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	萎凋病					軟腐病					白絹病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	6.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	9.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0
境港	6.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	9.2	5	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
合計	6.26	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	10	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0
	9.2	10	0	0	0	1	1	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、ネギコガ、アブラムシ類）

地区	調査 月日	調査 ほ場 数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ					ネギコガ					アブラムシ類				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	3.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
	4.17	5	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.23	5	0	0	0	3	3	0	2	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.26	5	0	0	0	1	1	0	3	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	5	0	0	0	2	2	1	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.2	5	0	0	1	2	3	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.20	5	0	0	0	3	3	0	2	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	5	1	0	1	3	5	2	2	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	3.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
	4.17	5	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.23	5	0	1	0	1	2	0	2	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.26	5	0	0	0	2	2	2	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	5	0	0	0	0	0	0	1	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.2	5	0	0	0	2	2	2	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.20	5	0	0	0	2	2	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	5	0	0	2	3	5	1	4	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3.27	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
	4.17	10	0	0	0	0	0	0	0	5	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.23	10	0	1	0	4	5	0	4	1	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.26	10	0	0	0	3	3	2	6	2	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	10	0	0	0	2	2	1	3	5	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.2	10	0	0	1	4	5	7	3	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.20	10	0	0	0	5	5	0	3	4	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	10	1	0	3	6	10	3	6	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第9表 巡回調査ほ場における発生調査（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	ハスモンヨトウ					シロイチモジヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	6.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	9.2	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	9.20	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	5	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
境港	6.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.20	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	6.26	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.31	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	9.2	10	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	9.20	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.29	10	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4

オ. イチゴ

第1表 巡回調査ほ場の概要

品種	調査場所	調査ほ場数
とっておき	東伯郡湯梨浜町長瀬	2
章姫	〃 浅津	3
紅ほっぺ		

第2表 病害虫発生状況調査ほの概要

品種	調査場所	調査ほ場数
章姫	倉吉市沢谷	1
章姫	東伯郡湯梨浜町橋津	1
紅ほっぺ	東伯郡北栄町西園	1

第3表 病害虫発生状況調査ほにおける調査結果

地区	調査月日	病害虫名							
		灰色かび病	うどんこ病			炭疽病	アブラムシ類	ハダニ類	ハスモンヨトウ
		発病果率 (%)	発病葉率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	幼虫寄生株率 (%)	
倉吉	R. 6. 20	-	0	-	0	0	0	-	
	R6. 11. 20	0	-	0	0	0	0	0	
	R7. 1. 15	0.8	-	0	0	2	0	0	
湯梨浜	R6. 6. 20	-	0	-	0	0	0	-	
	R6. 11. 20	0	-	0	0	0	0	0	
	R7. 1. 15	0	-	0	0	0	0	0	
北栄	R6. 6. 20	-	-	-	-	-	-	-	
	R6. 11. 20	0	-	0	12	8	0	12	
	R7. 1. 15	0	-	0	0	0	0	0	

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第4表 巡回ほ場における調査結果（うどんこ病、炭疽病）

地区	調査月日	調査ほ場数	うどんこ病					炭疽病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	R6. 5. 29	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	R6. 6. 29	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0

第5表 巡回ほ場における調査結果（アブラムシ類、ハダニ類）

地区	調査月日	調査ほ場数	アブラムシ類					ハダニ類				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	R6. 5. 29	4	0	0	0	3	3	0	0	1	0	1
	R6. 6. 29	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

カ. ナガイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによるナガイモコガ雄成虫の誘殺数（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
5.1	0.0	7.1	77.7	9.1	571.4
5.2	0.0	7.2	25.7	9.2	271.7
5.3	0.0	7.3	39.4	9.3	525.8
5.4	1.3	7.4	66.3	9.4	524.1
5.5	2.1	7.5	101.4	9.5	426.3
5.6	9.0	7.6	333.4	9.6	1136.7
6.1	15.7	8.1	96.7	10.1	984.3
6.2	5.0	8.2	123.1	10.2	489.3
6.3	5.8	8.3	230.7	10.3	252.9
6.4	6.3	8.4	71.4	10.4	103.7
6.5	31.4	8.5	197.4	10.5	3.9
6.6	67.0	8.6	453.7	10.6	2.6

キ. ラッキョウ

第1表 巡回調査ほ場の概要

地区	品 種	調査場所	調査ほ場数
福部	ラクダ	鳥取市福部町細川	2
		〃 海士	1
		〃 浜湯山	2
北栄		東伯郡北栄町東新田場	1
		〃 国坂	1
		〃 西園	1
		〃 東園	1
	〃 由良	1	

第2表 巡回調査ほ場における調査結果（白色疫病、灰色かび病）

地区	調査月日	調査ほ場数	白色疫病					灰色かび病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	R5.9.28	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R5.11.28	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	R6.1.21	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	R6.2.22	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	R6.3.22	5	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0
	R6.4.12	5	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
	R6.5.14	5	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1
北栄	R5.9.28	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R5.11.28	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	R6.1.21	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	R6.2.22	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	R6.3.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R6.4.12	5	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
	R6.5.14	5	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
合計	R5.9.28	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R5.11.28	10	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	R6.1.21	10	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	R6.2.22	10	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0
	R6.3.22	10	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0
	R6.4.12	10	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0
	R6.5.14	10	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第3表 巡回調査ほ場における調査結果（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	R5.9.28	5	0	0	0	4	4	-	-	-	-	-
	R5.11.28	5	0	0	0	5	5	0	0	0	1	1
	R6.1.21	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R6.2.22	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R6.3.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R6.4.12	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R6.5.14	5	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5
北栄	R5.9.28	5	0	0	0	2	2	-	-	-	-	-
	R5.11.28	5	0	0	0	4	4	0	0	0	2	2
	R6.1.21	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R6.2.22	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R6.3.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R6.4.12	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	R6.5.14	5	0	0	0	2	2	0	0	0	5	5
合計	R5.9.28	10	0	0	0	6	6	-	-	-	-	-
	R5.11.28	10	0	0	0	9	9	0	0	0	3	3
	R6.1.21	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R6.2.22	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R6.3.22	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R6.4.12	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	R6.5.14	10	0	0	0	2	2	0	0	1	9	10

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

ク. サトイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
5.1	1.6	7.1	204.6	9.1	107.1
5.2	1.7	7.2	125.7	9.2	270.8
5.3	2.1	7.3	172.6	9.3	139.9
5.4	5.6	7.4	151.1	9.4	245.5
5.5	7.0	7.5	101.4	9.5	453.1
5.6	11.9	7.6	334.3	9.6	440.3
6.1	11.4	8.1	140.3	10.1	412.9
6.2	8.6	8.2	99.1	10.2	376.4
6.3	36.4	8.3	89.3	10.3	293.6
6.4	55.0	8.4	295.0	10.4	261.4
6.5	346.4	8.5	379.9	10.5	257.4

ケ. トマト（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

タバコガ						オオタバコガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0.0	7.1	2.9	9.1	6.4	5.1	1.7	7.1	1.1	9.1	2.9
5.2	0.0	7.2	2.9	9.2	5.8	5.2	2.4	7.2	0.0	9.2	15.8
5.3	0.0	7.3	8.6	9.3	19.5	5.3	2.9	7.3	1.7	9.3	7.7
5.4	0.6	7.4	9.4	9.4	20.2	5.4	1.3	7.4	3.9	9.4	15.7
5.5	0.4	7.5	8.6	9.5	16.3	5.5	1.4	7.5	6.4	9.5	30.6
5.6	0.6	7.6	1.7	9.6	13.5	5.6	1.6	7.6	0.0	9.6	25.0
6.1	1.4	8.1	6.0	10.1	9.7	6.1	0.7	8.1	0.0	10.1	21.6
6.2	3.0	8.2	5.4	10.2	5.0	6.2	0.0	8.2	0.0	10.2	18.6
6.3	3.0	8.3	2.9	10.3	11.4	6.3	0.0	8.3	0.0	10.3	12.9
6.4	4.0	8.4	9.3	10.4	17.9	6.4	0.0	8.4	1.4	10.4	30.9
6.5	4.3	8.5	5.0	10.5	19.6	6.5	1.4	8.5	4.0	10.5	45.9
6.6	3.4	8.6	4.3	10.6	11.1	6.6	1.4	8.6	5.7	10.6	69.4

### Ⅲ ミバエ類等侵入警戒調査事業

#### 1 事業の目的

新たに国内に侵入し、又は既に国内の一部に存在している有害動物又は有害植物が蔓延して有用な植物に重大な損害を与える恐れが生じる前にこれを把握し、これらの駆除又はその蔓延防止に資するため、ミバエ類等侵入警戒調査実施要領の定めるところにより植物防疫所に協力し、ミバエ類、コドリング、トマトキバガ、ナシ（火傷病、*Xylella fastidiosa*）、スイカ果実汚斑細菌病、ウメ輪紋ウイルス、トマト（ウイルス、センチュウ等13種）を対象として侵入警戒調査を実施する。

#### 2 令和6年度調査結果

6月7日、園芸試験場（北栄町）内の性フェロモントラップに、誘殺されたチョウ目の雄成虫4頭を発見した。同定の結果、トマトキバガの成虫であることを確認した。その他の病害虫においては各調査地点において、当該病害虫の発見はなかった。

#### 3 対象害虫（フェロモントラップ調査）

	ミカンコミバエ種群 ウリミバエ クインスランドミバエ	コドリング	トマトキバガ
寄主植物	果樹、果菜類、豆類など	ナシ、リンゴなど	トマトなどナス科植物
使用トラップ	スタイナー型	SEトラップ	
使用誘引剤	メチルオイゲノール剤 キュウレア剤	コドレリア剤	トマトキバガフェロモン剤
調査方法	誘殺数の確認		
トラップの設置場所	風通しの良い木陰等の地上1.5メートル程度の位置（樹園地等）	夏秋トマト施設の出入り口周辺	
調査地点	農試調査：八頭町（1） 園試調査：北栄町（1）	（計2か所）	園試調査：北栄町（1） （計1か所）
調査期間	4～11月		
調査時期	毎月1～2回、15～30日間隔（トマトキバガのみ毎月報告）		

#### 4 対象病害（目視調査、検定調査）

	スイカ果実汚斑細菌病	火傷病	<i>Xylella fastidiosa</i>	ウイルス、ウィロイド、センチュウ等13種	ウメ輪紋ウイルス
寄主植物	スイカなど	ナシなど	ナシなど	トマトなど	ウメなど
調査方法	育苗期、果実肥大期～結実期までの病徴の有無を確認	開花後及び果実肥大期に病徴の有無を確認	展葉期～果実肥大期の期間に病徴の有無を確認	生育期（ウイルス、ウィロイド）、収穫後（センチュウ）の病徴の有無を確認	病徴が明瞭な時期に目視調査し、検定試料の採取と植物防疫所への送付
調査地点	園試調査 倉吉市（1）、北栄町（2） （計3か所）	園試調査 北栄町（1）、琴浦町（2） （計3か所）	園試調査 北栄町（1）、琴浦町（1） （計2か所）	園試調査 北栄町（1）、日南町（1） （計2か所）	園試調査 観賞用苗木生産業者2社
調査期間	2～6月 2回/年	4～5月 2回/年	4月 1回/年	8月、11月 1回/年	6～7月 1回/年

付表 令和6年 半旬別気象表

1 鳥取市（鳥取地方気象台）

月	半旬	気 温 (°C)					降水量(mm)		日照時間(h)		
		平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年
		本年	平年	本年	平年	本年	平年				
1月	1	8.1	4.9	12.8	8.8	3.6	1.7	20.5	33.1	18.6	11.3
	2	5.7	4.6	8.8	8.5	2.3	1.4	33.5	34.1	6.8	11.0
	3	5.8	4.3	9.9	8.2	2.2	1.2	39.0	34.7	16.1	11.0
	4	7.3	4.1	10.9	7.9	4.0	0.9	41.5	32.5	9.7	11.0
	5	3.7	3.9	6.8	7.7	1.6	0.7	91.5	31.0	9.6	11.2
	6	4.1	3.8	8.4	7.6	1.2	0.7	16.0	37.1	17.5	14.1
	平均(合計)		5.8	4.3	9.6	8.1	2.5	1.1	242.0	202.5	78.3
2月	1	4.7	3.9	7.8	7.9	2.6	0.6	30.5	29.7	6.5	12.7
	2	4.4	4.2	8.3	8.3	1.9	0.6	24.0	29.2	6.8	13.3
	3	9.4	4.5	15.3	8.8	3.2	0.9	33.0	30.0	29.3	14.0
	4	10.4	4.9	15.2	9.3	5.3	1.1	16.0	28.7	20.5	15.7
	5	6.3	5.4	8.3	10.0	4.8	1.4	36.0	25.1	0.9	17.4
	6	5.8	5.9	9.5	10.6	2.6	1.8	27.0	18.5	3.6	14.4
	平均(合計)		6.8	4.8	10.7	9.2	3.4	1.1	166.5	161.2	67.6
3月	1	5.0	6.4	8.7	11.2	1.7	2.1	46.5	23.5	12.9	18.3
	2	5.6	6.8	8.7	11.8	2.6	2.4	7.0	23.8	11.0	19.3
	3	8.5	7.5	14.2	12.7	2.8	2.7	16.5	22.9	34.6	20.9
	4	8.6	8.3	14.1	13.5	3.2	3.2	21.0	22.6	16.5	22.3
	5	8.7	8.9	12.2	14.2	5.7	3.8	24.0	23.0	13.1	23.0
	6	12.9	9.7	16.7	15.1	8.8	4.5	35.0	26.9	30.3	29.1
	平均(合計)		8.2	7.9	12.4	13.1	4.1	3.1	150.0	142.7	118.4
4月	1	13.1	10.7	18.1	16.3	8.4	5.4	47.0	20.5	26.1	26.3
	2	13.0	11.7	19.3	17.4	7.3	6.3	56.5	17.8	26.7	27.7
	3	17.2	12.7	24.3	18.4	10.3	7.2	0.0	16.5	47.2	28.8
	4	17.2	13.7	23.5	19.4	12.2	8.1	11.0	16.0	36.6	29.5
	5	16.3	14.6	20.4	20.3	13.3	9.0	28.5	15.7	12.3	30.7
	6	18.8	15.6	24.5	21.4	13.7	10.0	25.0	15.5	26.3	32.4
	平均(合計)		15.9	13.2	21.7	18.9	10.9	7.7	168.0	102.0	175.2
5月	1	17.3	16.6	23.6	22.4	11.0	11.0	1.0	16.8	49.1	32.9
	2	16.3	17.2	21.6	22.9	11.8	11.6	30.5	21.2	27.7	32.2
	3	18.2	17.6	23.8	23.3	12.2	12.2	36.5	22.7	36.1	32.1
	4	19.1	18.3	25.2	24.0	13.3	13.0	0.0	19.7	42.3	33.3
	5	19.8	19.1	24.9	24.8	15.3	13.8	0.0	18.0	35.1	33.8
	6	19.3	19.7	24.6	25.2	13.4	14.7	59.5	21.9	35.2	39.3
	平均(合計)		18.3	18.1	24.0	23.8	12.8	12.7	127.5	120.3	225.5
6月	1	18.4	20.3	23.5	25.7	14.6	15.5	6.5	17.4	25.9	31.0
	2	22.1	21.0	27.6	26.2	17.4	16.5	15.5	17.7	28.8	28.5
	3	25.6	21.7	32.5	26.6	19.4	17.5	0.0	20.6	58.7	26.4
	4	24.2	22.3	30.0	27.1	19.3	18.4	12.5	25.0	31.5	24.5
	5	25.2	23.0	29.8	27.6	22.1	19.3	107.0	30.8	15.7	21.9
	6	24.3	23.8	27.9	28.2	21.1	20.3	29.0	36.0	10.1	20.2
	平均(合計)		23.3	22.0	28.6	26.9	19.0	17.9	170.5	147.5	170.7

月 半旬	気 温 (°C)						降水量(mm)		日照時間(h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
7月	1	27.4	24.6	31.7	28.9	24.2	21.1	70.5	39.2	23.9	20.3
	2	28.3	25.2	33.1	29.6	24.8	21.8	60.5	39.4	23.5	21.4
	3	24.9	25.8	28.8	30.4	22.1	22.3	109.5	36.8	11.1	23.9
	4	28.3	26.4	33.6	31.2	24.3	22.6	9.0	30.2	20.5	28.5
	5	29.3	27.1	35.2	32.0	25.2	23.1	30.5	22.2	41.1	32.4
	6	30.2	27.7	35.3	32.8	26.1	23.7	0.0	20.2	53.5	41.3
平均 (合計)	28.1	26.1	33.0	30.8	24.5	22.4	280.0	188.0	173.6	167.8	
8月	1	30.0	28.0	35.3	33.2	26.3	24.0	0.0	15.8	45.6	35.9
	2	28.6	27.9	34.4	33.3	24.3	23.9	0.0	18.6	53.2	35.1
	3	28.4	27.6	34.6	32.9	24.3	23.6	0.0	21.4	39.7	33.2
	4	29.0	27.2	34.1	32.5	25.0	23.2	0.5	22.4	30.7	32.0
	5	30.6	26.8	37.5	32.0	25.9	22.7	24.0	22.9	45.4	30.9
	6	27.8	26.1	33.5	31.2	24.5	22.1	49.0	32.0	21.6	34.6
平均 (合計)	29.1	27.3	34.9	32.5	25.1	23.3	73.5	133.1	236.2	201.7	
9月	1	26.4	25.2	32.2	30.3	22.5	21.4	0.0	34.2	38.2	26.6
	2	28.2	24.3	33.9	29.3	23.5	20.5	0.0	38.2	43.7	25.2
	3	29.6	23.5	35.1	28.4	25.5	19.6	2.5	38.4	40.7	24.2
	4	30.2	22.5	36.2	27.4	26.0	18.6	0.5	37.7	43.6	23.3
	5	24.4	21.4	29.3	26.3	20.0	17.4	18.5	35.8	19.6	22.8
	6	24.2	20.5	29.7	25.4	20.5	16.4	0.5	33.2	26.9	22.3
平均 (合計)	27.2	22.9	32.7	27.9	23.0	19.0	22.0	217.5	212.7	144.4	
10月	1	20.8	19.7	25.0	24.6	17.9	15.5	68.0	29.4	18.0	22.0
	2	19.4	18.8	24.1	23.8	16.0	14.5	48.5	25.6	16.4	22.8
	3	20.2	17.8	26.6	23.0	14.9	13.4	0.0	24.8	38.1	24.1
	4	21.0	16.7	26.2	22.0	15.7	12.3	44.0	27.0	18.9	24.5
	5	19.7	15.8	24.8	21.1	14.3	11.4	4.0	27.4	19.7	24.1
	6	17.2	14.9	21.7	20.1	13.6	10.5	58.5	28.6	16.9	27.8
平均 (合計)	19.7	17.3	24.7	22.4	15.4	12.9	223.0	162.8	128.0	145.3	
11月	1	17.2	14.1	21.6	19.3	13.0	9.6	137.5	20.8	16.7	22.6
	2	12.6	13.4	18.8	18.5	8.2	9.0	13.5	21.4	25.0	21.0
	3	15.1	12.4	20.8	17.2	10.1	8.2	1.0	24.7	32.9	18.7
	4	12.5	11.3	16.7	16.0	9.1	7.2	24.0	26.2	10.0	17.2
	5	9.9	10.4	15.2	15.1	6.5	6.4	25.5	25.2	15.8	16.4
	6	10.0	9.7	14.1	14.3	6.3	5.7	33.0	26.2	12.3	15.7
平均 (合計)	12.9	11.9	17.9	16.7	8.9	7.7	234.5	144.5	112.7	111.6	
12月	1	10.1	8.8	15.5	13.2	5.7	4.9	1.0	30.1	15.4	14.9
	2	7.5	7.8	11.3	12.0	4.4	4.1	14.5	34.6	13.8	14.2
	3	5.9	6.9	10.3	11.0	3.5	3.4	78.5	36.2	11.6	13.3
	4	5.5	6.4	9.8	10.4	1.9	2.8	27.0	35.2	17.3	12.9
	5	5.2	6.0	9.2	9.9	1.8	2.5	62.5	34.5	12.4	12.4
	6	6.6	5.4	9.6	9.3	3.2	2.0	8.0	41.1	6.5	14.2
平均 (合計)	6.8	6.9	11.0	11.0	3.4	3.3	191.5	211.7	77.0	81.9	

2 北栄町（園芸試験場）

平年値：昭和52年～令和4年の平均値  
 降水量・日照時間：倉吉アメダス観測データ

月 半旬	気 温 (°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
1 月	1	8.0	4.9	12.5	8.5	3.5	1.6	15.5	25.9	17.2	12.5
	2	5.8	4.8	9.5	8.9	2.3	1.3	14.0	24.6	10.2	14.7
	3	6.3	4.3	10.5	8.1	2.3	0.9	20.0	28.8	16.6	13.6
	4	7.2	4.2	10.0	8.1	3.4	0.9	44.5	24.4	6.6	13.8
	5	2.8	3.7	5.6	7.5	0.6	0.4	37.0	26.6	7.5	13.3
	6	3.5	3.9	9.3	7.9	0.1	0.5	44.0	27.2	15.7	18.4
平均 (合計)	5.5	9.6	9.6	8.2	2.0	0.9	186.0	157.6	76.8	86.3	
2 月	1	4.7	3.5	7.6	7.6	2.6	0.0	43.0	20.6	6.1	14.9
	2	4.2	3.9	7.7	8.5	1.4	0.0	24.5	22.9	9.2	17.2
	3	9.3	4.9	14.9	9.6	2.4	0.8	22.5	20.1	29.0	16.7
	4	9.7	4.2	14.4	8.8	4.6	0.2	18.0	24.8	20.2	17.3
	5	6.1	5.0	7.6	9.3	4.3	1.1	47.5	17.8	3.4	18.6
	6	5.5	5.4	8.7	10.2	2.0	0.8	25.0	11.2	5.5	13.5
平均 (合計)	6.6	4.5	10.2	9.0	2.9	0.5	173.0	117.5	70.5	98.1	
3 月	1	5.2	5.9	8.4	10.6	1.5	1.5	40.5	23.2	15.7	20.2
	2	5.3	6.5	8.1	11.7	1.8	1.8	7.0	16.5	20.5	21.9
	3	8.1	7.1	13.7	12.6	2.3	1.9	25.5	18.4	34.0	24.4
	4	8.1	8.0	13.4	13.3	2.3	2.6	22.5	18.1	22.2	24.9
	5	8.3	8.1	11.5	13.3	5.1	3.0	25.0	21.9	11.9	24.6
	6	11.7	9.1	15.9	14.5	7.6	3.5	40.0	20.1	33.1	33.1
平均 (合計)	7.9	7.4	12.0	12.7	3.5	2.4	149.5	118.1	139.3	149.0	
4 月	1	11.9	10.0	16.1	15.7	7.1	4.2	51.5	17.4	27.3	31.9
	2	11.4	11.3	36.0	17.0	6.1	5.7	60.0	17.3	25.7	29.3
	3	15.6	11.7	22.0	16.9	8.9	6.1	0.0	20.5	43.1	29.6
	4	15.5	12.8	20.8	18.7	10.6	7.1	17.0	18.7	37.8	33.8
	5	15.2	13.6	17.9	19.2	12.2	8.2	25.5	13.5	12.4	33.8
	6	17.0	14.6	21.4	20.5	12.1	8.5	24.5	15.9	28.1	37.0
平均 (合計)	14.4	12.3	22.4	18.0	9.5	6.6	183.5	103.4	179.8	195.5	
5 月	1	16.2	15.7	21.0	21.3	10.5	9.7	0.0	13.1	43.7	35.2
	2	15.9	16.3	20.8	21.9	10.9	10.6	18.0	17.1	27.8	35.5
	3	17.0	16.5	22.0	21.8	11.0	10.9	27.5	27.1	37.9	32.8
	4	18.1	17.1	23.7	22.7	12.1	11.4	0	22.9	43.5	35.4
	5	18.1	17.9	22.8	23.6	14.1	12.2	0	13.1	33.4	38.3
	6	18.5	18.7	23.5	24.0	12.9	13.5	30.0	20.6	36.9	41.0
平均 (合計)	17.3	17.0	22.3	22.5	12.0	11.4	89.0	113.9	219.8	218.2	
6 月	1	17.5	19.3	21.5	24.9	13.4	14.0	5.0	16.2	34.3	37.9
	2	20.7	20.1	25.3	25.0	16.3	15.4	9.5	17.0	34.5	33.2
	3	24.0	20.6	29.8	25.2	18.4	16.3	0	21.7	56.7	29.8
	4	23.1	21.5	28.4	26.0	17.5	17.4	10.0	22.5	37.0	30.4
	5	24.5	21.8	28.9	26.0	21.2	18.1	98.0	42.5	19.9	25.3
	6	23.2	23.0	26.8	26.9	20.2	19.5	30.5	42.4	14.2	23.3
平均 (合計)	22.2	21.1	26.8	25.7	17.8	16.8	169.0	161.4	193.0	179.9	

月 半旬	気 温 (°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
7 月	1	27.0	23.6	32.0	27.7	23.7	20.3	61.0	41.4	28.0	23.8
	2	27.6	24.2	32.7	28.4	23.6	20.5	104.5	42.4	28.2	26.4
	3	24.0	25.0	26.9	29.2	21.6	21.6	42.0	44.4	12.3	23.7
	4	27.4	25.2	31.6	29.6	23.5	21.4	15.5	35.1	23.5	31.0
	5	28.9	26.3	35.1	31.0	24.5	22.3	5.0	18.3	41.3	36.5
	6	29.8	26.7	34.5	31.4	25.4	22.7	0	12.9	57.9	46.6
平均 (合計)	27.5	25.2	32.2	29.5	23.8	21.5	306.0	194.5	175.5	188.0	
8 月	1	29.1	27.7	33.5	32.0	24.8	22.9	0	15.1	51.6	41.8
	2	27.4	26.9	31.7	31.7	23.3	22.8	0	22.3	47.7	36.3
	3	27.4	26.6	31.3	31.4	23.3	22.6	2.5	29.4	43.7	34.0
	4	27.8	26.1	31.8	31.1	23.9	22.5	1.5	20.1	35.9	34.5
	5	28.9	25.9	34.8	30.6	24.9	22.0	12.5	24.4	36.0	29.9
	6	27.0	25.6	32.1	30.5	23.7	21.6	128.0	27.8	24.6	39.1
平均 (合計)	27.9	26.5	32.5	31.2	24.0	22.4	133.0	139.1	252.2	215.5	
9 月	1	25.3	24.6	29.4	29.4	21.7	20.7	0	39.5	37.5	30.4
	2	26.7	23.5	31.5	28.1	22.1	19.7	0	41.8	40.5	25.6
	3	28.4	22.8	32.9	27.5	24.5	19.0	2.5	31.4	35.0	25.4
	4	28.6	22.0	33.1	26.7	24.9	17.9	0	40.3	36.5	25.7
	5	23.7	20.7	27.2	25.3	19.9	16.7	24.0	36.5	17.0	22.4
	6	23.4	20.0	27.1	24.7	19.6	15.8	0	41.2	26.6	24.1
平均 (合計)	26.0	22.3	30.2	27.0	22.1	18.3	24.5	230.6	216.3	153.7	
10 月	1	19.7	19.1	23.7	24.1	16.7	14.5	90.0	24.8	16.9	25.7
	2	18.9	18.2	22.1	23.2	15.3	13.7	75.0	21.6	15.1	25.9
	3	19.4	17.4	25.0	22.6	14.4	12.8	0	26.2	35.0	24.8
	4	20.4	16.0	25.0	21.4	15.2	11.0	36.0	36.6	18.6	27.4
	5	19.0	15.2	23.7	20.7	13.4	10.4	6.0	27.5	19.1	26.5
	6	16.6	14.5	20.5	19.8	12.9	9.5	33.0	20.8	16.1	29.8
平均 (合計)	18.9	16.7	23.2	22.0	14.6	12.0	248.0	157.5	129.5	160.1	
11 月	1	16.7	13.5	20.2	19.2	12.3	8.6	163.0	26.3	14.6	24.4
	2	12.1	13.6	16.8	18.8	7.6	8.9	31.0	20.6	22.3	23.3
	3	14.6	12.0	19.4	17.1	9.7	7.6	1.5	32.1	28.8	18.5
	4	12.2	10.8	16.6	16.0	8.7	6.3	27.0	20.3	10.6	19.0
	5	9.9	10.1	14.4	15.4	6.0	5.5	34.5	20.2	12.9	19.2
	6	9.7	9.4	13.2	14.1	5.8	5.2	24.0	29.9	9.5	16.7
平均 (合計)	12.5	11.6	16.8	16.8	8.3	7.0	261.5	149.4	96.7	121.1	
12 月	1	10.6	8.3	14.9	13.3	6.5	4.0	0.5	23.0	14.6	17.6
	2	7.4	7.8	10.8	12.5	4.3	3.7	11.5	24.3	17.1	17.4
	3	5.9	7.1	9.7	11.4	3.2	3.4	63.5	29.8	9.5	14.3
	4	5.9	6.1	9.0	10.2	2.6	2.5	23.0	24.0	18.3	14.0
	5	5.4	6.3	8.7	10.4	2.1	2.4	60.5	22.5	11.6	14.7
	6	6.6	5.2	9.6	9.4	3.5	1.7	2.5	30.1	13.6	17.0
平均 (合計)	6.9	6.8	10.4	11.2	3.7	2.9	133.5	153.6	77.7	95.1	

<本業務年報中の表における注意事項>

表中に記載されている「-」及び「空欄」は、「調査未実施」もしくは「データの蓄積年数が少ないことによる平年値の省略」を示す。

---

## 鳥取県病虫害防除所

〒680-1142 鳥取市橋本260  
電話：(0857) 53-1345  
ファクシミリ：(0857) 53-0723  
電子メール：byougaichu@pref.tottori.lg.jp

<ホームページアドレス>  
<https://www.jppn.ne.jp/tottori/>

---